

# MITSUBISHI

三菱アプリケーションソフトウェア

## WISEO Signage Manager

### 取扱説明書

- ご使用前には必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- この取扱説明書は大切に保管してください。
- WISEO Signage Manager や LDT231SSD（以降「本機」と表記する）のソフトウェアは、下記の当社ホームページより最新のものをダウンロードいただき、ご使用ください。

「ディスプレイ」のホームページ：[www.MitsubishiElectric.co.jp/display](http://www.MitsubishiElectric.co.jp/display)

INTERNET INFORMATION & DOWNLOADS SERVICE

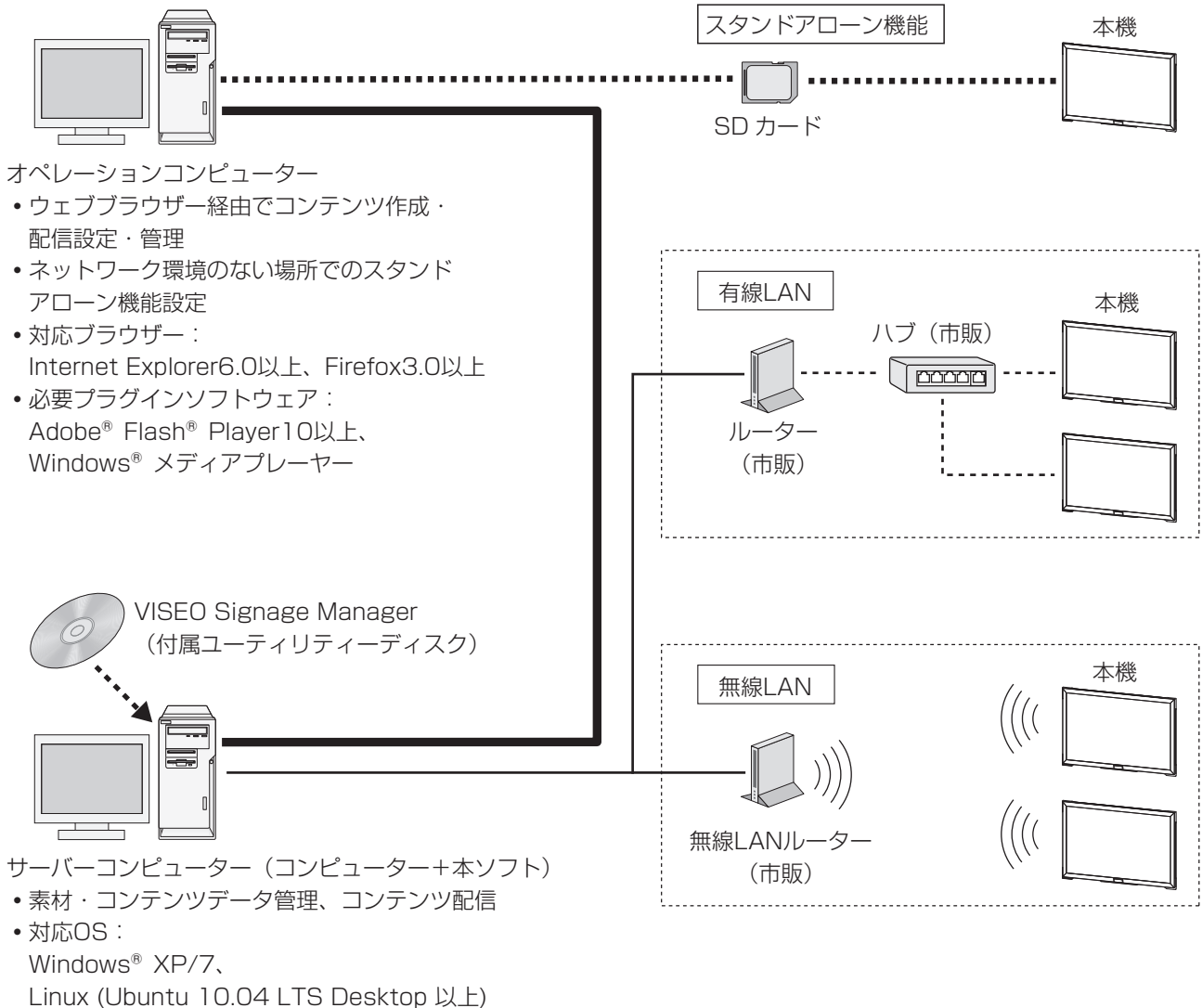
もくじ	ページ	
ご使用前に	2	ご使用前に
本ソフトをインストールする	5	インストール 「準備1」
ネットワークの設定をおこなう（コンピューター側／本機側）	16	各種設定 「準備2」
本ソフトのアカウントを作成及び認証する	23	アカウント 「準備3」
本機の登録とグループ登録をおこなう	27	登録・設定 「準備4」
コンテンツ作成用素材を準備する	40	素材の準備 「準備5」
素材をライブラリーに登録する	41	登録 「使用方法1」
コンテンツを作成する	46	作成 「使用方法2」
プレイリストを作成する	56	プレイリスト 「使用方法3」
スケジュールを設定する	57	スケジュール 「使用方法4」
コンテンツを配信する	60	配信 「使用方法5」
本ソフトをログアウトする	62	使用終了 「使用方法6」
困ったとき	63	困ったとき
【管理者向け】各種設定方法について	70	その他
用語解説	77	
使用許諾について	79	
さくいん	91	

# ご使用前に

## 何ができるの？

WISEO Signage Manager (以降「本ソフト」と表記する)は動画や音楽などの素材を組み合わせて作成されたコンテンツを本機に配信するためのツールです。本ソフトをコンピューターにインストールすることにより、配信スケジュールに合わせてコンテンツをネットワークや、SDカードを使って(スタンドアローン機能)、本機に表示することができます。また本機を複数台設置した場合も、個々に配信をおこなったり、動作状態を常時把握することができます。

ご使用前に



## お知らせ

- サーバーコンピューターとは、本ソフトをインストールし、素材・コンテンツデータ管理、コンテンツ配信するコンピューターです。オペレーションコンピューターとは、サーバーコンピューターにインストールされた本ソフトにウェブブラウザ経由でアクセスし、コンテンツ作成・配信設定・管理するコンピューターです。オペレーションコンピューターとサーバーコンピューターは共用可能です。
- 実線部分はインターネット接続が可能です。インターネット接続には、プロバイダー契約が必要です。サーバーコンピューターにはグローバルIPアドレスが必要です。セキュリティの確保が必要な場合は、VPN 対応ルーターを使用することをおすすめします。

## 動作環境と事前準備について

### 1. 動作環境

本ソフトのインストールを始める前にお手持ちのコンピューターが以下の条件を満たすことを確認してください。  
なお、オペレーションコンピューターは、以下のようなウェブブラウザが搭載されている機器であれば、ネットワーク経由でサーバーコンピューターにアクセスして本ソフトの操作をおこなうことができます。  
また、サーバーコンピューターとオペレーションコンピューターを同一コンピューターにて実現することも可能です。

	サーバーコンピューター (本ソフトがインストールされたコンピューター)	オペレーションコンピューター (ウェブブラウザ搭載)
コンピューター スペック	CPU : Intel Core2 Duo 2.8 GHz 以上 (推奨)	←
OS ※1	Windows® 7 (32 bit 版 / 64 bit 版) シリーズ Windows® XP (32 bit 版 / 64 bit 版) シリーズ Linux (Ubuntu 10.04 LTS Desktop 以上)	特に制限はなし ※1
ウェブブラウザ	不要	Internet Explorer 6.0 以上、 または Firefox 3.0 以上
必要なプラグ インソフトウェア	特になし ※2	Adobe® Flash® Player 10 以上 ※2 Windows® メディアプレーヤー
メモリー	2 GB 以上 (推奨)	←
ハードディスク	空き容量 : 500 MB 以上 (別途コンテンツ保存用空き容量必要)	コンテンツ保存用の空き容量必要
インターフェース	LAN ポート (有線または無線)	SD カードスロット、USB ポート ※3

※1 付属の「試供版 iroDori デザイナー」をインストールする場合は、必ず Windows® 7/XP (32bit 版) を使用してください。

(これ以外の OS では動作しません)

※2 Windows® XP / 7 / Windows Vista® 版については、本機に付属のユーティリティーディスク内よりインストールしてください。それ以外の OS については、各メーカーのホームページよりダウンロードしてください。

※3 スタンドアロン機能 [→ P60](#) は、SD カード (付属) を、クイック設定キット [→ P36](#) は、USB メモリー (市販) を使用します。

### 2. 事前準備

#### ■管理者権限を持ったユーザーのインストール

本ソフトはコンピューターの OS 部分に関連するファイルを変更しますので、必ず管理者権限を与えられたユーザーにてインストールを実施してください。

## 本ソフトの操作の流れ

### [ 準備 1 ]

#### 本ソフトをインストールする

→ P5

- ユーティリティーディスク（付属）より本ソフトのインストールをおこないます。
- Adobe® Flash® Player 10 以上のインストールをおこないます。（コンピューターにインストールされていない場合）
- ファイアウォールの設定変更をおこないます。

### [ 準備 2 ]

#### ネットワークの設定をおこなう（コンピューター側／本機側）

→ P16

- サーバーコンピューターの固定 IP アドレスの確認、または設定をおこないます。
- 本機の初期ウィザード設定をおこないます。

### [ 準備 3 ]

#### 本ソフトのアカウントを作成及び認証する

→ P23

本ソフトを使うためのアカウント作成と認証をおこないます。

### [ 準備 4 ]

#### 本機の登録とグループ登録をおこなう

→ P27

- 本機の登録  
本ソフトに使用する本機を登録します。
- グループ登録  
本ソフトに使用する本機をグループに登録します。

### [ 準備 5 ]

#### コンテンツ作成用素材を準備する

→ P40

再生したいコンテンツを作成するために、写真や、動画ファイルを準備します。

### [ 使用方法 1 ]

#### 素材をライブラリーに登録する

→ P41

ライブラリー機能を用いて素材を登録します。

### [ 使用方法 2 ]

#### コンテンツを作成する

→ P46

準備した素材をもとに、コンテンツ作成機能を用いたコンテンツを作成します。

必要に応じて

### [ 使用方法 3 ]

#### プレイリストを作成する

→ P56

複数のコンテンツをつなげたり、1つのコンテンツを複数回再生させるなどのプレイリストが作成できます。

### [ 使用方法 4 ]

#### スケジュールを設定する

→ P57

表示スケジュールを設定します。

### [ 使用方法 5 ]

#### コンテンツを配信する

→ P60

指定した本機にコンテンツを配信します。  
配信方法としては、以下の2つの方法があります。

- ネットワーク経由（有線 LAN、無線 LAN）
- SD カード経由

### [ 使用方法 6 ]

#### 本ソフトをログアウトする

→ P62

本ソフトの画面内にて、「ログアウト」をクリックすると、本ソフトでの作業を終了します。

# [準備1] 本ソフトをインストールする

本機のユーティリティディスク（付属）を用いて、サーバーコンピュータに本ソフトのインストールをおこないます。なお、本ソフトはコンピュータの OS 部分に関連するファイルを変更しますので、インストールを始める前に、必ず管理者権限を与えられたユーザーにてインストールを実施してください。

また、本機とサーバーコンピュータ、またはオペレーションコンピュータとネットワーク接続する場合は、あらかじめ、本機の取扱説明書 → P27 「LAN を接続する」を確認いただき、ルーター（市販）あるいはハブ（市販）と LAN ケーブル（市販）との接続を完了させておいてください。

## インストール方法

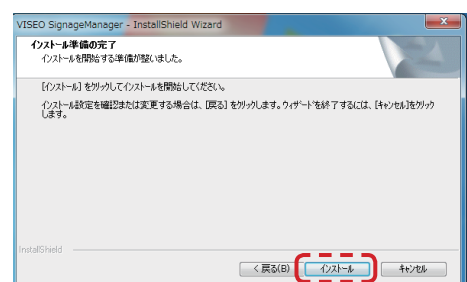
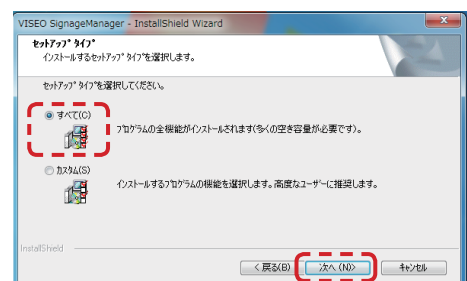
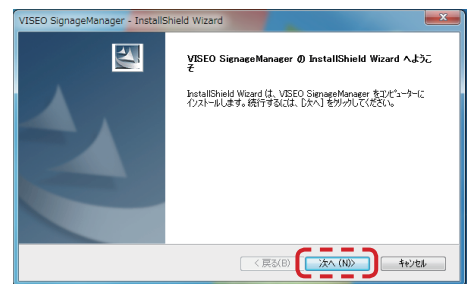
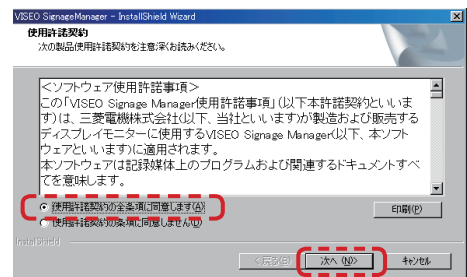
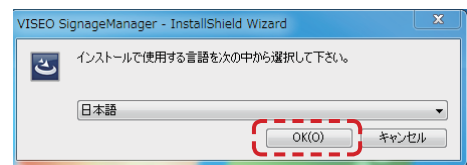
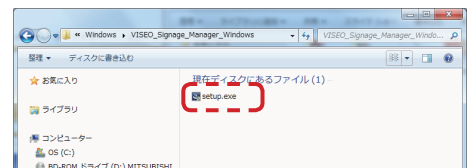
### ■ Windows® 7/XP 共通

- 1 ユーティリティディスク（付属）をサーバーコンピュータにセットする
- 2 VISEO\_Signage\_Manager\_Windows フォルダ  
「¥¥Windows ¥VISEO\_Signage\_Manager\_Windows」内の  
「setup.exe」ファイルをダブルクリックし、本ソフトのインストーラーを起動する
- 3 任意の言語を選択し、「OK」をクリックする  
ここでは「日本語」を選択した場合を説明します。
- 4 本ソフトの使用許諾事項が記載されていますので、必ず熟読いただき、  
使用許諾の全事項について同意いただける場合は、  
「使用許諾契約の全条項に同意します」にチェックを入れ、「次へ」をクリックする  
なお、＜ソフトウェア許諾事項＞を印刷したい場合は、「印刷」をクリックしてください。
- 5 「次へ」をクリックし、セットアップタイプ画面に進む

- 6 「すべて」にチェックを入れ、「次へ」をクリックする

- 7 「インストール」をクリックする

- インストールが完了したら、引き続き MySQL のインストールに移ります。



「準備1」  
インストール

## 【データベースアプリケーション MySQL のインストール】

### 8 「Next」 をクリックする



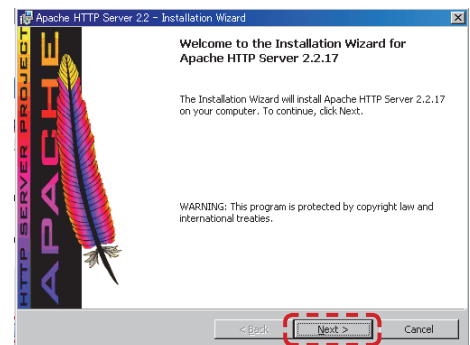
### 9 「Next」 をクリックし、MySQL のインストールを完了する

- 引き続き Apache のインストールに移ります。

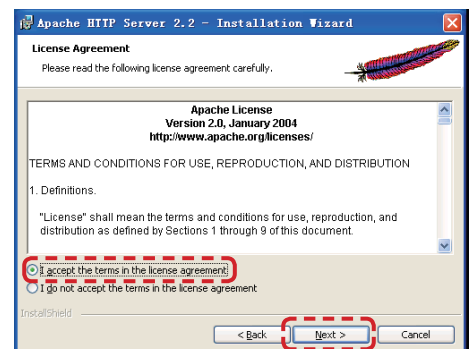


## 【ウェブサーバーアプリケーション Apache のインストール】

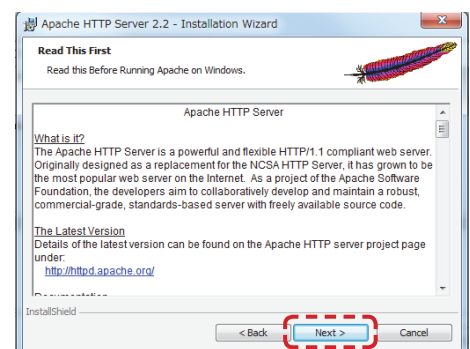
### 10 「Next」 をクリックする



### 11 Apache に関する使用許諾の説明が表示されたら、記載内容を確認し、「I accept the terms license agreement」にチェックを入れ、「Next」 をクリックする

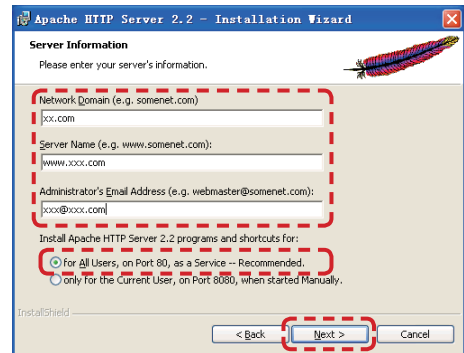


### 12 「Next」 をクリックする

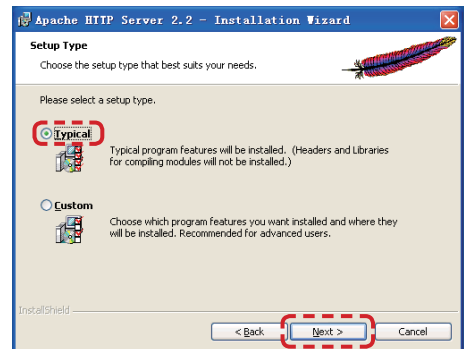


### 13 サーバー情報を入力し、「Next」をクリックする

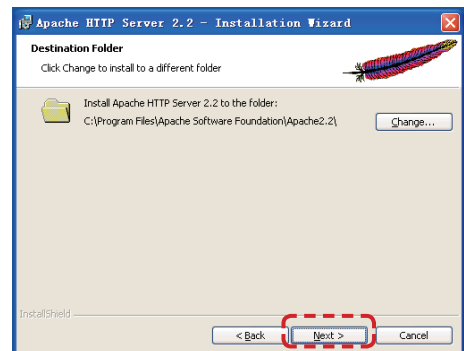
- ここでは  
Network Domain..... somenet.com  
Server Name..... www.somenet.com  
Administrator's Email Address... webmaster@somenet.com  
と入力してください。
- 「for All Users, on Port 80, as a Service」にチェックが入っていることを確認し、「Next」をクリックしてください。



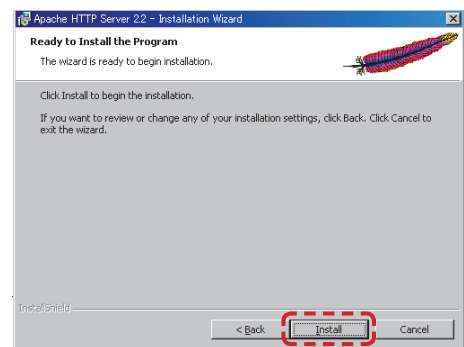
### 14 セットアップ方法を選択し、「Next」をクリックする (ここでは標準的な用途の場合を想定して、「Typical」を設定します。)



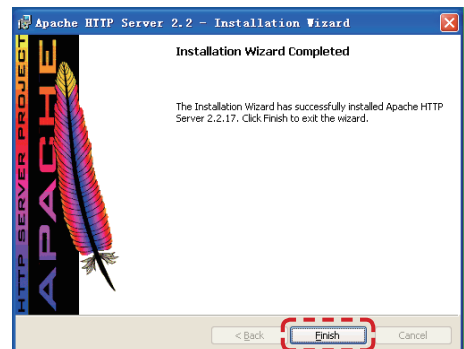
### 15 「Next」をクリックする



### 16 「Install」をクリックする



### 17 Apache のインストールが完了したら、「Finish」をクリックする



「準備」  
インストール

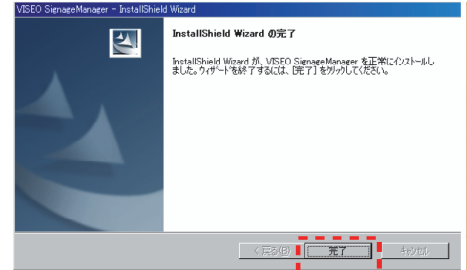
## 【コンピューターの再起動】

18 「はい、今すぐコンピューターを再起動します。」にチェックを入れ、「OK」をクリックする



19 「完了」をクリックし、コンピューターを再起動する

- コンピューターが再起動されると、本ソフトのインストールは完了です。





## ■ Linux (Ubuntu 10.04 LTS Desktop) の場合

ここではローカルエリア接続（有線 LAN 接続）の場合を説明します。

### 1 LAMP パッケージを確認する

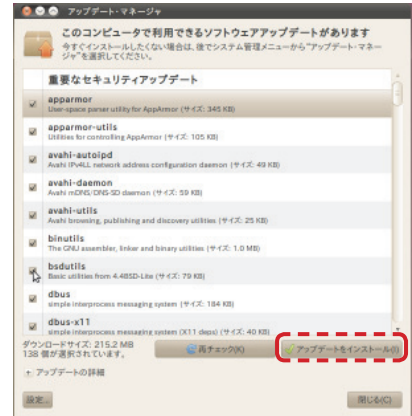
お客様が既に使用されている LAMP（Linux,Apache,MySQL,PHP）パッケージ、または Apache、MySQL、PHP を個別にインストールされている場合は、一旦全てアンインストールしてください。

#### お知らせ

LAMP パッケージ、または Apache、MySQL、PHP が個別にインストールされた状態で、本ソフトをインストールすると、本ソフトが正しく動作しない場合があります。

### 2 Ubuntu10.04 LTS Desktop をアップデートする

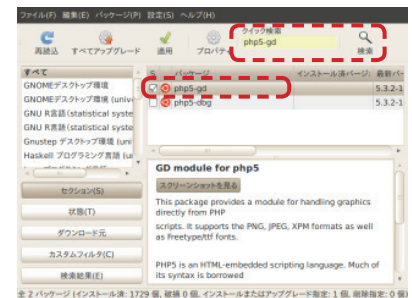
Ubuntu10.04 LTS Desktop の起動画面において、「システム」→「システム管理」→「アップデート・マネージャ」の順で選択し、「このコンピュータで利用できるソフトウェアアップデートがあります」画面が表示されたら、「アップデートをインストール」をクリックし、お客様があらかじめ設定された管理者パスワード（スーパーユーザー）を入力します。



インストール  
「準備」

### 3 LAMP パッケージと関連モジュールをインストールする

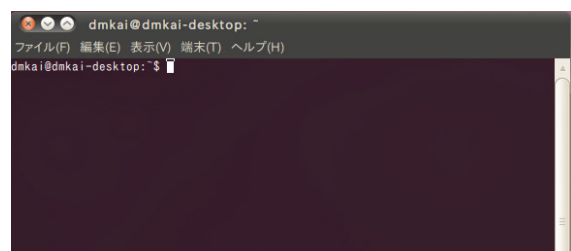
- ① 「システム」→「システム管理」→「Synaptic パッケージマネージャ」→「編集」→「タスク（グループ）を利用してパッケージにマークする」の順で選択すると、「このコンピュータでどのタスクを処理しますか？」画面が表示されます。
- ② ここで、「LAMP server」にチェックを入れ、「OK」をクリックします。
- ③ クイック検索に php5-gd を入力します。
- ④ 「php5-gd」パッケージをクリックし、「インストール指定」を選択します。
- ⑤ 「適用」をクリックします。
- ⑥ LAMP パッケージと関連モジュールのインストールが開始されます。ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されたら、
  - ・ユーザー名 : root
  - ・パスワード : 6～8文字の半角英数字にて設定 ※1を入力します。  
※1 : このユーザー名、パスワードは、以後の本ソフトインストール時に使用します。



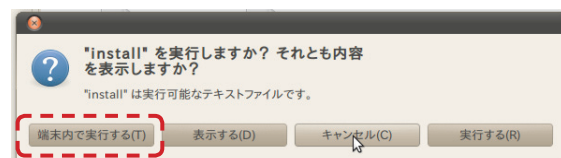
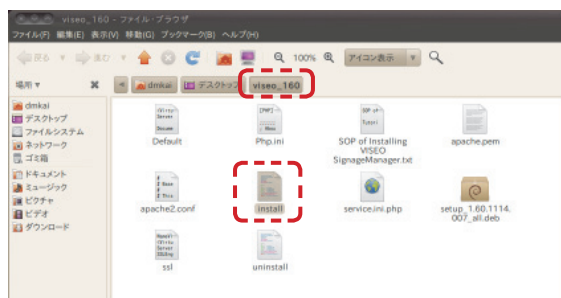
### 4 本ソフトをインストールする

- ① ユーティリティディスク内に格納されている、Linux フォルダ「¥¥Linux ¥VISEO\_Signage\_Manager\_Linux」をデスクトップ上にコピーします。
- ② 「アプリケーション」→「アクセサリ」→「端末」の順で選択すると、以下のように端末画面が表示されます。この画面上で以下のように入力し、Enter キーを押します。

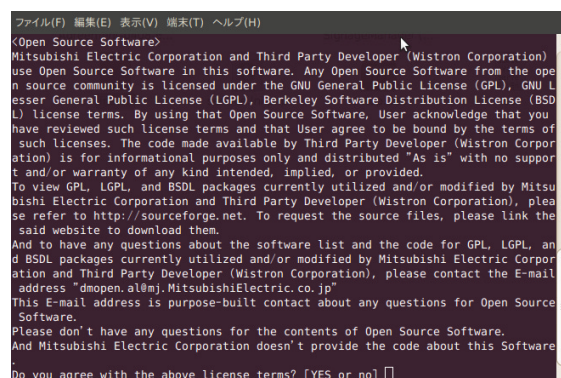
```
chmod 777 -R デスクトップ/VISEO_Signage_Manager_Linux
```



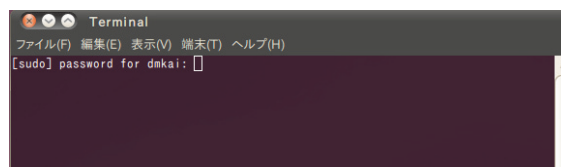
- ③ 「VISEO\_Signage\_Manager\_Linux」フォルダ内の「install」ファイルをダブルクリックし、「"install" を実行しますか？ それとも内容を表示しますか？」画面が表示されたら、「端末内で実行する」をクリックします。



- ④ 本ソフトの使用許諾事項が表示されたら、「y」を入力し、Enter キーを押します。



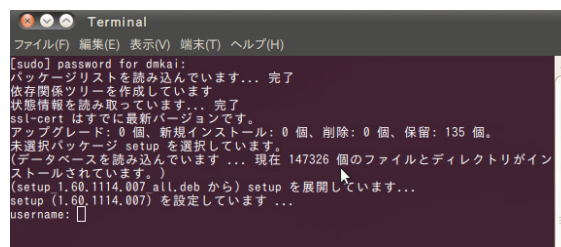
- ⑤ 「端末」ウィンドウの中でパスワードを入力する画面が表示されたら、管理者パスワードを入力し、Enter キーを押します。



- ⑥ 「Input the user name and password of your mysql database when prompted in Terminal, and press "Enter"」が表示されたら、

- ・ 管理者のユーザー名 : root
- ・ パスワード : お客様が設定した管理者パスワード

を入力します。



- ⑦ 「Would you like to keep date from previous install?」と表示されたら、旧バージョンからのアップグレードの場合は「y」を（以前に作成したコンテンツ等のデータが保持されます）、クリーンインストールの場合は「n」を入力し、Enter キーを押します。

パスワードを入力する画面が表示された場合は、管理者パスワードを入力し、Enter キーを押します。

- ⑧ 「Would you like to enable SSL」が表示されたら、「y」を入力し、Enter キーを押します。

- ⑨ 端末画面の処理が終了したら、システムを再起動します。

## Adobe® Flash® Player のインストール方法

### ■ Windows® 7/XP 共通

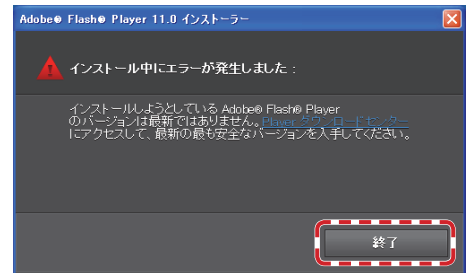
- 1 ユーティリティディスク（付属）をオペレーションコンピューターにセットする
- 2 Windows フォルダ「¥¥Windows¥install\_flash\_player」内の「install\_flash\_player\_11\_active\_x\_32bit.exe」、または「install\_flash\_player\_11\_active\_x\_64bit.exe」ファイルをダブルクリックし、インストーラーを起動する【バージョン11の場合】

#### お知らせ

- ユーティリティディスク（付属）には、32 bit 版と 64 bit 版の 2 種類が格納されていますので、オペレーションコンピューターの bit 数を確認して、正しい方をインストールしてください。ただし、オペレーションコンピューターが 64 bit 版でも、Internet Explorer のバージョンによって、64 bit 版のインストールが拒絶される場合は、32 bit 版をインストールしてください。
- インストールするバージョンより新しいバージョンが既にオペレーションコンピューターにインストールされている場合は、エラーメッセージが表示されますので「終了」をクリックし、操作を終了します。この場合、3～4 の操作は不要です。

- 3 使用許諾契約を確認いただき、同意いただける場合はチェックを入れ、「インストール」をクリックする

- 4 「完了」をクリックし、インストールを完了する



インストール  
「準備」



## ファイアウォールの設定変更

Windows® ファイアウォール機能について、以下のように設定をおこないます。なお、ファイアウォール機能については、Windows® XP/7いずれにも標準の機能として搭載されています。また、一部ウイルスソフト等には独自でファイアウォール機能を搭載しているものもありますので、そちらの変更も必要となります。以下、各 OS に関する設定方法を説明します。

### お知らせ

- Windows® XP/7 では、32 bit 版と 64 bit 版にて一部設定内容が異なりますので、あらかじめサーバーコンピュータの OS のバージョンおよび bit 数を確認してください。ここでは、32 bit 版について説明します。

### ■ Windows® 7 の場合

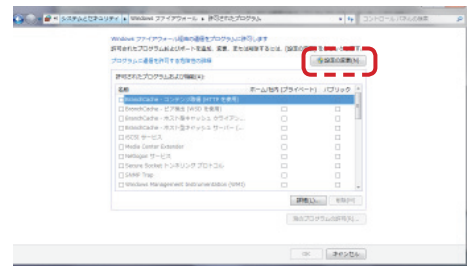
1 Windows® 画面の左下にある「スタート」→「コントロールパネル」→「システムとセキュリティ」→「Windows ファイアウォール」の順で選択する

2 「Windows ファイアウォールを介したプログラムまたは機能を許可する」をクリックする

右図のようにファイアウォールの詳細について、ホームネットワークまたは社内（プライベート）ネットワークと、パブリックネットワークの2種類について、現在のファイアウォールの状態が表示されます。（右図では、緑色表示の四角形により、ホームネットワーク/社内ネットワーク、パブリックネットワークのいずれもファイアウォール機能が動作していることを示しています。）



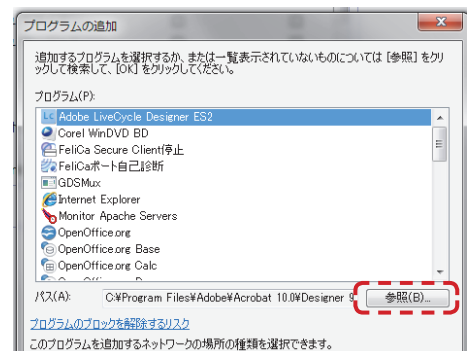
3 「許可されたプログラムおよび機能」画面が表示されたら、「設定の変更」をクリックする



4 「別のプログラムの許可」をクリックする



5 「プログラムの追加」画面が表示されたら、「参照」をクリックする



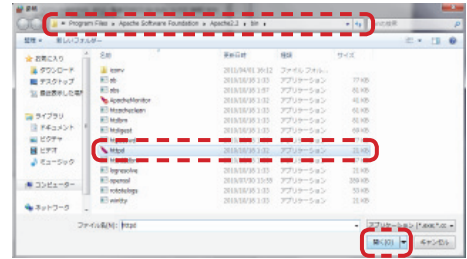
6 「参照」画面が表示されたら、アドレスバーに下記の bin フォルダが表示されるまで、画面内のフォルダのアイコンをダブルクリックし、bin フォルダ内の「httpd」または「httpd.exe」を選択し、「開く」をクリックする

32bit 版の場合：

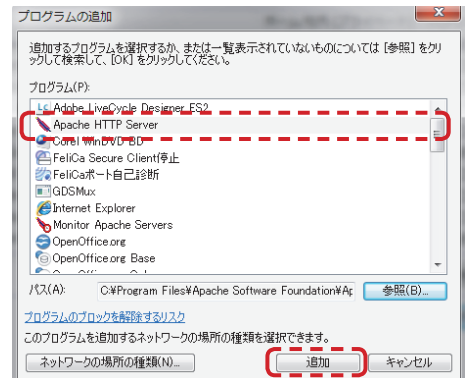
[C: ¥Program Files ¥Apache Software Foundation ¥Apache2.2 ¥bin]

64bit 版の場合：

[C: ¥Program Files(x86) ¥Apache Software Foundation ¥Apache2.2 ¥bin]



7 5の「プログラムの追加」画面に「Apache HTTP Server」が追加されたことを確認し、「追加」ボタンをクリックする



8 「許可されたプログラムおよび機能」画面に「Apache HTTP Server」が表示されることを確認し、使用される環境（ホームネットワーク／社内ネットワーク、パブリックネットワークのいずれか）にチェックを入れ、「OK」をクリックする

もし、どちらを使用しているかわからない場合は、両方にチェックを入れます。



9 「Windows ファイアウォール」画面で「ホームネットワークまたは社内（プライベート）ネットワーク」「パブリックネットワーク」の  ボタンをクリックし、以下のような設定状況になっていることを確認する

以下のような設定になっていれば、設定は終了です。

- ・ファイアウォールの状態：「有効」
- ・着信状態：許可されたプログラムの一覧にないプログラムへのすべての接続をブロックする



**お知らせ**

● Windows ファイアウォール以外の、他のアプリケーション（ウイルス除去ソフト等）にファイアウォールが設けられた場合  
例としてウイルス除去ソフトの「Macafee® Personal Firewall」により管理されている場合を説明します。

現在使用されているファイアウォール機能搭載のアプリケーションから、32 bit 版の場合：

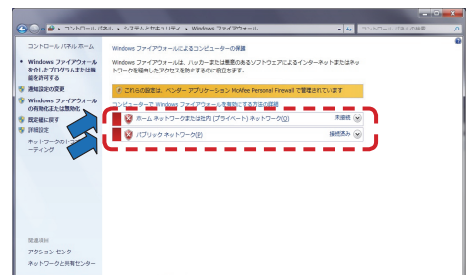
[C: ¥Program Files ¥Apache Software Foundation ¥Apache2.2 ¥bin]

64 bit 版の場合：

[C: ¥Program Files(x86) ¥Apache Software Foundation ¥Apache2.2 ¥bin]

内の「httpd」または「httpd.exe」ファイルをファイアウォール対象から除外する設定をおこないます。

詳しくは各ファイアウォール機能搭載のアプリケーションの説明書またはメーカーへ確認してください。

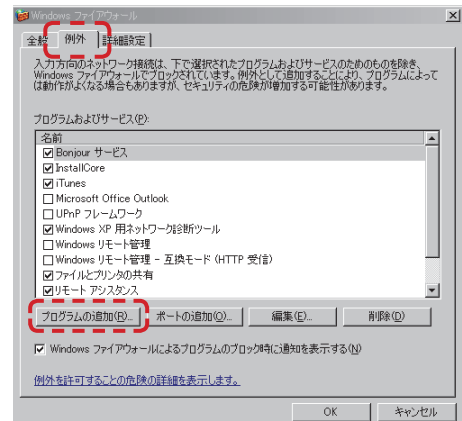


「準備」インストール

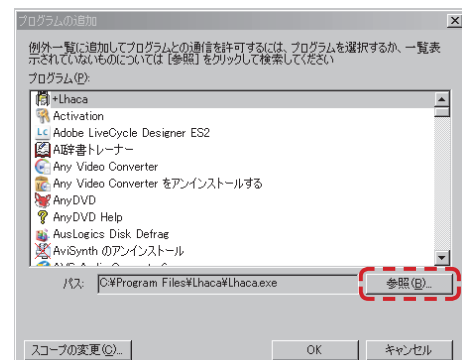
## ■ Windows® XP の場合

ここではローカルエリア接続（有線 LAN 接続）の場合を説明します。

- 1 Windows® 画面の左下にある「スタート」→「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット接続」→「Windows ファイアウォール」→「例外」の順で選択し、「例外」画面が表示されたら、「プログラムの追加」をクリックする



- 2 「プログラムの追加」画面が表示されたら、「参照」をクリックする



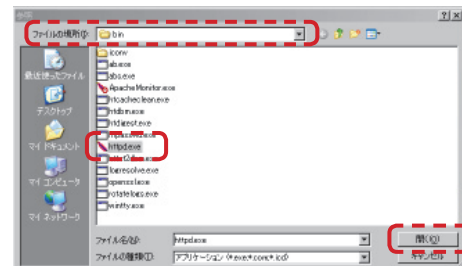
- 3 「参照」画面が表示されたら、アドレスバーに下記の bin フォルダが表示されるまで、画面内のフォルダのアイコンをダブルクリックし、bin フォルダ内の「httpd」または「httpd.exe」を選択し、「開く」をクリックする

32 bit 版の場合：

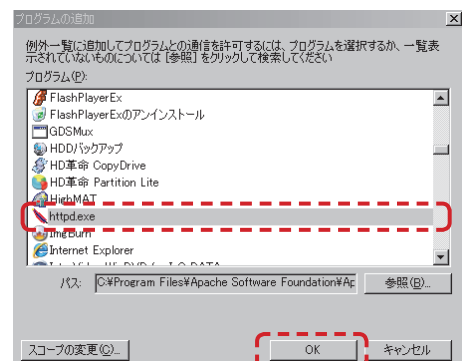
[C: ¥Program Files ¥Apache Software Foundation ¥Apache2.2 ¥bin]

64 bit 版の場合：

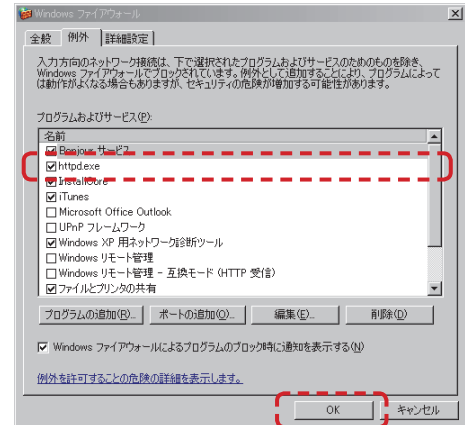
[C: ¥Program Files(x86) ¥Apache Software Foundation ¥Apache2.2 ¥bin]



- 4 「プログラムの追加」画面に「httpd」または「httpd.exe」が登録されていることを確認し、「OK」をクリックする



- 5 再度、Windows ファイアウォールの「例外」画面を表示して「httpd」または「httpd.exe」にチェックが入っていることを確認し、「OK」をクリックする



## ■ Linux (Ubuntu 10.04 LTS Desktop) の場合

システムの構成上必要最小限のポートのみ開放していますので、標準ではファイアウォール機能が設定されていません。よって、本ソフト使用時にはファイアウォール等の設定変更は不要です。

### お知らせ

お客様ご自身で既にファイアウォール機能を別途使用されている場合は、本ソフトが正しく動作しない場合があります。その場合は、使用されているファイアウォール機能を停止してください。

## [準備2] ネットワークの設定をおこなう(コンピューター側/本機側)

### サーバーコンピューターの固定 IP アドレスの確認、または設定をおこなう

サーバーコンピューターの IP アドレスは、必ず固定 IP アドレスを設定する必要があります。  
IP アドレスの確認、または設定方法は以下のとおりです。

#### お知らせ

- スタンドアロン機能(スケジュールモード)のみで使用する場合(ネットワークを使用しない場合)は、コンピューター側の設定は不要です。

### ■ Windows® 7 の場合

1 Windows® 画面の左下にある「スタート」→「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット」→「ネットワークと共有センター」の順で選択する

2 「アダプターの設定の変更」をクリックする

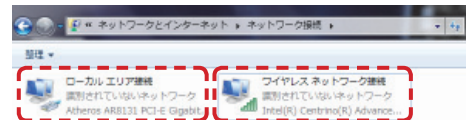
例として有線 LAN と無線 LAN が両方使われている場合、右図のように、アイコンが表示されます。



3 「整理」画面が表示されたら、有線 LAN にてコンピューターとルーター/ハブを接続している場合は、「ローカルエリア接続」をダブルクリックする

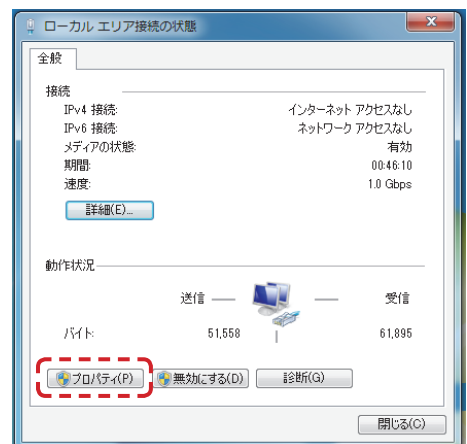
無線 LAN にてコンピューターと無線ルーターを接続している場合は、「ワイヤレスネットワーク接続」をダブルクリックする

※ 以降の設定は、有線 LAN/無線 LAN 共通です。

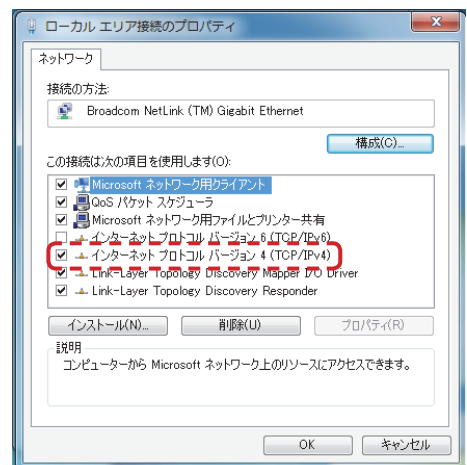


有線 LAN の場合 無線 LAN の場合

4 「ローカル エリア接続の状態」画面が表示されたら、「プロパティ」をクリックする



5 「ローカル エリア接続のプロパティ」画面が表示されたら、「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)」をダブルクリックする





6 「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)のプロパティ」画面が表示されたら、サーバーコンピューターの IP アドレスの設定状態を確認する（以降の設定操作に使用しますので、IP アドレスはメモ等に控えられることをおすすめします。）

■ 既に固定 IP アドレスが設定されている場合

設定されている固定 IP アドレスの値を確認し、以降の IP アドレスの設定の際はこの値を使用する

- ・ 「キャンセル」 をクリックし、設定を終了してください。

■ 固定 IP アドレスが設定されていない場合、または「IP アドレスを自動的に取得する」に設定されている場合

以下の操作により固定 IP アドレスを設定する

- ① 「次の IP アドレスを使う」 にチェックを入れる
- ② 「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」の値を設定する
- ③ 「次の DNS サーバーのアドレスを使う」 にチェックを入れる
- ④ 「優先 DNS サーバー」の値を設定する
- ⑤ 「OK」 をクリックする

例)

IP アドレス	192.168.11.200	サーバーコンピューターの IP アドレス
サブネットマスク	255.255.255.0	固定値
デフォルトゲートウェイ	192.168.11.1	使用されるルーターの IP アドレス (固定)
優先 DNS サーバー	192.168.11.1	

- 本機とサーバーコンピューターをルーターにて LAN 接続している場合

【IP アドレス】

使用されるルーターの IP アドレス (固定) が「192.168.11.1」、使用されるルーターの DHCP 機能で割り当てられる IP アドレスが「192.168.11.2 ~ 192.168.11.65」の場合、これらの値以外の「192.168.11.66 ~ 192.168.11.254」(「192.168.11.xxx」) を設定します。これらの値の中からであれば任意で選んでいただいて結構です。ここでは、「192.168.11.200」を使用します。

例)

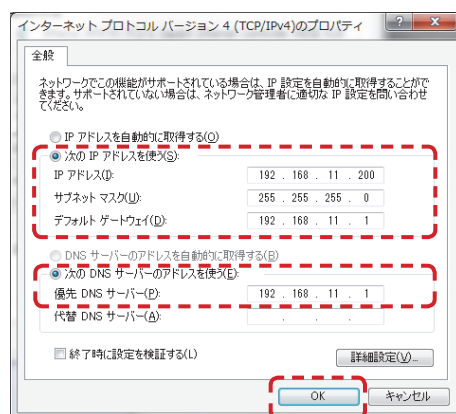
設定できる IP アドレス (サーバーコンピューターの IP アドレス)	192.168.11.66 ~ 192.168.11.254
使用されるルーターの DHCP 機能で自動的に割り当てられる IP アドレス	192.168.11.2 ~ 192.168.11.65

お知らせ

DHCP 機能とは、インターネットなどのネットワークに接続する機器に IP アドレスを自動的に割り当てる機能です。

【サブネットマスク】

企業等で個別に設定している等の特別な場合を除き、「255.255.255.0」を使用してください。



「準備中」  
各種設定

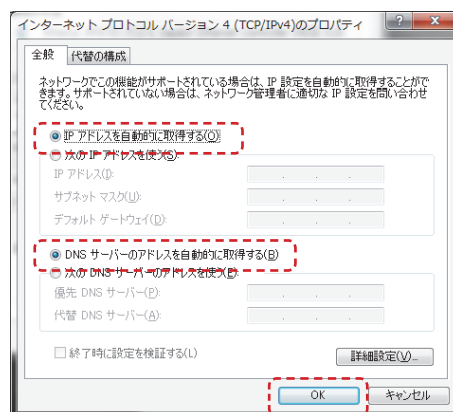
### 「デフォルトゲートウェイ」、「優先 DNS サーバー」

使用されるルーターの IP アドレス（固定）を使用してください。  
 使用されるルーターの IP アドレス（固定）は、使用されるルーターによって異なりますので、詳しくは、使用されるルーターの取扱説明書やホームページにて確認してください。  
 ここでは、「192.168.11.1」を使用します。

使用されるルーターの IP アドレス（固定）がわからない場合は、以下の操作により確認してください。

- ① 「インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4) のプロパティ」画面で、「IP アドレスを自動的に取得する」、「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」にチェックを入れ、「OK」をクリックする

※ 既に「IP アドレスを自動的に取得する」に設定されている場合は、この①の操作は不要です。

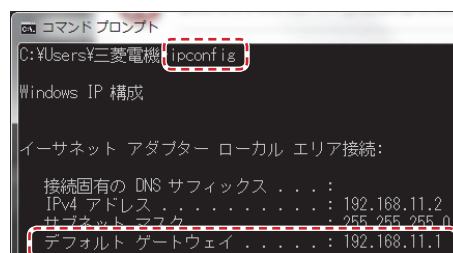


- ② Windows® 画面の左下にある「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」の順で選択し、「コマンドプロンプト」画面が表示されたら、「ipconfig」と入力し、Enter キーを押す

「イーサネットアダプターローカルエリア接続」の「デフォルトゲートウェイ」に表示されている値を確認する

※ この値が、使用されるルーターの IP アドレス（固定）です。

※ 無線 LAN の場合は、「Wireless LAN adapter ワイヤレス ネットワーク接続」の「デフォルトゲートウェイ」に表示されている値



例)

デフォルトゲートウェイ (優先 DNS サーバー)	192.168.11.1
------------------------------	--------------

- 本機とサーバーコンピューターをハブのみにて LAN 接続している場合

ハブにはルーターのような IP アドレス（固定）がありません。よって、特に問題がない場合は、6 → P17 の例) に記載と同じ「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」、「優先 DNS サーバー」の値を使用してください。

### 【必要に応じて】

サーバーコンピューターとルーターとの接続環境を、無線→有線、または有線→無線に変更する場合は、2 にて新しい接続方法（有線／無線）を選択し、以降 3～6 の設定をおこなってください。

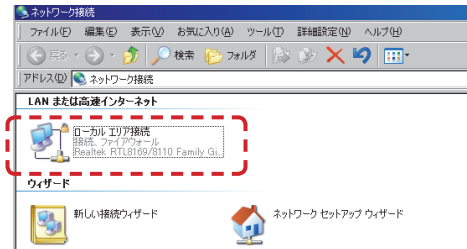
#### お知らせ

- サーバーコンピューターとルーターを無線 LAN と有線 LAN で同時に接続する場合、同じ IP アドレスを設定することができません。

## ■ Windows® XP の場合

ここではローカルエリア接続（有線 LAN 接続）の場合を説明します。

- 1 Windows® 画面の左下にある「スタート」→「設定」→「ネットワーク接続」の順で選択する



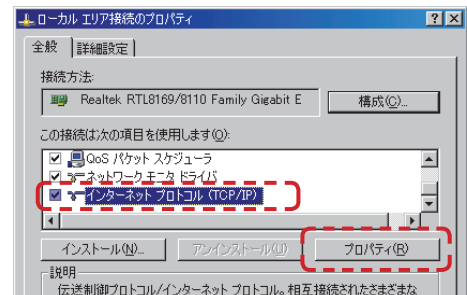
- 2 「ローカル エリア接続」をダブルクリックし、「ローカル エリア接続の状態」画面が表示されたら、「プロパティ」をクリックする

### お知らせ

無線 LAN の場合は「ワイヤレスネットワーク接続」をダブルクリックしてください。



- 3 「ローカル エリア接続のプロパティ」画面が表示されたら、「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選択し、「プロパティ」をクリックする



- 4 「インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ」画面が表示されたら、IP アドレスの設定状態を確認する（以降の設定操作に使用しますので、IP アドレスはメモ等に控えられることをおすすめします。）

### ■ 既に固定 IP アドレスが設定されている場合

設定されている固定 IP アドレスの値を確認し、以降の IP アドレスの設定の際はこの値を使用する

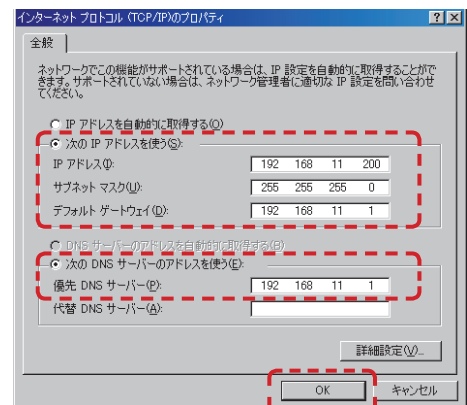
- 「キャンセル」をクリックし、設定を終了してください。

### ■ 固定 IP アドレスが設定されていない場合、または「IP アドレスを自動的に取得する」に設定されている場合

以下の操作により固定 IP アドレスを設定する

- ① 「次の IP アドレスを使う」にチェックを入れる
- ② 「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」の値を設定する
- ③ 「次の DNS サーバーのアドレスを使う」にチェックを入れる
- ④ 「優先 DNS サーバー」の値を設定する
- ⑤ 「OK」をクリックする

※ それぞれの設定値については、Windows® 7 の場合の 6 → P17 ~ P18 を参照してください。



**【必要に応じて】**

無線 LAN を使用する場合は、ローカルエリア接続 1～4 と同様の操作 (2 で「ワイヤレスネットワーク接続」を選択) によりサーバーコンピュータの IP アドレスを確認、または設定してください。

**お知らせ**

- サーバーコンピュータとルーターを無線 LAN と有線 LAN で同時に接続する場合、同じ IP アドレスを設定することができません。

## ■ Linux (Ubuntu 10.04 LTS Desktop) の場合

Ubuntu 10.04 LTS Desktop の起動画面から、「システム」→「設定」→「ネットワーク設定」の順で選択すると、以下のようなネットワーク接続設定の画面が表示されます。

この画面から有線／無線 LAN その他の設定が可能ですが、ここでは一般的な有線 LAN の設定方法を説明します。

- 1 Auto eth0 (有線 LAN ポート) が表示される画面上で、「編集」をクリックし、「Auto eth0 を編集」画面を表示させる



- 2 「IPv4 設定」を選択する



- 3 「メソッド」欄を「手動」に設定する

例えば、右記画面では、既に DHCP 接続している状態を示しているのですが、サーバーコンピュータとして動作させるためには、固定 IP アドレスを設定する必要があります。



- 4 「メソッド」を手動に切り替えた際に、「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」の値が設定されていない場合は、「追加」をクリックし、アドレス欄を入力可能状態にする

### お知らせ

- 既に固定 IP アドレスが設定されている場合は、5～9 の操作は不要です。設定されている固定 IP アドレスの値を確認し、以降の IP アドレスの設定の際はこの値を使用しますので、IP アドレスはメモ等に控えられることをおすすめします。

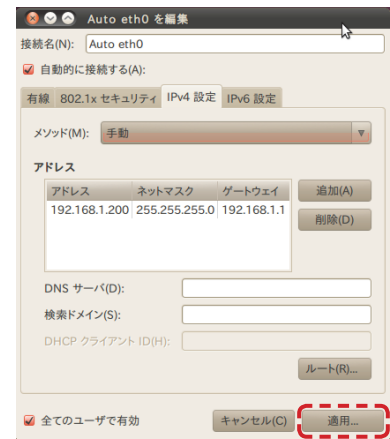


## 5 アドレス欄に「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」の値を設定する

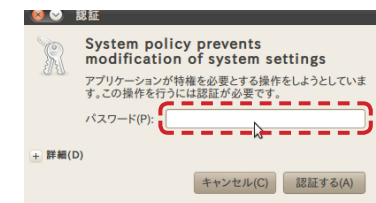
※ それぞれの設定値については Windows® 7 の場合の 6 → P17 ~ P18 を参照してください。



## 6 それぞれの値を設定したら、「適用」をクリックする



## 7 Ubuntu10.04 にログイン時のパスワードを入力する



## 8 パスワードが正しければ「閉じる」の画面に戻るので、「閉じる」をクリックする

## 9 操作中のアプリケーションをすべて終了した後、再起動を実行する

### 本機の初期ウィザード設定をおこなう

本機への固定 IP アドレス設定を含むネットワークの初期設定を本機の初期設定ウィザード画面でおこないます。(本機の取扱説明書の「[準備 8] 初期ウィザード設定をおこなう」→ P30 を参照)

#### お知らせ

- 初期設定ウィザード画面は、初めて本機の電源を入れたときや、「システムリセット」(→ P65、または本機の取扱説明書の「OSD 機能一覧【プレーヤー】」の主項目メニュー「システム設定」内の副項目メニュー「システムリセット」→ P41 を参照)、または「ディスプレイリセット」を実行した後に表示されます。(「ディスプレイリセット」は言語のみ。)
- 初期ウィザード画面にて入力するサーバーコンピューターの IP アドレスは、6で確認、または設定したサーバーコンピューターの IP アドレスです。
- サーバーコンピューターと本機を初めてネットワーク接続する場合、またはネットワーク接続を変更する場合は、初めて本機の電源を入れたとき以外は、「システムリセット」を実行することをおすすめします。



## [準備3] 本ソフトのアカウントを作成及び認証する

本ソフトを使用するためには、本ソフトへアクセスして、サインアップ機能にてユーザーアカウントの作成と認証が必要です。

### 1 ウェブブラウザを起動する

※ 本ソフトで使用できるウェブブラウザは Internet Explorer 6.0 以上、または Firefox 3.0 以上です。

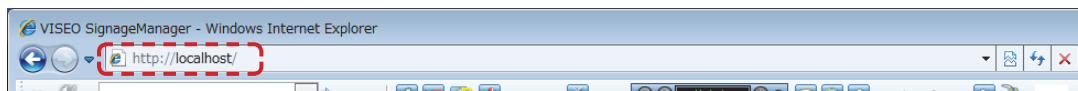
### 2 ブラウザー画面上部にあるアドレスバーに、「http:// (サーバーコンピューターの IP アドレス)」を入力して Enter キーを押し、本ソフト操作画面のホーム画面 (以下のような壁紙画面) を表示する

サーバーコンピューターの IP アドレスとは、「[準備 2] ネットワークの設定をおこなう (コンピューター側/本機側)」で確認、または設定した IP アドレスです。→ P16 ~ P22

例) サーバーコンピューターの IP アドレスが 192.168.11.200 の場合は、「http://192.168.11.200」と入力して Enter キーを押すと、本ソフト操作画面のホーム画面が表示されます。

#### お知らせ

- スタンドアローン機能のみを使用する場合は、画面上部にあるアドレスバーに「http://localhost/」を入力してください。(Windows® 7/XPの場合のみ)



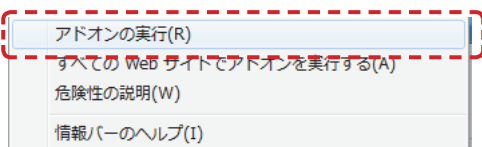
本ソフトのバージョン

「準備3」  
アカウント

① ホーム	本画面を表示します。
② マイプロフィール	本機との接続設定や接続状況を表示します。
③ ライブラリー	コンテンツ作成用の素材を管理するページです。
④ コンテンツ作成	コンテンツを作成するページです。
⑤ スケジュール設定	作成されたコンテンツを配信するスケジュールを設定します。
⑥ サインアップ	アカウントを作成します。
⑦ ユーザー ID	アカウントとして認証されたユーザー ID を入力します。
⑧ パスワード	アカウントとして認証されたパスワードを入力します。
⑨ 日本語 / English / 簡体中文	表示言語を選択します。
⑩ ログイン / ログアウト	ログイン表示状態で、⑦ユーザー ID と⑧パスワードを入力し、クリックするとログインします。ログイン後、表示はログアウトに替わります。ログアウト表示状態で、クリックするとログアウトします。

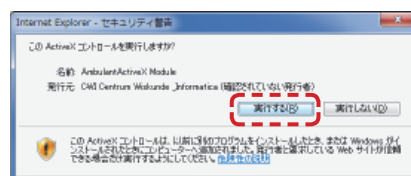
本ソフトインストール後、最初にウェブブラウザを起動すると、以下のようにアドオンソフトのインストールを求められます。

- ① ここでは、本ソフト内のコンテンツプレビュー機能を動作させるために、アドオンソフトを必要としますので、画面上部のメッセージ部分をクリックし、別な画面が表示されたら、「アドオンの実行」をクリックする

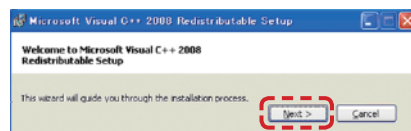


- ② 「Internet Explorer - セキュリティ警告」画面が表示されたら、「実行する」をクリックする

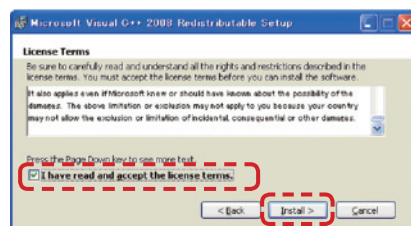
- 既に Microsoft® Visual C++2008 ランタイムがインストールされている場合は、以降の操作表示はありません。



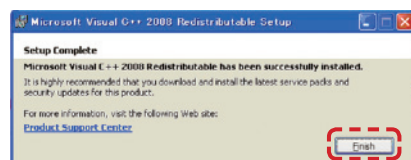
- ③ 「Next」をクリックする



- ④ 表示内容を確認し、「I have read and accept the license terms.」にチェックを入れ、「Install」をクリックする



- ⑤ 「Finish」をクリックする



#### お知らせ

- 前述の②～⑤の設定画面は、本ソフトが表示されるウェブブラウザの背面に隠れて表示されている場合があります。その場合は一旦本ソフトのウェブブラウザ画面を移動させてから、②～⑤の操作をおこなってください。



## 【本ソフトへのアカウント名の登録】

- 3 ① ホーム画面にある「サインアップ」をクリックする  
② アカウント作成画面が表示されたら、ユーザー ID（メールアドレス）、パスワード（任意の6～12文字までの半角英数字）、姓、名を入力する

メールアドレスをお持ちでない方は、以下のように任意のユーザー ID（メールアドレス）を入力してください。

\*\*\*@\*\*\*.co.jp または \*\*\*@\*\*\*.com

注）\*\*\* は半角英数字を入力してください。

例：xxx@xxx.com

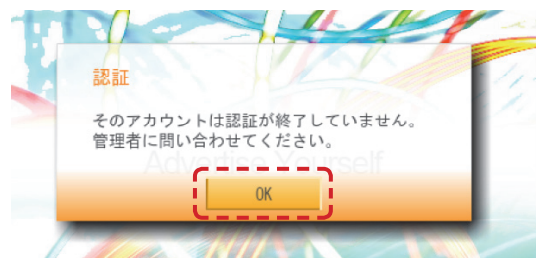
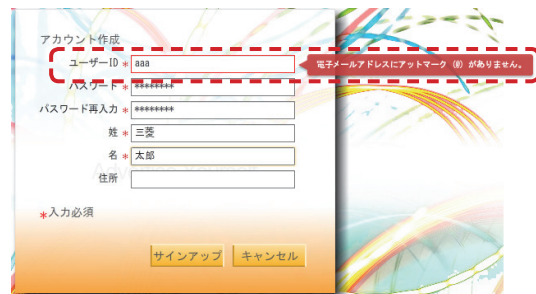
- ③ アカウント作成画面にある「サインアップ」をクリックする

### お知らせ

- ユーザーID、パスワードなどの入力必須項目の入力内容に誤りがあると、アカウント名の登録ができません。入力内容の枠が黒色→赤色になっている入力項目について入力内容の赤枠内にカーソルを移動すると、アドバイスが表示されますので、その指示にしたがって入力内容を修正してください。

- 4 「そのアカウントは認証が終了していません。管理者に問い合わせてください」と表示されたら、「OK」をクリックする

- この時点では、まだユーザー登録が終了していません。次の5で、ユーザーアカウントの認証をおこなってください。



## 【管理者によるユーザー認証】

- 5 管理者操作画面を表示する

本ソフトでは、システムを管理する権限を持った“管理者”によってユーザー認証をおこなう必要があります。認証方法については → P70 「【管理者向け】各種設定方法について」を参照してください。

## 【本ソフトへのログイン】

6 ブラウザー画面上部にあるアドレスバーに、「http://（サーバーコンピューターの IP アドレス）」を入力し本ソフトへアクセスして、本ソフト操作画面のホーム画面右上の「ユーザー ID」と「パスワード」に 3 で設定したそれぞれの情報を入力し、「ログイン」をクリックする

- ログインが完了すると、画面右上に姓名が表示されます。

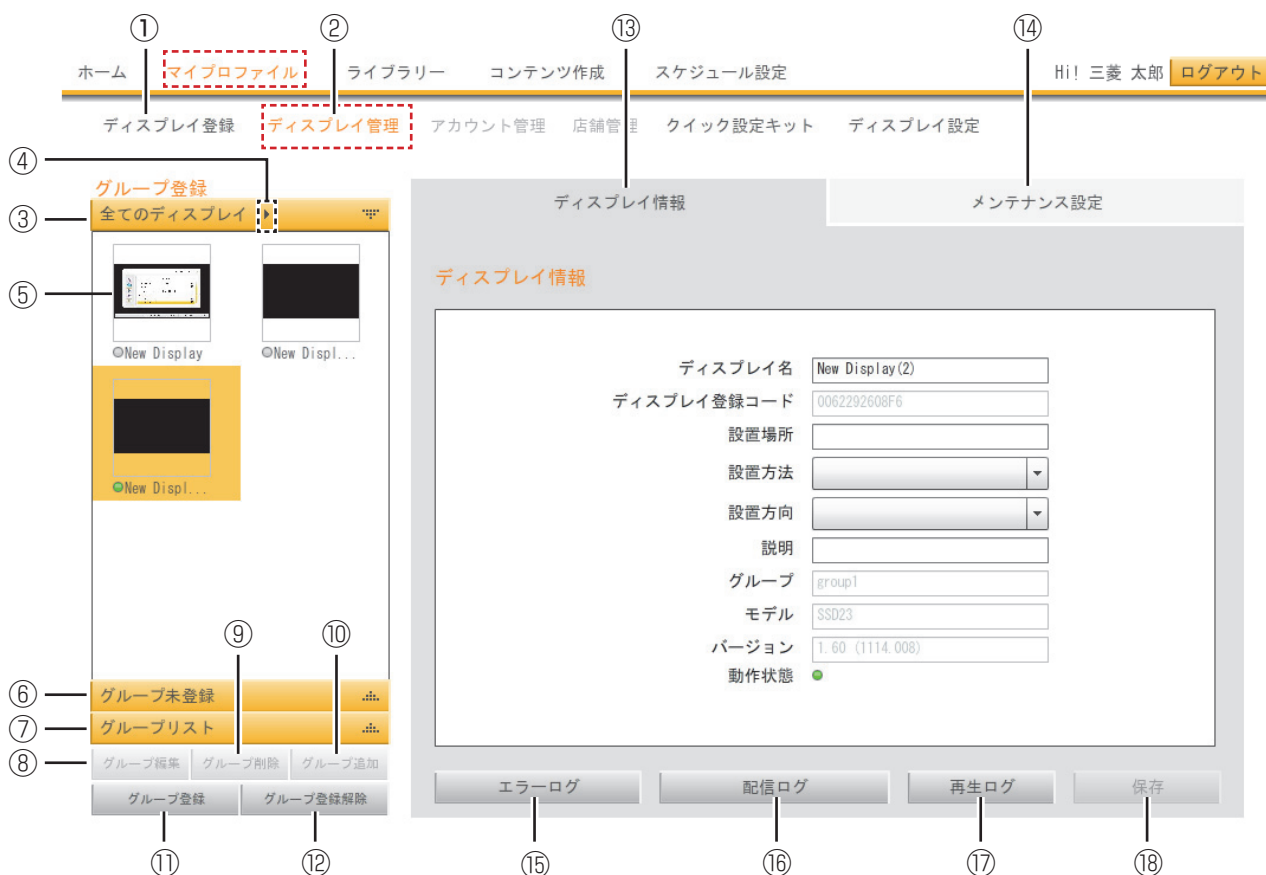


以上で、本ソフトの初期設定は終了です。

もし、本ソフトのインストール、または本ソフトが表示されない・ログインできない等の不具合が発生した場合は、「困ったとき」→ [P63](#) を確認してください。

## [準備4] 本機の登録とグループ登録をおこなう

本ソフトにてコンテンツを表示させたい本機を登録するときは、本ソフトにある「マイプロファイル」を使用します。ここでは、本機を本ソフトに登録する「ディスプレイ登録」と、同一コンテンツを同時に配信するグループに登録するための「グループ登録」の方法について、本機を1台登録する場合を説明します。本ソフトの、「マイプロファイル」→「ディスプレイ管理」の順で選択すると、以下の画面が表示されます。



① ディスプレイ登録	クリックすると、本機を登録する画面に移動します。
② ディスプレイ管理	クリックすると、登録されている本機の各種設定画面が表示されます。
③ グループ名表示	選択しているグループ名を表示します。
④ ▶	現在登録されているグループを選択できます。 初期状態では以下の2つの選択が可能です。 全てのディスプレイ：現在登録されている本機を表示します。 Default：インストール直後の初期状態で設定されているグループ名です。
⑤ 登録ディスプレイアイコン	登録されている本機を示すアイコンです。
⑥ グループ未登録ディスプレイ	クリックすると、どのグループにも登録されていない本機のリストが表示されます。
⑦ グループリスト	クリックすると、現在登録されているグループやグループの登録/削除/編集ができます。
⑧ グループ編集	グループリスト表示時、各グループ名の変更ができます。
⑨ グループ削除	グループリスト表示時、選択したグループを削除できます。
⑩ グループ追加	グループリスト表示時、新しいグループを追加できます。
⑪ グループ登録	本機のグループの登録をおこないます。
⑫ グループ登録解除	本機に登録されているグループを解除します。



<p>⑬ ディスプレイ情報</p>	<p>本機 1 台ずつにディスプレイ名、設置場所、設置方法、設置方向、説明の欄に情報を設定できます。なお、設置方法と、設置方向については以下の図に示すように選択タブより選択設定できます。</p> <p>設置方法：吊り下げ／壁掛け／デスクトップ／その他          設置方向：ランドスケープ（横置き）／ポートレート（縦置き）／ローテーション（180°回転）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ディスプレイ名 <input type="text" value="New Display"/></p> <p>ディスプレイ登録コード <input type="text" value="00622926084B"/></p> <p>設置場所 <input type="text"/></p> <p>設置方法 <input type="button" value="吊り下げ"/></p> <p>設置方向 <input type="button" value="壁掛け"/></p> <p>説明 <input type="text" value="デスクトップ"/></p> <p>グループ <input type="text" value="その他"/></p> <p>モデル <input type="text" value="SSDZ3"/></p> <p>バージョン <input type="text" value="1.61 (1118.007) (FT0)"/></p> <p>動作状態 <input type="checkbox"/></p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ディスプレイ名 <input type="text" value="New Display"/></p> <p>ディスプレイ登録コード <input type="text" value="00622926084B"/></p> <p>設置場所 <input type="text"/></p> <p>設置方法 <input type="button" value="吊り下げ"/></p> <p>設置方向 <input type="button" value="ローテーション"/></p> <p>説明 <input type="text" value="ランドスケープ"/></p> <p>グループ <input type="text" value="ポートレート"/></p> <p>モデル <input type="text" value="SSDZ3"/></p> <p>バージョン <input type="text" value="1.61 (1118.007) (FT0)"/></p> <p>動作状態 <input type="checkbox"/></p> </div> </div>
<p>⑭ メンテナンス設定</p>	<p>本機のメンテナンス機能を設定できるページです。</p>
<p>⑮ エラーログ</p>	<p>本機内部で発生したエラーのログ情報が CSV ファイルで記録できます。</p>
<p>⑯ 配信ログ</p>	<p>クリックすると、それぞれのログ情報が CSV ファイルで記録できます。CSV ファイル内部には、本機内部の OS にて発生したエラーメッセージや、コンテンツ設定</p>
<p>⑰ 再生ログ</p>	<p>配信時間、および実際にコンテンツが再生された時間が時系列で記載されています。</p>
<p>⑱ 保存</p>	<p>⑬ にて設定した本機の情報进行保存します。</p>

## 1. 本機の登録

本機の登録方法としてディスプレイ登録コードを使用する方法を説明します。

- 1 「マイプロファイル」→「ディスプレイ登録」の順で選択する
- 2 「ディスプレイ登録コード」に、登録したい本機の登録コードを入力する  
ディスプレイ登録コードは **お知らせ** を参照してください。
- 3 「保存」をクリックする



登録が正しく完了すると、「グループ未登録」に「New Display」アイコンが追加されます。

### お知らせ

- ディスプレイ名の「New Display」は「ディスプレイ情報」の「ディスプレイ名」に任意のディスプレイ名を入力し「保存」をクリックすると、変更できます。
- ディスプレイ登録コードは、リモコン、または USB キーボード（市販）にて内部プレーヤーの OSD の主項目メニュー「情報」を選択すると、画面最下段に表示されています。
  - ① 本機の「INPUT/EXIT」ボタン、またはリモコンの「プレーヤー」ボタンを押して、本機の映像入力を内部プレーヤーに切り替える。
  - ② 「MENU/EXIT」ボタンを押して、内部プレーヤーの OSD メニュー画面を表示する。



- ③ 「▽」 ボタンを押して主項目メニュー「情報」を選択し、「選択／決定」ボタンを押す。







- 「ディスプレイは存在しません」というメッセージが表示された場合は、以下の操作を確認してください。
  - ・ ディスプレイ登録コードを再度確認後、入力してください。
  - ・ 本機の取扱説明書 →P27 「LANを接続する」を再度確認いただき、配線、接続ポートを確認してください。
  - ・ ネットワークの構成やネットワーク関連の設定値を変更した場合は、このようなメッセージが出る場合があります。その際は、「困ったとき」の「● ディスプレイ登録ができない」の「【本機のシステムリセット方法】」を参照し、「システムリセット」を実行してください。 →P65
- 以下の2つの場合には「ディスプレイは既に登録されています」というメッセージが表示される場合があります。
  - ・ 本機の登録が完了しているにもかかわらず再度登録しようとした場合
    - 「全てのディスプレイ」表示にて、既に登録された本機がないか確認してください。確認は登録されている本機のアイコンをクリックして、「ディスプレイ情報」のタグ内にある「ディスプレイ登録コード」で同一のものがないかチェックしてください。
  - ・ この登録コードを持つ本機が、他のユーザーによって使用中（登録中）の場合
    - 本機1台を複数ユーザーで登録することはできません。既に登録しているユーザーによって本機の登録を解除してもらうか、管理者操作画面から本機の登録を解除してください。
- 「New Display」アイコンが既に存在する状態において追加で「ディスプレイ登録」をおこなうと、「New Display(1)」という名称でアイコンが追加されます。以降 New Display(2)、New Display(3)、と名称が追加されます。


## ■ディスプレイ状態確認

「マイプロフィール」→「ディスプレイ管理」→「Default」→「全てのディスプレイ」の順で選択すると、現在登録されている本機のアイコンが表示されます。その中から、状態を確認したい本機のアイコンをクリックし、「ディスプレイ情報」をクリックします。

1で登録された本機については、各種状態（ステータス）表示が可能です。登録した本機を選択し、動作状態が緑色になっているか確認してください。

色	ステータス
 (緑色)	正常の状態です。
 (黄色)	次の2つの状態が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本機の周囲温度が約35℃の場合。</li> <li>・ 長時間の使用で点検が必要な場合。</li> </ul>
 (赤色)	次の状態が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本機内部が何らかの原因で異常温度に達した場合。</li> </ul>
 (灰色)	本機がお手持ちのコンピューターに接続されていません。



- ※ 「Default」→「全てのディスプレイ」への「グループ名表示」変更は、「グループ名表示」の横の  マークをクリックし、「全てのディスプレイ」を選択します。

## ■ディスプレイの設定に関する他の機能

以下は本機のメンテナンス用の機能です。メンテナンス設定をクリックすると、以下のようなページが表示されます。なお、初期設定では以下のように設定されています。

自動再起動： する  
 再起動時間： 2:00  
 再起動周期： 日（毎日）



毎日一定時間に再起動する場合



毎週同じ曜日に再起動する場合



毎月同じ日時に再起動する場合。



機能	詳細
再起動設定	本機に対して定期的に再起動をかけることが可能です。 再起動の方法は次の4つの方法があります。 ・今すぐ再起動をおこなう場合： 「再起動」をクリックすると、現在アイコンを選択表示している本機はすぐに再起動を開始します。 ・毎日一定時間に再起動する場合： 「自動再起動」で「する」を選択後、再起動周期の「日」を選択し、再起動時間を設定ください。 ・毎週同じ曜日に再起動する場合： 「自動再起動」で「する」を選択後、再起動周期の「週」を選択し、再起動時間および選択タブより曜日を設定してください。 ・毎月同じ日時に再起動する場合： 「自動再起動」で「する」を選択後、再起動周期の「月」を選択し、再起動時間および選択タブより日にちを設定してください。
アップデート設定	本機側のファームウェアをアップデートします。サーバーコンピュータ上に最新のファームウェアがアップロードされている場合、「アップデート実行」をクリックすると、最新のファームウェアにアップデートします。(なおこのボタンをクリックした後、アップデートファイルを本機にダウンロードする処理を含め、本機側にアップデート開始画面が表示されるまでには通常 30 分程度かかります。)
エラーログ	クリックすると、本機が検知したエラー状態をログとして CSV ファイルに保存できます。
配信ログ	クリックすると、本機に設定されたスケジュール配信内容が CSV ファイルに保存されます。
再生ログ	クリックすると、本機にて再生されたコンテンツの種類、開始/終了時刻、正しく再生できたか否かの情報を CSV ファイルに保存できます。

上記設定を変更した場合は「保存」をクリックすると設定が保存されます。

**お知らせ**

- 連続通電でスケジュール再生する場合は、内部プレーヤーや OS の安定動作\*のため、定期的な自動再起動の設定をおすすめします (推奨 24 時間ごと)。自動再起動の設定は、「ディスプレイ管理」の「メンテナンス設定」の中で設定できます。 → P28、30  
※ 連続動作時において、内部プレーヤーや OS の動作異常やハングアップを極力抑えることができます。
- 本機でデジタルフォトフレーム機能、またはスタンドアローン機能を使用する場合は、本機にて、日付と時刻を手動設定してください。詳細は、本機の取扱説明書 → P41 「OSD 機能一覧【プレーヤー】」の主項目メニュー「システム設定」内の副項目メニュー「日付と時刻の設定」を参照してください。正しい日付と時刻を設定されない場合は、意図しない時刻に自動再起動する可能性があります。
- ファームウェアのアップデートの情報に関しては、当社ホームページに掲載予定です。
- サーバーコンピュータ上に最新のファームウェアをアップロードする方法は、「【管理者向け】その他の機能について」の「リモートファームウェアアップデートについて」を確認してください。 → P71、72
- サーバーコンピュータ上に最新のファームウェアがアップロードされている場合、「メンテナンス設定」画面の「アップデート設定」 → P30 に「このディスプレイの F/W は最新ではありません。」が表示されます。

**「エラーログ」について**

「エラーログ」をクリックすると、本機のシステムにおいて何らかの不具合が発生した場合のみ、その状況を示すログ情報が CSV 形式のファイルにて表示されます。

以下、エラーログファイルを表示する手順を説明します。

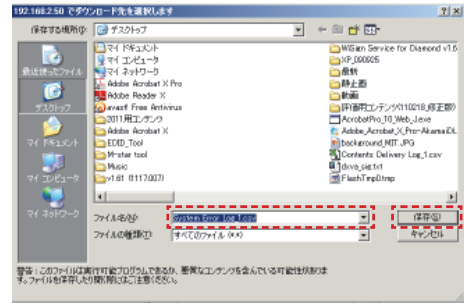
- ① 「エラーログ」をクリックすると、右図のようにエラーログを表示する期間の始まりと終わり期間が設定できます。  
通常はこのボタンをクリックした月の 1 日から当日までの日にちが設定されていますが、それ以前のログが必要な場合は、日にち表示の横のカレンダーボタンをクリックすると、任意の日にちが選択できます。



- ② エラーログの作成が完了したら、「保存」をクリックします。



- ③ 初期状態では“System Error Log\_1.csv” というファイル名が表示されますので、ファイルを保存する場所を指定し、「保存」をクリックします。



- ④ エラーログが正しく保存できた場合は、右図のように“保存完了”と表示されますので、「OK」をクリックします。



次の条件を満たす場合について、本機のディスプレイ登録コードと発生時刻とともに、以下の情報をログとして表示します。

条件	表示内容
本機内部の温度センサー値が 50℃以上を示した場合	温度センサーの測定温度を表記
動作時間が 30,000 時間以上を経過した場合	実動作時間を表記
LED バックライトが故障した場合	LED BAR (LED バックライト) Fail

エラーログの内容としては以下のとおりです。

エラーログの例 ※

A screenshot of a CSV file named 'System Error Log\_1.csv'. The file contains the following data:

A	B	C	D	E	F	G	
1	Name(Mac Address)	Display Time(hr)	Temperature(C)	Power Time(hr)	Light Bar Fail	Time	
2	New Display(006229260***)		56.8			2011-05-06 20:47:56	
3	New Display(006229260***)		65			2011-07-06 13:00:00	
4	New Display(006229260***)	31257				2012-06-28 13:11:56	
5	New Display(006229260***)	*****			failed	20**-07-23 20:47:56	
6							
7							
8							
9							
10							
11							

※ このエラーログの内容はあくまで説明用に記載したものです。よって必ずしもこのような頻度でエラーが発生するものではありません。

#### お知らせ

- エラーログについては、あくまでもシステム運用上問題のある条件になった場合に表記されるもので、当社がおすすめる使用環境条件においてはほとんど表記されません。

なお、配信ログ、再生ログについては、エラーログと同様の方法にて CSV ファイルにログ情報を確認することができます。以下、それぞれのログ内容について記載します。



## 「配信ログ」「再生ログ」について

スケジュール設定されたコンテンツが、スケジュールどおりに再生されたかを確認するためのログが表記されます。

配信ログの例

	A	B	C	D	E	F
1	Name (Mac Address)	File Name	Download Time	Status		
2	New Display(006229260***)	花.wmv	2011-05-06 20:47:56	succeed		
3	New Display(006229260***)	風景.wmv	2011-05-07 13:51:50	succeed		
4	New Display(006229260***)	タイムセール.wmv	2011-05-07 14:21:34	succeed		
5	New Display(006229260***)	特価品.wmv	2011-05-07 14:44:04	succeed		
6	New Display(006229260***)	魚.jpg	2011-05-07 15:01:27	succeed		
7	New Display(006229260***)	CIMG31314_new.jpg	2011-05-07 15:01:29	succeed		
8	New Display(006229260***)	CIMG31312.avi	2011-05-07 16:49:46	succeed		

ログ内容としては

ディスプレイ名、ファイル名（コンテンツ内で使用している動画／静止画のファイル名）、ダウンロード開始時間、ダウンロード結果（succeed：正常終了、failed：ダウンロード失敗）です。

再生ログの例

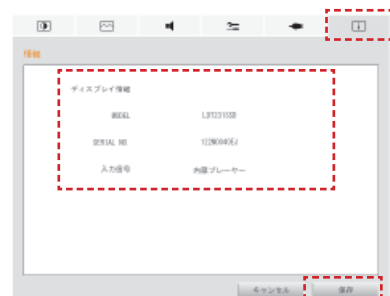
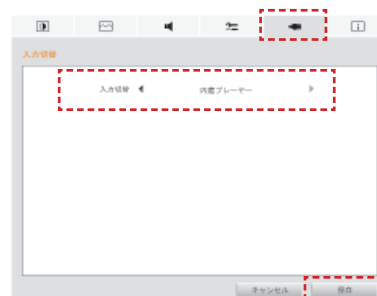
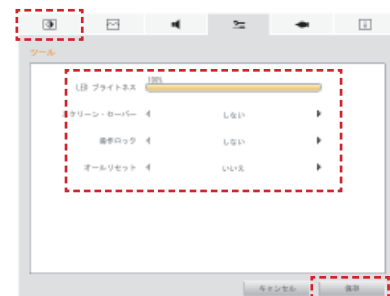
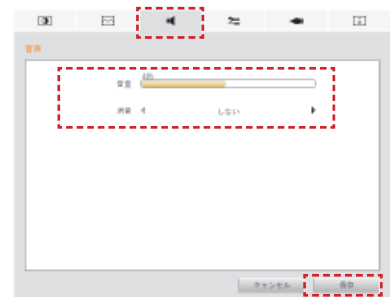
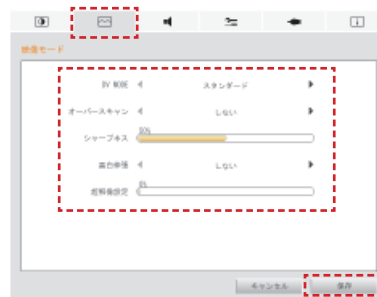
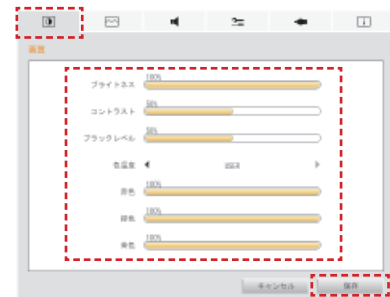
	A	B	C	D	E	F
1	Name (Mac Address)	Played Program	Start Time	End Time	Completion	
2	New Display(006229260***)	閉店時間	2011-05-06 22:18:00 +0900	2011-05-06 23:18:00 +0900	complete	
3	New Display(006229260***)	閉店時間	2011-05-07 9:55:56 +0900	2011-05-07 10:10:00 +0900	complete	
4	New Display(006229260***)	ランチタイム	2011-05-07 11:08:00 +0900	2011-05-07 13:18:01 +0900	complete	
5	New Display(006229260***)	定番1	2011-05-07 14:21:36 +0900	2011-05-07 21:08:01 +0900	aborted	
6	New Display(006229260***)	定番2	2011-05-07 16:27:43 +0900	2011-05-07 16:29:46 +0900	complete	

ログ内容としては




ディスプレイ名、コンテンツ名、開始時間、終了時間、再生状況（“complete”：正常再生，“aborted”：何らかの原因でスケジュール通り再生できなかった場合）です。

## ■ディスプレイの設定内容の確認／変更

「マイプロフィール」「ディスプレイ設定」にて以下のような情報が表示されます。それぞれの情報を変更する場合は、変更したい本機のアイコンをクリックした後、「設定」をクリックすると、各アイコンの設定項目が変更可能となります。各アイコンに設定された設定項目を変更後、画面右下の「保存」をクリックすると、設定が反映されます。



登録・設定  
準備4]

アイコン	設定項目	内容	機能の説明 (本機の取扱説明書の以下のページを参照してください)
 画質	ブライトネス	ブライトネスを設定します。	→ P57
	コントラスト	コントラストを設定します。	→ P57
	ブラックレベル	黒レベルの設定をおこないます。	→ P57
	色温度	色温度の設定をおこないます。	→ P57
	赤色	赤色のレベルを設定します。	→ P57
	緑色	緑色のレベルを設定します。	→ P57
	青色	青色のレベルを設定します。	→ P57
 映像モード	DV MODE	DV MODE の切り替えを設定します。	→ P58
	オーバースキャン	オーバースキャン機能の「する」「しない」を選択します。	→ P58
	シャープネス	文字や映像のキレを調節します。	→ P58
	黒白伸張	入力映像に対して、黒白伸張をおこないます。	→ P58
	超解像設定	低解像度のぼやけた映像を補正し、フォーカス感、ディテール感のある映像へ調節します。	→ P58
 音声	音量	音量調節をおこないます。	→ P60
	消音	消音機能の「しない」「する」を選択します。	→ P60
 ツール	LED ブライトネス	電源ランプの明るさをお好みの明るさに調節できます。	→ P62
	スクリーンセーバー	スクリーンセーバー機能を動作させます。	→ P62
	操作ロック	誤って本機の操作ボタンにより本機 OSD の設定を変更してしまうことを防ぐために OSD メニューの操作禁止を設定できます。 「する」：操作ロックする 「しない」：操作ロックしない	→ P62
	オールリセット	本機を工場出荷時の設定にリセットします。	→ P62
 入力切替	入力切替	内部プレーヤー / D-SUB / HDMI を切り替えます。	→ P11
 情報	ディスプレイ情報	本機の形名、製造番号、現在の入力状態が表示されます。	→ P63

## 2. グループ登録

本ソフトでは、本機の管理を任意のグループ名のアイコンを追加し、本機ごとに所属させるグループを登録することにより、グループ単位でのコンテンツ配信が可能となります。

### お知らせ

- 本機 1 台のみで使用する場合でも、必ずグループに登録してください。  
本ソフトはグループ単位でのコンテンツ配信をおこないますので、グループに登録されていない本機にコンテンツ配信することはできません。

### 1 任意のグループ名を追加する

例) 「新しいグループ名」として「group1」を追加する場合

- ① 「マイプロファイル」→「ディスプレイ管理」の順で選択する
- ② グループ登録の「グループリスト」をクリックする
- ③ 「グループ追加」をクリックする
- ④ 「グループ追加」画面が表示されたら、「新しいグループ名」に「group1」を入力し、「OK」をクリックする



### 2 任意のグループ名のアイコンが追加されていることを確認する

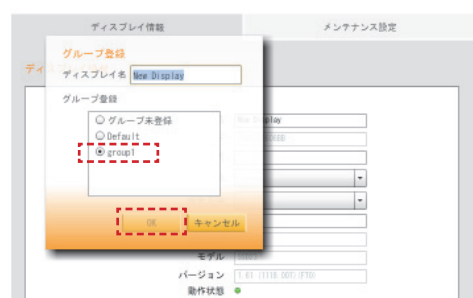
- グループの削除、グループ名の編集（グループ名の変更）をする場合は、対象となるグループ名のアイコンをクリックし、「グループ削除」または「グループ編集」をクリックします。



### 3 本機を任意のグループに登録する


例) 「New Display」を「group1」に登録する場合

- ① 「グループ名表示」の横の ▶ マークをクリックし、「全てのディスプレイ」を選択する
- ② 「New Display」アイコンを選択する
- ③ 「グループ登録」をクリックする
- ④ 「グループ登録」画面が表示されたら、「group1」にチェックを入れ、「OK」をクリックする



#### 4 任意のグループに登録された本機を確認する

例) 「New Display」が「group1」に登録されていることを確認する場合

- ① 「グループ名表示」の横の  マークをクリックし、「group1」を選択する
- ② 「New Display」が登録されていることを確認する



### ■グループ登録に関する他の機能

必要に応じて参照してください。

グループに登録されているディスプレイの確認	グループ登録の「Default」や「group1」など確認したいグループ名を選択すると、グループ内に登録されている全ての本機が表示されます。
グループ登録の解除	登録を解除したい本機のアイコンを選択し、「グループ登録解除」をクリックする
グループの削除	① グループ登録の「グループリスト」を表示する ② 削除したいグループを選択し、「グループ削除」をクリックする

#### お知らせ

- グループ内からの「本機のグループ登録解除」または「グループ削除」の結果、どのグループにも登録されていない本機が発生した場合、「グループ未登録」欄に登録されます。
- 「グループ未登録」欄に入った本機にはネットワーク経由での配信設定はできません。必ず、グループを登録してください。

### ■クイック設定キットについて

クイック設定キットは、通常本機側の OSD にておこなう各種設定内容（ディスプレイの名称、ネットワーク設定等）を本ソフト上であらかじめ作成しておき、作成された情報ファイルを USB メモリー（市販）経由で本機に差し込むことにより、本機に必要な設定が可能です。以下に設定方法を説明します。

#### 1 クイック設定キットにより設定したい本機の登録コードを確認する

- ディスプレイ登録コードは [→ P28](#) 1. 本機の登録の [お知らせ](#) を参照してください。
- クイック設定キットにより設定したい本機とサーバーコンピュータを有線 LAN にて接続する場合は、必要に応じてルーター（市販）あるいはハブ（市販）と LAN ケーブル（市販）との接続を完了させておいてください。
- クイック設定キットにより設定したい本機とサーバーコンピュータを無線 LAN にて接続する場合は、あらかじめ使用する無線 LAN ルーター（市販）との接続情報、例えばアクセスポイント名（SSID）、暗号化 KEY（パスワード）などを確認しておいてください。（アクセスポイント名、暗号化 KEY については、使用される無線 LAN ルーターの取扱説明書を確認してください。）

#### 2 管理者操作画面にアクセスし、管理者のユーザー名とパスワードにてログインする

- ログインの方法は [→ P70](#) 【管理者向け】各種設定方法を参照してください。

#### 3 ログインが完了したら、右上の「システム状態」「2. 全てのディスプレイ」を選択する

#### 4 本ソフトに登録されている本機の情報が表示されるので、今回クイック設定キットにて設定をおこなう対象となる本機の登録コードが表示されている場合は、画面左の「5. ディスプレイ削除」にて、この登録コードを削除する

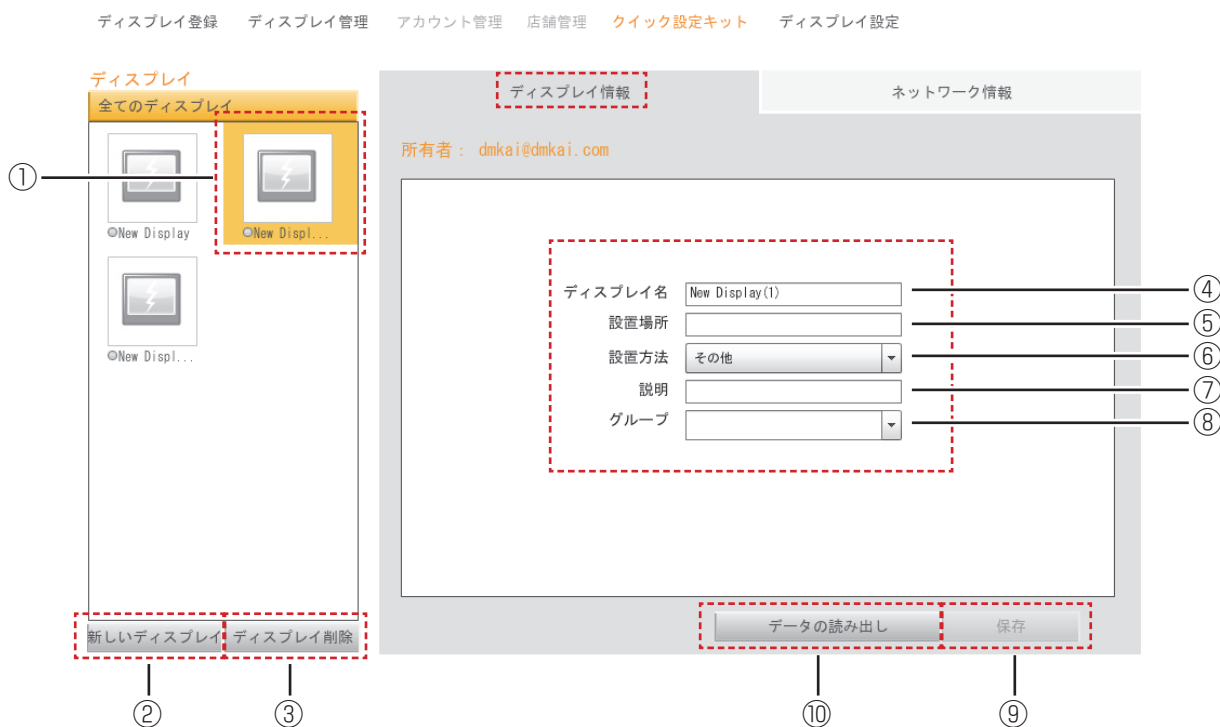
#### 5 削除が終わったら、左下の「戻る」をクリックし、「ログアウト」する

#### 6 ウェブブラウザ画面上にあるアドレスバーに、「http://（サーバーコンピュータの IP アドレス）」を入力して Enter キーを押し、本ソフト操作画面のホーム画面を表示する

#### 7 ユーザー ID、パスワードを入力後、「ログイン」をクリックしてログインする

#### 8 「マイプロファイル」→「クイック設定キット」の順で選択する

ディスプレイ情報の詳細設定内容は以下のとおりです。



ディスプレイ名

設置場所

設置方法

説明

グループ

ディスプレイ名

設置場所

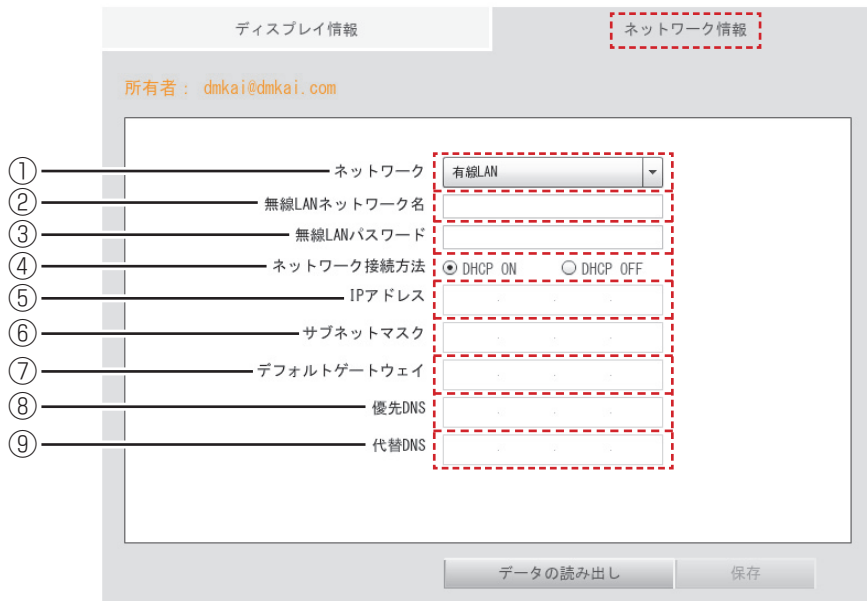
設置方法

説明

グループ

①	ディスプレイアイコン	クリックすると、本機 1 台分の詳細情報の設定（ディスプレイ情報およびネットワーク情報）の設定が可能になります。
②	新しいディスプレイ	クリックすると、ディスプレイ設定のためのアイコンが追加表示されます。なお、ディスプレイ名については初期設定時 New Display、New Display(1)、New Display(2)、… というようにクリックしていくごとに、自動的に名前が設定されます。
③	ディスプレイ削除	「新しいディスプレイ」にて追加されたアイコンを選択後、クリックすると、アイコンが消えて登録情報が削除されます。
④	ディスプレイ名	「新しいディスプレイ」にてアイコンが追加された場合には、自動的にディスプレイ名が入力されますので、必要に応じてディスプレイ名を変更してください。
⑤	設置場所	本機の具体的な設置場所などの情報を入力します。
⑥	設置方法	「吊り下げ」「壁掛け」「デスクトップ」「その他」から選択できます。
⑦	説明	上記以外の必要な情報を自由に記載してください。
⑧	グループ	「マイプロファイル」「ディスプレイ管理」「グループ登録」にて登録されているグループの中から選択します。
⑨	保存	ディスプレイ情報／ネットワーク情報にて設定した値を一旦本ソフト内に保存します。
⑩	データの読み出し	⑨にて保存された「Installationkit」というファイル名にてオペレーションコンピュータ上の任意のフォルダに保存します。

ネットワーク情報の詳細設定内容は以下のとおりです。



①	ネットワーク	有線 LAN/ 無線 LAN のいずれかを選択します。
②	無線 LAN ネットワーク名	無線 LAN ルーターのアクセスポイント名 (SSID) を入力します。
③	無線 LAN パスワード	無線 LAN ルーターの暗号キーを入力します。
④	ネットワーク接続方法	DHCP ON / DHCP OFF を選択してください。
⑤	IP アドレス	DHCP OFF の場合、それぞれの値を設定してください。
⑥	サブネットマスク	
⑦	デフォルトゲートウェイ	
⑧	優先 DNS	
⑨	代替 DNS	

• 本機複数台の設定の場合は、それぞれのアイコンをクリックした後、各データを入力してください。

9 右図のように、すべてのディスプレイの設定が終わったら、「保存」をクリックし、設定情報を本ソフト内に保存する



10 ①「データの読み出し」をクリックし、「保存」画面が表示されたら「OK」をクリックして、9にて保存された情報を「installationkit」というファイル名でオペレーションコンピュータ上の任意の場所に保存する



- ② 正しく保存できると右図のように「保存成功！」と表示されるので、「OK」をクリックする



## 11 「installationkit」ファイルを USB メモリー（市販）に保存する

### お知らせ

- 「installationkit」ファイル名を変更しないでください。
- 「installationkit」ファイルは USB メモリー（市販）のルートディレクトリに保存してください。例えばオペレーションコンピューター上で USB メモリー（市販）が G: ¥に登録されている場合は、「G: ¥installationkit」となるように保存してください。USB メモリー（市販）内に作成しているフォルダ等には保存しないでください。

## 12 11 で保存した USB メモリー（市販）を、設定対象の本機の USB ダウンストリーム端子に差し込む

- 13 しばらくすると「クイックウィザード」画面が本機に表示されます。右図は本機 3 台（ディスプレイ名：Disp1、Disp2、Disp3）分の情報が選択できる状態を示しています。操作は、リモコン（付属品）、または USB キーボード（市販）でおこないます。ここでは例として、リモコン（付属）を使用して Disp1 の設定内容を本機に設定する場合を説明します。



「△」「▽」ボタンで設定内容（Disp1～Disp3）を選択し、「◀」「▶」ボタンで「選択」にカーソルを移動させ、「決定」ボタンで決定する

- 「ネットワークに接続しています」というメッセージが表示された後、接続処理が終了すると元の壁紙画像に戻ります。

## 14 本機の取扱説明書 → P42 「OSD 機能一覧【プレーヤー】」の主項目メニュー「ネットワーク設定」内の副項目メニューを表示させ、Disp1 にて設定した情報が反映されていることを確認する

### お知らせ

前記設定が完了後は、本ソフトにてスケジュール設定がおこなわれている場合は、すぐにコンテンツをダウンロードして表示されます。また、スケジュール設定がない場合は、スリープモード（画面が消え、電源ランプが点滅）に切り替わります。

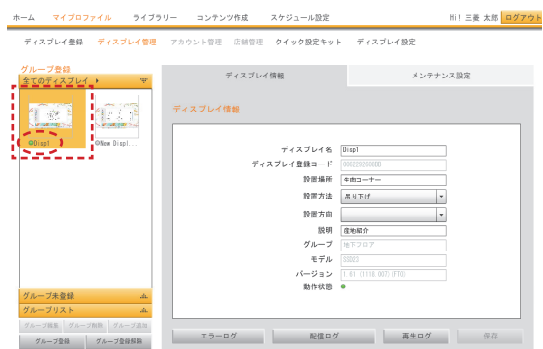
## 15 本機の電源スイッチ、またはリモコンの電源ボタンを長押し（約 5 秒）して本機の電源をオフし（電源ランプが消灯状態）、USB メモリー（市販）を抜いた後、再度本機の電源をオンする

## 16 本ソフトに再度ログインして、「マイプロファイル」→「クイック設定キット」の順で選択する

- 17 ① 右図のように、設定済みの Disp1 について「クイック設定キット」「ディスプレイ」「全てのディスプレイ」の中からアイコンが消えていることを確認する



- ② 「マイプロファイル」→「ディスプレイ管理」の順で選択し、「Disp1」が追加され、ステータス表示が“緑色”（サーバーコンピューターと Disp1 がネットワークで接続されている）になっていることを確認する



## 18 引き続き Disp2、Disp3 を他の本機に設定する場合は、12～17 を繰り返す

- 最終的に「クイック設定キット」にて設定した本機とサーバーコンピューターが正しく接続された場合は、「クイック設定キット」における「全てのディスプレイ」に表示されるアイコンがなくなり、新たに「マイプロファイル」「ディスプレイ管理」にて「Disp2」、「Disp3」が表示されることにより、「クイック設定キット」による設定は完了です。

## [準備5] コンテンツ作成用素材を準備する

コンテンツ作成用素材については、以下のフォーマットに対応したファイルを準備してください。

なお、準備したコンテンツは、あらかじめオペレーションコンピューター、またはサーバーコンピューター上にフォルダ等を作成して保存してください。

素材名	拡張子	最大スペック
静止画ファイル	jpg, jpeg, png <sup>※1</sup> , bmp	解像度：1280×720
動画ファイル	wmv <sup>※2</sup> , mpg <sup>※3</sup> , mpeg <sup>※3</sup>	解像度：1280×720、フレームレート：30fps、ビットレート：10Mbps
音楽（または、音声）ファイル	mp3, wma <sup>※4</sup> , wav	<mp3> ビット深度：16bit、サンプリング周波数：48kHz、ビットレート：320kbps <wma> ビット深度：16bit、サンプリング周波数：48kHz、ビットレート：192kbps <wav> ビット深度：16bit、サンプリング周波数：44.1kHz、ビットレート：192kbps

※1 8ビットカラー未満の場合は画像が崩れる場合があります。また、透過処理は無効になります。

※2 Windows Media Video 9 (FourCC：WMV3) フォーマットに対応しています。

※3 MPEG-2 PS (プログラムストリーム) フォーマットに対応しています。

※4 Windows Media Audio 9 Voice フォーマットには対応していません。

### お知らせ

- 背景に使用する画像は、16:9のアスペクト比（例：横1280×縦720ライン）にて作成することをおすすめします（16:9以外では画面の左右または上下に帯が表示されます）。
- 上記のスペックはあくまで目安であり、すべての素材ファイルの形式に対応するものではありません。
- コンテンツ作成用のテンプレートは標準で10種類あります。コンテンツ作成のテンプレートを使用する場合は、以下のアスペクト比で素材を準備してください。

なお、テンプレートに貼り付けられる素材の位置は決まっています。

ピンク部分：動画貼り付け可能

青部分：静止画貼り付け可能

これらのテンプレートは例ですので、お客様によりこれらをベースにカスタマイズしていただき、新たなテンプレートを作成して保存することもできます。



参考：各テンプレートのアスペクト比（解像度）

AD1：動画 16:9 (1280×720)

AD2：静止画 16:9 (1280×720)

News1、News2：動画 4:3 (640×480)、静止画1 8:3 (640×240)、静止画2 8:9 (640×720)

Business1、Business2：動画 4:3 (960×720)、静止画1/静止画2: 8:9 (320×360)

Tech1、Tech2：動画 4:3 (640×480)、静止画1 8:9 (640×720)、静止画2 8:3 (640×240)

Tomato：静止画1 8:6 (950×710)、静止画2 8:9 (316×350)、静止画3 8:9 (316×354)

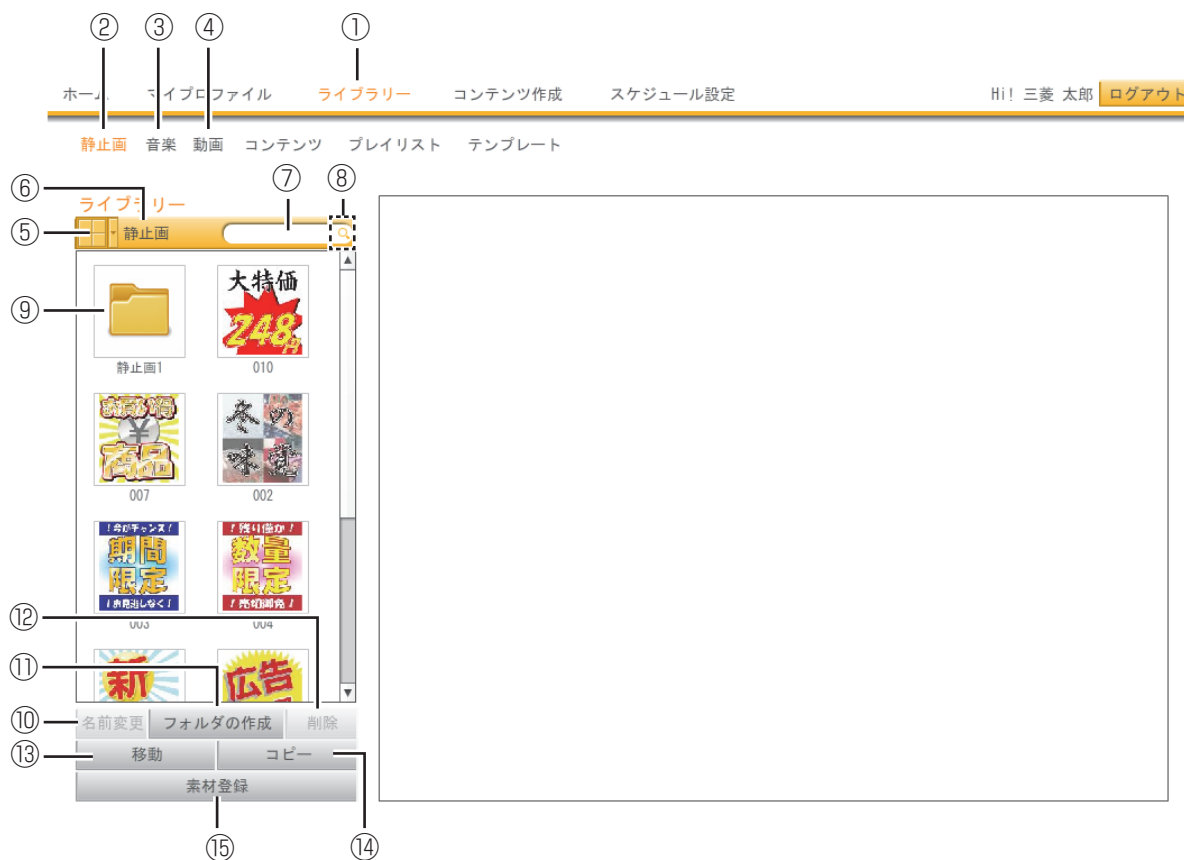
Normal：動画 4:3 (367×274)、静止画1 4:3 (367×274)、静止画2/静止画3 5:2 (703×274)





# [使用方法1] 素材をライブラリーに登録する

コンテンツ作成のもとになる素材（動画／静止画／音楽、または音声ファイル）を管理するライブラリー機能にて、本ソフトに素材を登録します。

## ライブラリー機能の表示画面の説明



① ライブラリー	クリックすると、本ページが表示されます。
② 静止画ライブラリー	クリックすると、ライブラリー機能にて登録された写真などの静止画素材を表示します。
③ 音楽ライブラリー	クリックすると、ライブラリー機能にて登録された BGM に使用する音楽（または音声）ファイルを表示します。
④ 動画ライブラリー	クリックすると、ライブラリー機能にて登録されたムービーなどの動画素材を表示します。
⑤ サムネイル／詳細切替  または 	クリックすると、フォルダ／ファイルの表示方法が「サムネイル形式／詳細リスト表示」で変更できます。 サムネイル：多数の画像を表示するため、縮小イメージで表現された画像（動画、コンテンツ、プレイリストは先頭の画像）のことです。 詳細：ファイル名と日付、またはファイル名とファイルサイズの表示が可能です。
⑥ ライブラリー名表示	現在のライブラリー名を表示しています。
⑦ 検索バー	このバー内にフォルダ／ファイルを検索するためのキーワードを入力します。
⑧ 検索／クリア	クリックすると、検索バーに入力されたキーワードでファイル／フォルダを検索して表示します。また、検索バーのキーワードをクリアします。
⑨ フォルダ	各素材を整理して保存するために、フォルダを作成することができます。
⑩ 名前変更	クリックしたフォルダ／ファイルの名前を変更します。
⑪ フォルダの作成	クリックすると、新しいフォルダが作成されます。
⑫ 削除	選択したフォルダ／ファイルを削除します。
⑬ 移動	フォルダ／ファイルを任意のフォルダに移動したいときに使います。
⑭ コピー	フォルダ／ファイルを任意のフォルダにコピーしたいときに使います。
⑮ 素材登録	クリックすると、写真や動画ファイルをライブラリー（静止画／音楽／動画）に登録する画面が表示され、素材を登録することができます。

以下の手順にて素材を登録します。  
ここでは静止画の登録を例に説明します。

- 1 ① 「ライブラリー」→「静止画」をクリックする
- ② 「素材登録」をクリックする
  - 「メディアアップロード」画面が表示されます。

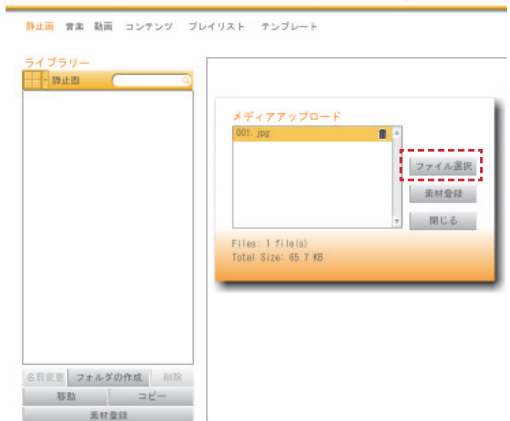
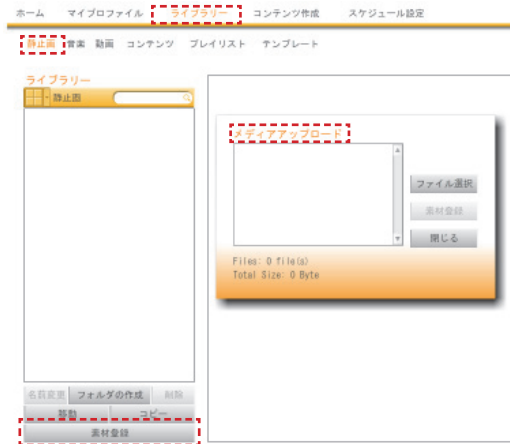
## 2 「ファイル選択」をクリックし、登録したい静止画を選択する

- 「ファイル選択」をクリックすると、保存先を選択するウィンドウが開きます。登録したい静止画ファイルが保存されている保存先を指定し、ファイルを選択ください。
- 登録したい素材ファイルが複数ある場合は、必要なファイルをすべて選択してください。
- 誤ってファイルを選択した場合は、「ゴミ箱」マークをクリックすると、選択が解除されます。
- フォルダは選択できませんので、ファイルを選択して登録してください。

## 3 「素材登録」をクリックする

- 「素材登録」をクリックすると、順次、ファイル名横の「ゴミ箱」マークが「✓」マークに切り替わります。
- 正しく登録された場合は、「登録成功」と表示されますので、「OK」をクリックしてください。

## 4 画面左側の静止画ライブラリーに素材登録したファイルのアイコンが追加されていることを確認し、「閉じる」をクリックする



## ■ライブラリーに関する他の機能

新しいフォルダを作成する	① 新規フォルダを作成したいライブラリーを選択し、「フォルダの作成」をクリックする ② フォルダ名を入力し、「OK」をクリックする
素材フォルダ / ファイルを削除する	① 削除したいファイルやフォルダをクリックして選択し、「削除」をクリックする ② 「OK」をクリックする
素材フォルダ / ファイルの名前を変更する	① 名前を変更したいフォルダやファイルをクリックして選択し、「名前変更」をクリックする ② 新しい名前を入力し、「OK」をクリックする

## ■コンテンツ作成ツール 試供版 iroDori デザイナー（付属）によるコンテンツファイル格納場所

お手持ちのコンピューターにインストールされた iroDori デザイナーにて作成された動画ファイルを、本ソフトの素材フォルダに転送することができます。転送方法は、iroDori デザイナーのユーザーズガイドを参照してください。  
転送されたファイルは右図のように、「動画ライブラリー」の「Irodori」というフォルダ内に格納されます。



## ■素材フォルダやファイルの移動またはコピー


- 1 移動またはコピーしたいファイルを選択し、「移動」または「コピー」をクリックする
- 2 各ライブラリーの右横に新たな画面が表示されます。新しく表示された画面で、移動先またはコピー先のフォルダをクリックして選択する
- 3 ライブラリー（左側）から移動またはコピーしたいフォルダやファイルを、右側の選択したフォルダにドラックアンドドロップする
- 4 作業が完了したら、「移動」または「コピー」をクリックし、新たな画面を閉じる




「使用方法」  
登録


## ■素材フォルダやファイルの検索

例) 「おすすめ」というキーワードで検索する場合

1 検索したいライブラリーの検索バー  に、検索したいキーワードを入力する

2 検索  をクリックする

- 検索結果が表示されます（入力したキーワードを含むフォルダやファイルが表示されます）。

3 検索を終了したい場合は、クリア  をクリックする

- 全てのフォルダやファイルが表示されます。

ライブラリー



ライブラリー



ライブラリー



## ■静止画ライブラリー内の素材のプレビュー

1 「ライブラリー」内の「静止画」をクリックする

【名前や日付から選択してプレビューする場合】

2 ① 「サムネイル／詳細切替」  または  をクリックし、「サムネイル／詳細」を表示する

② 「詳細」を選択し、ファイル名と日付を表示する

- 「名前」をクリックすると、素材フォルダやファイル名順に並び替えられます。
- 「日付」をクリックすると、日付順に並び替えられます。
- 「日付」の横にある▼マークをクリックするとファイルサイズが表示されます。「サイズ」をクリックすると、ファイルサイズ順に並び替えられます。
- 再度クリックすると、並び替え順が逆になります。

3 任意のファイル名を選択すると、右側に拡大画像が表示される

【サムネイルとファイル名から選択してプレビューする場合】

4 ① 「サムネイル／詳細切替」  または  をクリックし、「サムネイル／詳細」の選択画面を表示する

② 「サムネイル」を選択し、サムネイルとファイル名を表示する

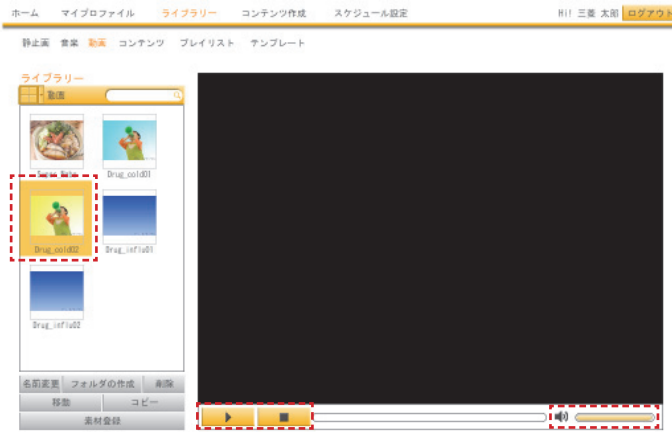
5 任意のサムネイルを選択すると、右側に拡大画像が表示される



## ■動画ライブラリー内の素材のプレビュー

動画ライブラリー内の素材についても、任意のサムネイル、またはファイル名を選択し、以下のようにプレビュー画像を確認することができます。

音楽ライブラリー内の素材についても、同様な手順で視聴が可能です。







再生時



一時停止時

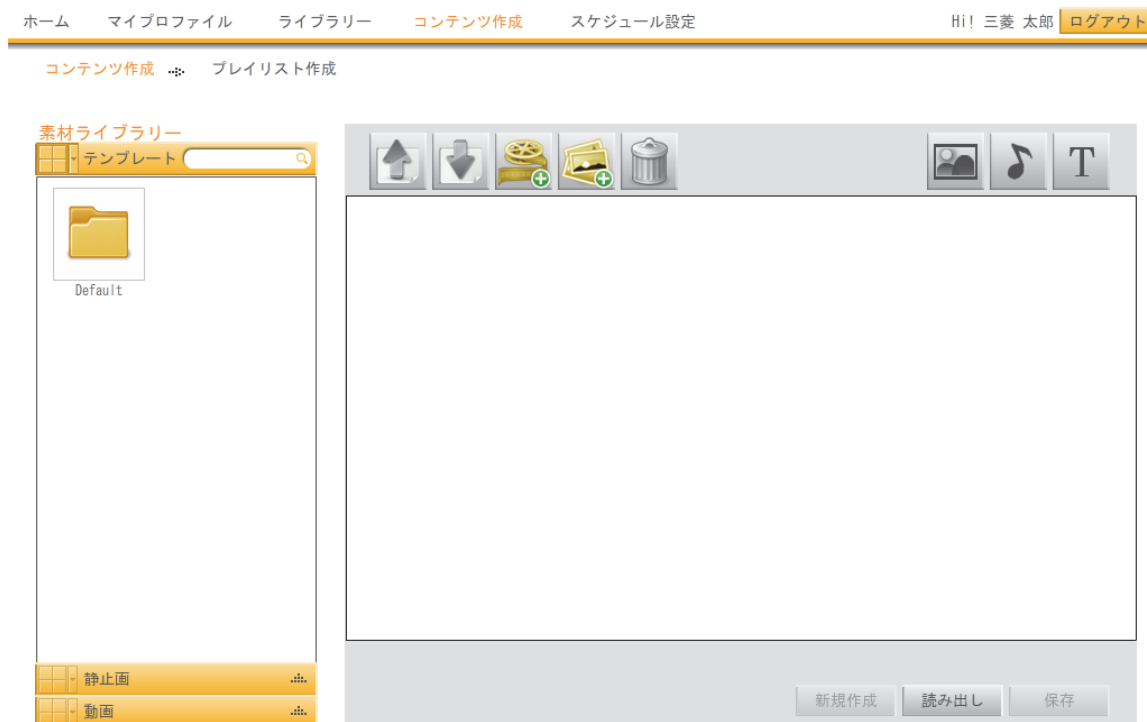


アイコン/設定	機能
 (再生時)	クリックすると、動画ライブラリーの中から選択された素材をプレビュー再生します。
 (一時停止時)	再度押すと、プレビューは一時停止となります。
	クリックすると、プレビュー再生を停止します。
	プレビュー再生時の音量を調節します。 オレンジ色のバーをクリックして選択し、左右に動かすと再生時の音量が変化します (小 ⇄ 大)

## [使用方法 2] コンテンツを作成する

「[使用方法 1] 素材をライブラリーに登録する」で準備された素材を用いて、本ソフトのコンテンツ作成機能でコンテンツの作成をおこないます。本ソフト上の「コンテンツ作成」をクリックすると、以下のようなコンテンツ作成画面が表示されます。

### コンテンツ作成画面の構成



アイコン	機能	詳細
	表示順序（前）	静止画を重ねて配置した場合、選択した静止画を前面／背面に表示する順序を変更できます。
	表示順序（後）	
	動画エリア追加	動画エリアを追加します。（動画エリアは1つのみ）
	静止画エリア追加	静止画エリアを追加します。（静止画エリアは最大6つまで）
	削除	削除したい動画／静止画エリアを選択して、このアイコンをクリックします。
	背景画像挿入	動画／静止画エリアとは別に背景画像の選択が可能です。このアイコンをクリックすると、背景画像（静止画）の選択画面が表示されます。貼り付けたい画像を選択し、「OK」をクリックすると、背景画像が設定できます。また、単色の背景にしたい場合の設定もできます。
	BGM リスト設定	BGM（Back Ground Music）用の音楽（または、音声）ファイルを選択します。
	テロップ設定	テロップ表示設定画面が表示されます。

#### お知らせ

- テロップ：任意の文字を画面の上下左右方向に文字の大きさやフォント、色、表示速度などを設定して文字情報を表示するものです。

コンテンツの作成(素材の貼付け)には大きく分けて2つの方法があります。お客様の作成しやすい方を選んでください。


- 【1】 動画アイコンや静止画アイコンにより素材を貼り付ける方法
- 【2】 テンプレートを使用して素材を貼り付ける方法

**お知らせ**

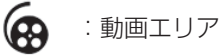
- 再生コンテンツ容量が大きい場合、または再生コンテンツの数が多い場合、1つのコンテンツの容量は最大150MB程度を目安に作成してください。

**【1】 素材の貼り付け（動画アイコンや静止画アイコンにより素材を貼り付ける方法）**

**【動画の貼り付け】**


1 動画  アイコンをクリックし、右画面上に動画エリアを表示する

- ・ 貼り付け可能なエリアに表示されているアイコン：



：動画エリア




2 ① 「素材ライブラリー」から「動画」を選択する  
② 動画エリア  に、動画ライブラリーから貼り付けたいファイルをドラックアンドドロップする

- ・ 選択した動画の画像が表示され、「動画リスト」画面が表示されます。
- ・ 動画のプロパティで、再生回数や表示サイズを設定できます。
- ・ 設定回数の数値がグレー色になっていますが、▲▼にて設定可能です。

③ 貼り付けたファイル名を確認して、右上「×」マークをクリックして画面を閉じる



**【静止画の貼り付け】**

3 静止画  アイコンをクリックし、右画面上に静止画エリアを表示させ、貼り付けたい位置にドラックアンドドロップする

- ・ 貼り付け可能なエリアに表示されているアイコン：




：静止画エリア

**お知らせ**

- 動画エリアに静止画エリアが隠れるように配置すると、静止画エリアが見えなくなり、触ることができません。静止画エリアを確定した後、動画エリア（サイズ含む）を確定してください。  
もし、静止画エリアが動画エリアによって見えなくなった場合、動画エリアを移動したり、サイズを小さくして、静止画エリアが触れられる位置に移動してから、動画エリアを再配置してください。



「使用方法」作成

4 ① 「素材ライブラリー」から「静止画」を選択する  
 ② 静止画エリア  に、静止画ライブラリーから貼り付けたいファイルをドラッグアンドドロップする

- 選択した画像が静止画エリアに表示され、「静止画リスト」画面が表示されます。
- スライドショーのプロパティで、表示時間や表示サイズを設定できます。
- 表示時間の数値がグレー色になっていますが、▲▼が黒色になっていれば▲▼にて設定可能です。（静止画2つ以上を貼り付けた場合。）

③ 貼り付けたファイル名を確認して、静止画リストを閉じる

5 静止画を追加する場合は、手順 3、4 を繰り返す

**お知らせ**

- 静止画エリアに複数の静止画を貼り付けることにより、スライドショー（それぞれの静止画を一定時間ずつ切り替えながら表示）としての効果を設定することが可能です。詳しくは、■ スライドショーの設定 → P54 を参照してください。

**【動画、静止画の位置やサイズ変更】**

6 (必要に応じて) 動画、静止画 (画像) の位置やサイズを変更する

- 静止画エリアのサイズと貼り付けた画像のアスペクト比が異なる場合は、静止画エリアの枠をクリックして選択し、上下左右に動かします。

また、「スライドショーのプロパティ」で「アスペクト」または「フル」を設定すると、以下のように静止画エリア内部に表示される画像サイズが変更できます。

アスペクト：アスペクト比そのまま静止画を貼り付けます。

フル：静止画エリアの枠一杯に表示させます。

- 位置を動かすには動画、静止画エリアを貼り付けたい位置にドラッグアンドドロップします。
- それぞれの画像の位置やサイズを調節すると、右図のような動画と静止画のコンテンツが作成できます。

**お知らせ**

- 静止画や動画の枠は画像作成時のみ表示されるもので、本機で表示する際には表示されません。




【画像サイズ変更 (アスペクト/フル)】



【コンテンツ完成イメージ】



【背景画像の貼り付け／背景に色を付ける】

- 7 ① 背景  アイコンをクリックし、背景静止画リストを表示する
- ② 背景に画像を貼り付けたい場合は、任意のファイルを選択し「OK」をクリックする

お知らせ

- 背景画像についてはあらかじめ 16:9 の画像を準備いただくことをおすすめします。

- 16:9 の画像の場合の背景  
画面全体に背景画像が表示されます。

- 16:7 の画像の場合の背景  
背景画像の上下に帯が表示されます。

- 16:9、16:7 以外の画像の場合の背景（例：4:3 の場合）  
背景画像の左右に帯が表示されます。



【16:9 の画像の場合】



【16:7 の画像の場合】



【4:3 の画像の場合】


使用方法  
作成

③ 画面全体の背景に色を付けたい場合や、(必要に応じて) 16:9 以外の画像を背景に選択したときの画像周囲の帯に背景色を付けたい場合の設定をする

画面全体に背景色を付ける場合や、背景画像周囲の帯に色を付ける場合、以下のとおり、色を付けることができます。

- 背景画像を設定するファイルの「背景色」をクリックします。

**お知らせ**

- 背景静止画リストを再表示する場合は、再度、背景  アイコンをクリックしてください。

- 背景色設定画面が表示されたら、背景色エリア、またはバーをクリックし、○印、または三角マークの色を設定、または色番号を直接入力して、「OK」をクリックします。

- 背景色を決定し (右図は背景色を緑に決定したときの例)、「OK」をクリックします。

- 背景色を設定することができます。

- 背景画像に対して表示サイズを設定することができます。  
 アスペクト：選択した画像のアスペクト比を変えず背景画面として表示します。  
 (この場合、貼り付ける画像によって上下左右に帯が発生します。)  
 フル：選択した画像を背景画面全体に拡大表示します。



【背景画像周囲の帯に色をつけたイメージ】



## 【BGM の選択】

### ⑧ ① 音楽 アイコンをクリックする

- 「BGM リスト」に、あらかじめ音楽ライブラリーに登録していた音楽（または、音声）ファイルが表示されます。
- ② 使用したい音楽（または、音声）ファイルを選択し、「OK」をクリックする

### お知らせ

- 音楽（または、音声）の入った動画を貼り付けている場合はここで選択した音楽（または、音声）は再生されません。（コンテンツ保存時、右図のように警告表示されるとともにBGMは設定されません）
- コンテンツ（静止画と音楽、または音声）の組み合わせの1回の再生時間が異なる場合
  - 静止画より音楽（または、音声）の方が長い場合（例えば、静止画：20秒、音楽、または音声：30秒）、プレイリスト等で次のコンテンツが再生されると、音楽（または、音声）の再生は途中で切れます。
  - 静止画より音楽（または、音声）の方が短い場合（例えば、静止画：30秒、音楽、または音声：20秒）、静止画に関係なく、音楽（または、音声）は繰り返し再生されます。

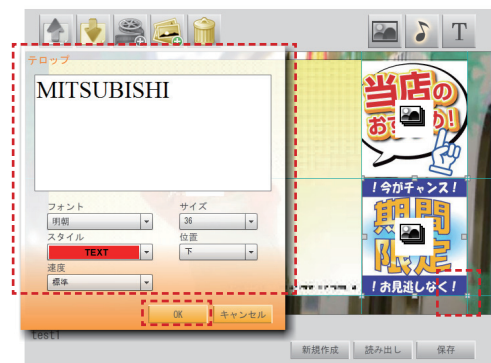
## 【テロップ表示の設定】

### ⑨ ① テロップ アイコンをクリックする

- ② テロップ表示させたい文字を入力する
- ③ 文字のフォント、サイズ、スタイル（文字の色および背景の組み合わせ）、表示位置、表示速度を設定する

※ 選択内容以外は設定できません。

例) フォント：明朝、サイズ：36、スタイル：黒字に赤背景、表示位置：下、表示速度：標準の場合の設定イメージ



【設定イメージ】

## 【保存】

- 10 ① すべての設定が終了したら、右下の「保存」をクリックする
- ② 「コンテンツ保存」画面が表示されたら、任意のコンテンツ名を入力し、「テンプレート保存」のチェックマークが外れていることを確認し、「コンテンツ保存」画面の「保存」をクリックする
- 「コンテンツ保存」画面が閉じて、右画面の左下に保存したコンテンツ名が表示されます。

### お知らせ

- 「テンプレート保存」にチェックを入れて保存すると、作成したコンテンツのテンプレートのみしか保存されません。作成したコンテンツ、テンプレートを両方保存する場合は、以下の手順にて操作してください。
  - ① 任意のテンプレート名を入力し、「テンプレート保存」にチェックを入れ、「コンテンツ保存」画面の「保存」をクリックする  
… この操作にてテンプレートのみが保存されます。
  - ② 任意のコンテンツ名を入力し、「テンプレート保存」のチェックを外し、「コンテンツ保存」画面の「保存」をクリックする  
… この操作にてコンテンツのみが保存されます。



【保存したコンテンツ名】

【新規作成】「読み出し」は、以下の用途に使用します。

新規作成	現在作成中、または作成が完了し、新たにコンテンツを作成する場合にクリックすると、コンテンツ画面内は真っ白の初期画面に戻ります。 なお、クリックしたときに、「変更を保存しますか？」という画面が表示された場合は、現在表示されている画像がコンテンツとして保存されないことを示します。コンテンツとして保存が必要な場合は「はい」を、保存の必要のない場合は「いいえ」をクリックしてください。
読み出し	一旦保存したコンテンツを再編集する場合には、クリックすると、右図のように既に登録したコンテンツのサムネイルが表示されます。再編集したいサムネイルをクリックし、「OK」をクリックすると再度コンテンツが表示されますので、この画面にて編集および保存が可能です。

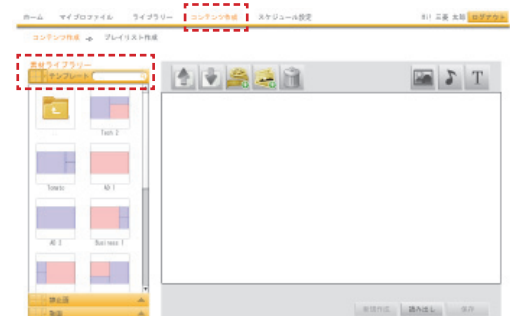


## 【2】素材の貼り付け（テンプレートを使用して素材を貼り付ける方法）

### 【テンプレートの貼り付け】

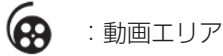
1 「素材ライブラリー」の「テンプレート」をクリックする

- そのフォルダの中の Default フォルダをクリックすると、あらかじめ 10 種類のテンプレートが準備されています。  
→ P40
- テンプレートにおける色分け：  
ピンク：動画を貼り付けるエリア  
青：静止画を貼り付けるエリア



## 2 使用したいテンプレートを右側のコンテンツ作成画面にドラッグアンドドロップする

- 貼り付けエリアに表示されているアイコン：



：動画エリア



：静止画エリア

- それぞれのエリアにあらかじめ準備した素材ファイルを貼り付けます。



### 【動画の貼り付け】

## 3 ① 「素材ライブラリー」から「動画」を選択する ② 動画エリア ⊕ に、動画ライブラリーから貼り付けたいファイルをドラッグアンドドロップする

- 選択した動画の画像が表示され、「動画リスト」画面が表示されます。
- 動画のプロパティで、再生回数や表示サイズを設定できます。
- 設定回数の数値がグレー色になっていますが、▲▼にて設定可能です。

- ③ 貼り付けたファイル名を確認して、右上「X」マークをクリックし、画面を閉じる



### 【静止画の貼り付け】

## 4 ① 「素材ライブラリー」から「静止画」を選択する ② 静止画エリア ⊕ に、静止画ライブラリーから貼り付けたいファイルをドラッグアンドドロップする

- 選択した静止画の画像が表示され、「静止画リスト」画面が表示されます。
- スライドショーのプロパティで、表示時間や表示サイズを設定できます。
- 表示時間の数値がグレー色になっていますが、▲▼が黒色になっていれば▲▼にて設定可能です。（静止画2つ以上を貼り付けた場合。）

- ③ 貼り付けたファイル名を確認して、右上「X」マークをクリックし、画面を閉じる



## 5 同様に、残りの静止画エリアにも静止画を貼り付ける



### 【BGM の選択、テロップ表示の設定、保存】

## 6 → P51 ~ P52 の 8 ~ 10 をおこなう

「使用方法」作成

## ■スライドショーの設定

静止画エリアに複数枚の静止画を貼り付けることにより、スライドショー（それぞれの静止画を一定時間ずつ切り替えながら表示する）としての効果を設定することが可能です。

例) 右上の静止画エリアに3つの静止画をスライドショーで再生する場合

1 静止画部分に1つのコンテンツが貼り付けられている場合に、このエリアに、2つ目の画像をドラッグアンドドロップする



2 静止画リストが表示され、現在貼り付けられている素材のファイル名を表示する（静止画部分をダブルクリックしても表示可能）

- 現在2つ目の画像が貼り付けられたので、図のように追加された静止画のファイル名が表示されます。



3 同様に、3つ目の画像をドラッグアンドドロップする

- 図のように、追加された静止画のファイル名（3ファイル分）が表示されます。

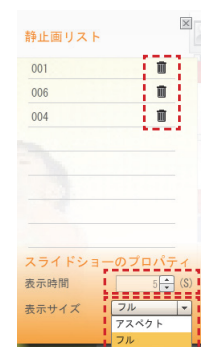
### お知らせ

- スライドショーに設定できる静止画面数は最大6つです。



スライドショーに関する設定は、右図のように静止画リストの下部に表示されるスライドショーのプロパティにて設定できます。

	このマークをクリックすると、個々の登録ファイルが削除できます。
表示時間	1つの画像を表示する時間を設定します。▲▼にて設定可能です。 ※表示時間の数値がグレー色になっていますが、▲▼が黒色になっていれば設定可能です。▲▼をクリックすると設定することができます。（初期設定：5秒、設定範囲：3～3600秒） ※静止画2つ以上貼り付けた場合に設定できます。
表示サイズ	アスペクト：貼り付けられた静止画のアスペクト比を固定したまま表示します。このため静止画エリアの形によっては上下左右に隙間ができる場合があります。 フル：貼り付けられた静止画を、静止画エリア一杯に拡大表示します。



## ■作成したコンテンツの確認

「ライブラリー」内の「コンテンツ」にて登録されているコンテンツのサムネイルをダブルクリックすると、新たに画面が表示され、プレビュー画像が再生されます。



なお、プレイリストについても、「ライブラリー」内の「プレイリスト」を選択し、上記同様プレイリストの各サムネイルをダブルクリックすると、新たな画面が起動し、プレビュー画像が再生されます。

### お知らせ

● 以下のようなメッセージが表示されてプレビュー画面が表示されない場合は、Windows® のセキュリティー機能により、ポップアップ表示機能（今回の場合は画面の表示）が制限されるように設定されています。このような場合は、以下のようにウェブブラウザの設定を変更してください。（Internet Explorer の場合）

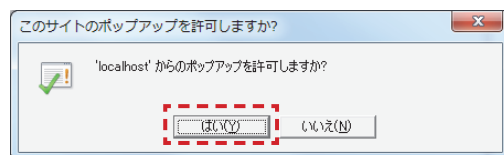
① メッセージ部分をクリックします。



② 右図のような設定画面が表示されたら、「ポップアップのブロック」→「このサイトのポップアップを常に許可」の順でクリックします。



③ 「このサイトのポップアップを許可しますか？」画面が表示されたら、「はい」をクリックします。



④ 一旦、本ソフトのログイン画面に戻りますので、再度、ログインをおこない、「ライブラリー」→「コンテンツ」、または「ライブラリー」→「プレイリスト」の順に選択します。

⑤ 以降、「コンテンツ」、または「プレイリスト」内のサムネイルをダブルクリックすると、プレビュー画像が再生されます。

## [使用方法 3] プレイリストを作成する (必要に応じて)

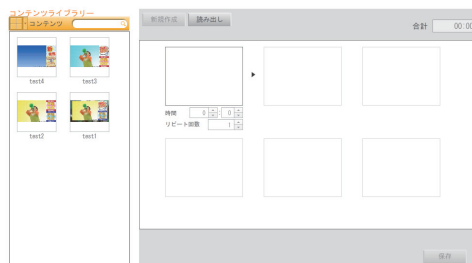
“コンテンツ作成” で作成されたコンテンツが複数ある場合、プレイリストを作成することでコンテンツの再生順序を設定することができます。

### お知らせ

- 複数のコンテンツをつなげたり、複数回再生させる場合のみ参照してください。

### 1 「コンテンツ作成」→「プレイリスト作成」をクリックする

- コンテンツライブラリーに既に作成されたコンテンツが表示されます。  
また右側には、コンテンツを再生する順序を決定する画面が表示されます。



### 2 再生したいコンテンツを、右画面の黒の枠にドラッグアンドドロップする

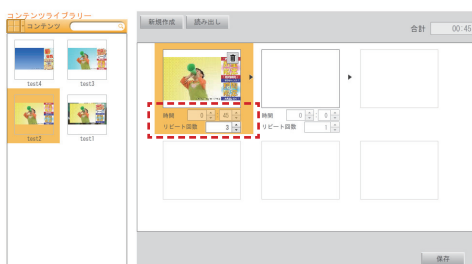
- ドラッグアンドドロップしたコンテンツが右画面に表示されます。



### 3 リpeat回数 (初期設定時は 1 回) を設定する

- リpeat回数の数値がグレー色になっていますが、▲▼にて設定可能です。(例は 3 回)
- 設定したリpeat回数再生後に次のコンテンツを再生します。

※ リpeatさせる必要がない場合は、設定不要です。



### 4 更に別のコンテンツを追加する場合は、2、3を繰り返す

#### お知らせ

- 再生コンテンツ容量が大きい場合、または再生コンテンツの数が多い場合、プレイリスト内の1つのコンテンツの容量は最大 150MB 程度を目安に作成してください。



### 5 ① 右下の「保存」をクリックする

- ② 「プレイリスト保存」画面が表示されたら、任意のプレイリスト名を入力し、「プレイリスト保存」画面の「保存」をクリックする

- 「プレイリスト保存」画面が閉じて、右画面の左下に保存したプレイリスト名が表示されます。



【保存したプレイリスト名】

## ■プレイリストのその他の機能

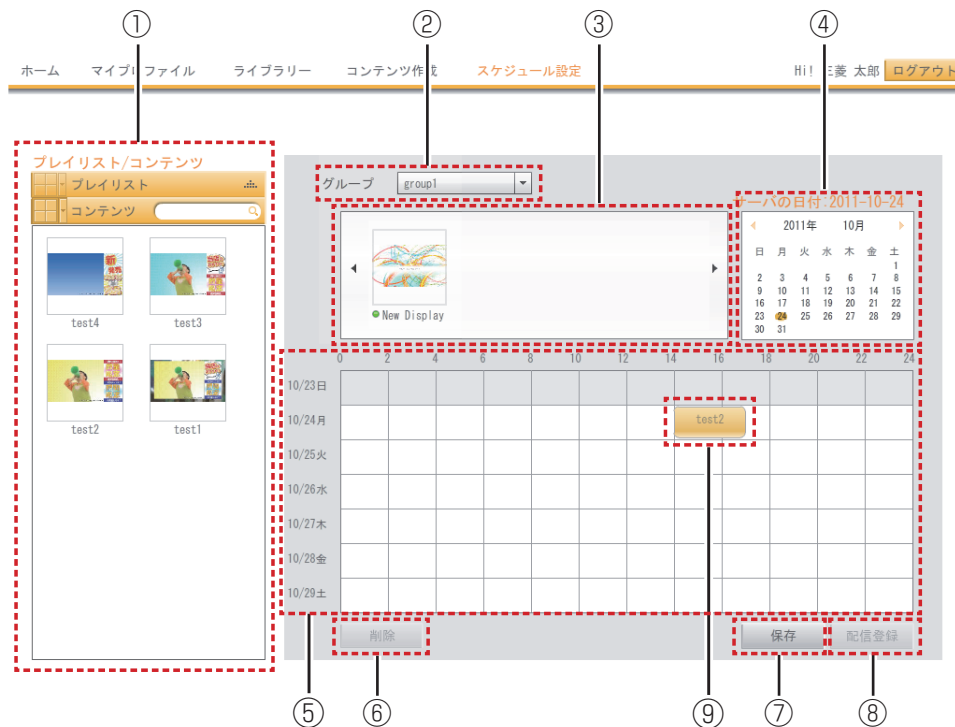
新規作成	新しいプレイリストを作成する場合にクリックします。既にプレイリストが表示されている場合に「新規作成」をクリックすると、今作成中のプレイリストを保存する、または保存しないの確認画面が表示された後、新しいプレイリスト作成画面が表示されます。
読み出し	既に作成されたプレイリストを呼び出して再編集する機能です。クリックし、再編集したいプレイリストを選択して「OK」をクリックすると、プレイリスト作成画面にて編集可能です。



## [ 使用方法 4 ] スケジュールを設定する

まずは、コンテンツを表示するスケジュールを設定します。  
あらかじめ作成されたコンテンツを、指定した時間に指定した本機に表示させるスケジュールを作成します。

### スケジュール設定操作画面の構成



① プレイリスト / コンテンツ	既に作成されたコンテンツやプレイリストが表示されます
② グループ ※	本機が所属するグループ名を選択します。
③ ディスプレイ ※	②で選択されたグループに属している本機のアイコンが表示されます。
④ カレンダー	当月分のカレンダー（オレンジ色が当日を示す）が表示されています。スケジュール設定したい日をクリックすると、指定日がオレンジ色になり、⑤のスケジュール画面が更新されます。
⑤ スケジュール設定画面 （1週間表示）	カレンダーのオレンジ色の日に該当する週のスケジュールが表示されます。表示例では 10/24（月）がオレンジ色になっていますので、この日の週（10/23（日）～ 10/29（土））までのスケジュールが表示されます。
⑥ 削除	一旦設定したスケジュールを選択したのちこのボタンをクリックすると、選択したスケジュールが削除されます。
⑦ 保存	本画面にて作成したスケジュール情報をスタンドアローン機能のための情報ファイル（zip ファイル）に変換して保存します。
⑧ 配信登録 ※	スケジュール設定画面に設定されたスケジュールを本機に配信します。
⑨ スケジュールバー	バーの左端がコンテンツ表示の開始時間、右端が終了時間を示します。このバーをクリックして選択し、左右に伸縮したり、移動したりすることにより、コンテンツの表示スケジュールを変更できます。

※スタンドアローン機能では使用しません。

例) 既に「group1」に登録されている「New Display」に対して、コンテンツ「test2」を 10/24（月）16:00 から表示を開始し、19:00 に表示を終了したい場合

1 グループタブより「group1」を選択し、「New Display」が表示されることを確認する

※ スタンドアローン機能ではこの操作は不要です。

- 2 ① プレイリスト/コンテンツより「コンテンツ」を選択する  
 ② コンテンツ「test2」をスケジュール設定画面の10/24(月)16:00付近にドラッグアンドドロップする

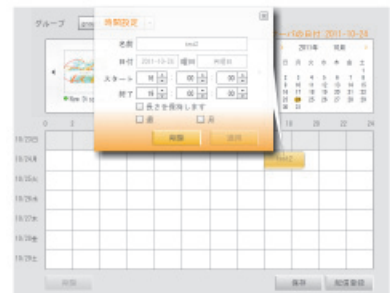
- 16:00付近にスケジュールバーと「時間設定」画面が表示されます。
- 表示例のようなコンテンツの再生時間が短い場合(15秒)は、スケジュールバーが再生時間に相当する長さになるため棒状に表示されます。



- 3 「時間設定」画面で「長さを保持します」のチェックを外し、詳細な開始時間と終了時間(16:00~19:00)を設定し、「適用」をクリックする

**お知らせ**

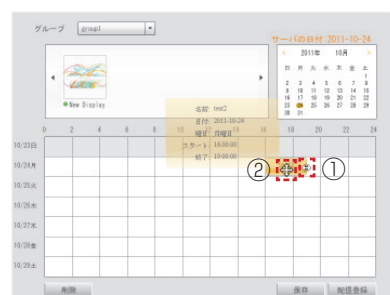
- コンテンツ作成時の再生時間に対して、この欄の時間設定の再生時間が長い場合は、終了時間まで同じコンテンツを繰り返し再生します。  
 例) 1つのコンテンツの再生時間 = 3分  
 時間設定 = 30分  
 例) の場合は、このコンテンツは連続10回再生されます。
- オレンジ色のスケジュールバーをクリックし、選択すると、「時間設定」画面が表示され、スケジュール設定した時間帯が表示されます。また、右図のような詳細な設定項目も表示されます。
- スタート、終了時刻(時・分・秒)は数値を直接入力、または▲▼をクリックして設定します。
- 長さを保持します : チェックを入れると、プレイリストまたはコンテンツのオリジナル再生時間の長さを保持します。
- 週 : チェックを入れると、現在画面に表示されている週の毎日同時刻にスケジュールが設定されます。(例の場合、「週」にチェックを入れると、10/24(月)~10/29(土)の同時刻にスケジュールが設定されます。)
- 月 : チェックを入れると、現在画面に表示されている月の毎日同時刻にスケジュールが設定されます。(例の場合、「月」にチェックを入れると、10/24(月)~10/31(月)の同時刻にスケジュールが設定されます。)



【週にチェックを入れた場合】

- スケジュールバーの長さや位置を変更する場合

- ①再生時間を変更する : スケジュールバーの左右端付近にカーソルを置くと、左右矢印マークに変わりますので、その状態でドラックしながら、左右にスケジュールバーの長さを変え、変更したい時間にします。
- ②再生日時を変更する : スケジュールバーの中央付近にカーソルを置くと、上下左右矢印マークに変わりますので、その状態でドラックしながら、変更したい日時に移動します。  
 ※上下に動かす(日にちを変える)場合は、変更したい日にドラックしながらカーソルを移動させ、ドロップするとスケジュールバーが移動します。



または、スケジュールバーをダブルクリックし、時間設定画面を表示させることでもスケジュールを変更可能です。

#### 4 更に別のコンテンツやプレイリストのスケジュールを設定する場合は、2～3を繰り返す

- 設定したスケジュールを削除する場合は、削除したいスケジュールバーを選択し、「削除」をクリックします。

##### お知らせ

- 次のような場合は、設定したスケジュールどおりに再生表示されない場合があります。
  - 現在時刻に対して、スケジュールの設定日時が極端に近い場合  
例) 現在時刻に対して1分以内に再生が開始されるようなスケジュール設定  
⇒ 本サイネージシステムは、一旦本機側にコンテンツをダウンロードしますので、ネットワークの状況やコンテンツの容量によっては再生時刻になっても再生できない場合があります。
  - 再生コンテンツ容量が大きい場合、または再生コンテンツの数が多い場合  
⇒ 1コンテンツ最大150MB程度を目安に作成してください。  
⇒ ネットワークの状態により、コンテンツ再生までに時間がかかる場合があります。
- スタンドアロン機能を使用するときは、使用されるSDカードの容量の範囲内で、長期的なスケジュール設定の保存が可能です。



# [使用方法 5] コンテンツを配信する

## ネットワーク経由

本機へのコンテンツ配信設定は、スケジュール設定完了と同時に起こされます。その後、スケジュール設定した日時に指定した本機にコンテンツが表示されます。

### 1 「[使用方法 4] スケジュールを設定する」にてスケジュール設定が完了したら、「配信登録」をクリックする

- これで、スケジュール設定及びコンテンツ配信登録は完了です。

#### お知らせ

- 本機のサーバー同期間隔設定で指定した時間間隔で、配信登録情報が本機に反映されます。



## SD カード経由

スケジュール設定されたコンテンツを SD カードに書き込んで、コンテンツを表示させたい本機の SD カードスロットに差し込むと、LAN などのネットワークがない環境においてもスケジュールに合わせたコンテンツ再生が可能です。

### ■スタンドアロン機能について

スタンドアロン機能は、お手持ちのコンピューターにインストールした本ソフトにて、コンテンツとスケジュール情報が入ったファイルを SD カードに書き込み、その SD カードを本機に差し込むことにより、ネットワークを介さずに設定されているスケジュールでコンテンツを再生する機能です。スタンドアロン機能を使用するための手順を以下に説明します。

#### お知らせ

- スタンドアロン機能では USB メモリー（市販）は使用できません。

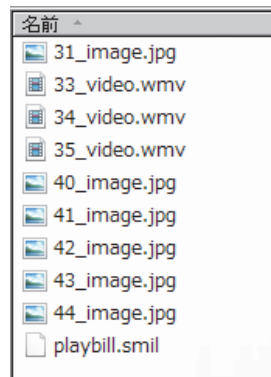
### 1 「[使用方法 4] スケジュールを設定する」にてスケジュール設定が完了したら、保存する

- ① 右下の「保存」をクリックする
- ② 「保存」画面が表示されたら、「保存」画面の「OK」をクリックする
- ③ 保存ファイル名と保存場所を設定する画面とともに、zip 形式のでファイル名が表示されたら、必要に応じてファイル名を変更し、任意の保存先を指定し、設定画面の「保存」をクリックする
- ④ 設定画面が閉じ、「保存」（保存成功！）画面が表示されたら、保存成功です。「保存」（保存成功！）画面の「保存」をクリックし、「保存」（保存成功！）画面を閉じる



### 2 1 で保存したファイルを解凍する

- 任意の場所に保存したフォルダには以下のファイルが作成されます。
  - 素材ファイル（コンテンツ作成で利用した素材ファイル）  
→ スケジュール設定の内容により、素材ファイルは複数存在する場合があります。
  - playbill.smil : スケジュール情報、コンテンツ位置情報ファイル

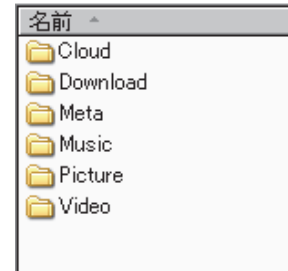


### 3 2で解凍されたファイルすべてを、SDカードの「Cloud」フォルダにコピーする

使用されるSDカードをお手持ちのコンピューターで事前に確認いただき、「Cloud」フォルダが作成されていない場合は、次の手順で作成してください。

ただし、以前に本機で使用されたSDカードであれば、既にフォルダが作成されていますので、以下の操作は不要です。

- ① 本機の電源スイッチ、またはリモコンの電源ボタンを長押し（約5秒）して本機の電源をオフする（電源ランプが消灯状態）
- ② 使用されるSDカードを、本機のSDカードスロットに差し込む
- ③ 本機の電源スイッチ、またはリモコンの電源ボタンを押して電源をオンにする
- ④ 約2分後、自動的にSDカードに、6つのフォルダ（Cloud/Download/Meta/Music/Picture/Video）が作成される
- ⑤ 本機の電源スイッチ、またはリモコンの電源ボタンを長押し（約5秒）して本機の電源をオフする（電源ランプが消灯状態）
- ⑥ SDカードを本機のSDカードスロットから取り出し、④で示したフォルダが作成されていることを、お手持ちのコンピューターで確認する



### 4 SDカードを本機のSDカードスロットに差し込み、本機の電源スイッチ、またはリモコンの電源ボタンを押して、電源をオンにする

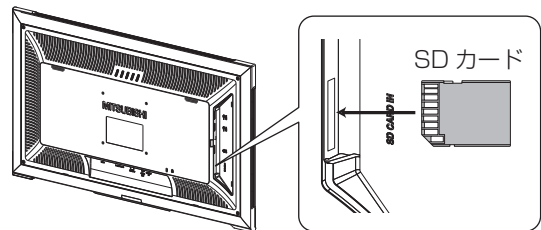
- 設定されたスケジュールにしたがって、本機でコンテンツ再生が開始されます。

#### お知らせ

- 本機の映像入力が内部プレーヤーで、電源オン、またはスリープモード（画面が消え、電源ランプが点滅した状態）になっていることを確認してください。
- 本機で再生できるSDカードは以下のとおりです。ただし、すべてのSDカードの動作を保証するものではありません。

メモリーカード	容量
SD、miniSD、microSD	256MB～2GB
SDHC、miniSDHC、microSDHC	4GB～32GB

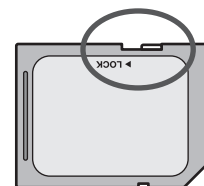
※ mini、microのメモリーカードを本機で使用するには、アダプターが必要です。



SDカードを取り出す場合は、SDカードを1度深く押し込むと自然に飛び出します。

通常は書き込み禁止 LOCK ツマミを解除（LOCK 側と反対）し、使用してください。

書き込み禁止 LOCK ツマミ

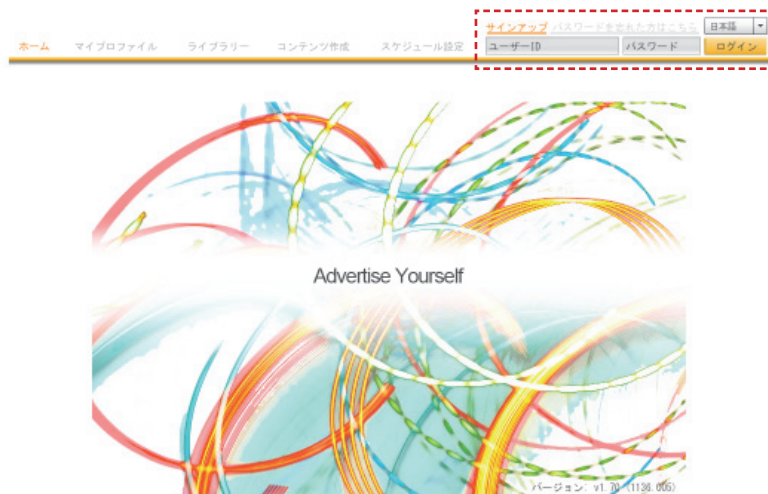


## [使用方法 6] 本ソフトをログアウトする

本ソフトを終了する場合は、画面右上の「ログアウト」をクリックします。



「ログアウト」をクリックすると、本ソフトは終了し、本ソフト操作画面のホーム画面に戻ります。再度本ソフトを使用する場合は、ユーザー ID とパスワードと入力し、「ログイン」をクリックします。



# 困ったとき



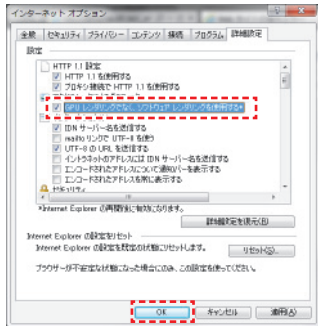
## 故障かなと思ったら

このようなときは、チェックしてください。

### ■サーバーコンピュータまたはオペレーションコンピュータからウェブブラウザ経由でアクセスする場合

#### ●本ソフトが表示されない。

症 状	状 態	原因と対応
本ソフトが表示されない。	ブラウザのメッセージに「Internet Explorerではこのページは表示できません」と表示される。	<p>ブラウザ画面上部にあるアドレスバーに、サーバーコンピュータのIPアドレスが正しく入力されていることを確認してください。サーバーコンピュータのOSがWindows® 7の場合、IPアドレスは以下の方法で確認してください。</p> <p>Windows® 画面の左下にある「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」の順で選択します。</p> <p>「コマンドプロンプト」画面が表示されたら、「ipconfig」と入力し、Enterキーを押します。</p> <p>サーバーコンピュータが有線LANで接続されている場合、「イーサネットアダプターローカルエリア接続」の「IPv4アドレス」に表示されている値が、現在設定されているIPアドレスになります。</p> <p>※ 無線LANの場合は、「Wireless LAN adapter ワイヤレス ネットワーク接続」の「IPv4アドレス」に表示されている値</p>  <pre>OS: コマンド プロンプト C:\Users\三菱電機&gt;ipconfig  Windows IP 構成  イーサネット アダプター ローカル エリア接続:     接続固有の DNS サマックタマ     IPv4 アドレス . . . . . : 192.168.11.200     サブネット マスク . . . . . : 255.255.255.0     デフォルト ゲートウェイ . . . . . : 192.168.11.1</pre> <p>ブラウザの設定で、自動構成、またはプロキシサーバーを使用する設定になっていませんか？</p> <p>Internet Explorerの場合、「ツール」の「インターネットオプション」を選択し、「接続」タブより「LANの設定」ボタンを押します。</p> <p>表示された「ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定」画面で、すべてのチェックボックスからチェックを外してください。</p>  <p>Windows® ファイアウォールの設定変更が確実にこなわれているか「ファイアウォールの設定変更」→P12 にしたがって確認してください。</p>

症 状	状 態	原因と対応
		<p>セキュリティソフト（ウイルス除去ソフト）等で独自にファイアウォール機能を搭載しているものがあります。そのようなソフトがインストールされている場合は、ファイアウォール機能の無効、または「ファイアウォールの設定変更」 <a href="#">→P12</a> を参考にApacheを例外設定に追加してください。</p> <p>ウィルスバスター2010（パーソナルファイアウォール）の場合は以下のホームページを参考にしてください。</p> <p>■ ファイアウォール機能の無効にする場合  <a href="http://esupport.trendmicro.co.jp/Pages/JP-2075484.aspx">http://esupport.trendmicro.co.jp/Pages/JP-2075484.aspx</a></p> <p>■ ファイアウォール機能を有効のまま、例外設定を追加する場合  <a href="http://esupport.trendmicro.co.jp/Pages/JP-2075408.aspx">http://esupport.trendmicro.co.jp/Pages/JP-2075408.aspx</a></p> <p>Apacheが正常に動作しているか確認してください。Windows® での動作状態の確認は、Windows® 画面右下の通知領域（タスクトレイ）にあるアイコンで確認できます。</p> <p>Windows® 7では、アイコンが非表示に設定されていることがあります。この場合は、通知領域の白い三角ボタンをクリックすることで表示されます。</p> <p>停止状態：  正常状態： </p>
	<p>ブラウザ（Internet Explorer 9.0 の場合）のメッセージに「Internet Explorerは動作を停止しました」と表示される。</p>	<p>「ツール」→「インターネットオプション」→「詳細設定」の順で選択し、「アクセラータによるグラフィック」の「GPU レンダリングではなく、ソフトウェア レンダリングを使用する」にチェックを入れ、「OK」をクリックしてください。</p> 
	<p>画面の左上のタブには「VISEO Signage Manager」と表示されるが、画像が表示されない。</p>	<p>Adobe® Flash® Player 10以上はインストールされていますか？</p> <p>インストールされていない場合は、Windows® XP/7については、ユーティリティディスク（付属）に格納されています。「Adobe® Flash® Playerのインストール方法」 <a href="#">→P11</a> にしたがってインストールしてください。</p>

● 本ソフトにログインできない。

症 状	状 態	原因と対応
<p>本ソフトのアカウントが作成できない。</p>	<p>アカウント作成画面で、サインアップボタンを押しても次の処理に進まない。</p>	<p>ユーザーID、パスワードなどの入力必須項目の入力内容に誤りがあると、アカウント名の登録ができません。入力内容の枠が黒色→赤色になっている入力項目についてカーソルを入力内容の赤枠内に移動すると、アドバイスが表示されますので、その指示にしたがって入力内容を修正してください。 <a href="#">→P25</a>（3の <a href="#">お知らせ</a> を参照してください。）</p>





	サインアップで登録したアカウントでログインできない。	管理者操作画面からのアカウント認証は完了していますか？ 完了していない場合は、管理者操作画面より認証をおこなってください。→P70
--	----------------------------	----------------------------------------------------------------------



● ディスプレイ登録ができない。

症 状	状 態	原因と対応
ディスプレイ登録コードを入力して保存したら、「ディスプレイが存在しません」と表示される。	ディスプレイ登録コードの入力ミス。	本機側の登録コードを正しく入力してください。 →P27 ~ P29
	ネットワークのトラブル。	本機とサーバーコンピューターが正しくネットワークで接続されていますか？ LANケーブルやルーターなどのネットワークの接続を確認してください。LANケーブルを接続するポートはWAN（インターネット）ポートになっていませんか？必ずLANポートに接続してください。
	本機側にサーバーIPアドレスの設定がされていない。または間違ったIPアドレスが設定されている。	サーバーコンピューターと本機がネットワーク上で正しく接続できていません。本機のシステムリセットを実行し、本機のネットワーク初期設定を再度おこなってみてください。 <b>【本機のシステムリセット方法】</b> ① 本機の「INPUT/EXIT」ボタン、またはリモコンの「プレーヤー」ボタンを押して、本機の映像入力を内部プレーヤーに切り替える。 ② リモコンの「MENU/EXIT」ボタンを押して、内部プレーヤーのOSD画面を表示する。 ③ 「▽」ボタンを押して主項目メニュー「システム設定」を選択し、「選択/決定」ボタンを押す。 ④ 「▽」ボタンを押して副項目メニュー「システムリセット」を選択し、「選択/決定」ボタンを押す。 ⑤ 設定画面が表示されたら、「▷」ボタンを押して「OK」を選択し、「選択/決定」ボタンを押す。 ⑥ 初期ウイザード画面が表示されたら、初期ウイザード設定をおこなう。（本機の取扱説明書→P30を参照）
管理者操作画面の「全てのディスプレイ」に登録対象のディスプレイが表示されていない。	ブラウザの設定、ファイアウォールの設定変更などは正しく設定されていますか？ 前述の「本ソフトが表示されない」の「原因と対応」の記載内容を見直していただき、確実に設定してください。 また、サーバーコンピューターと本機がネットワーク上で正しく接続できていない可能性があります。本機のシステムリセットを実施し、本機のネットワーク初期設定を再度おこなってみてください。	
ディスプレイ登録コードを入力して保存したら、「このディスプレイはすでに登録されています」と表示された。	既に登録しているにもかかわらず、再度登録しようとした。	同じ本機を重複して登録することはできません。「マイプロフィール」→「ディスプレイ情報」にて、既に登録している本機のディスプレイ名、およびディスプレイ登録コードを確認してください。 →P27 ~ P29

●コンテンツ素材が登録できない。

症 状	状 態	原因と対応
ライブラリーから素材ファイルが登録できない。	登録するファイルが表示されない。	素材のファイルの拡張子を確認してください。登録できるファイルの拡張子は、「[準備 5] コンテンツ作成用素材を準備する」を参照してください。
	登録するファイルの画像サイズが大きすぎる。	登録するファイルの画像サイズは 1280 × 720 以下に設定してください。
	本ソフトでは対応していないファイル形式である。	登録できる素材ファイルの種類は「[準備 5] コンテンツ作成用素材を準備する」を参照してください。

●ディスプレイ管理画面で本機が表示されない。

症 状	状 態	原因と対応
グループ登録欄に本機が表示されない。	「グループ名表示」の横の  マークで「全てのディスプレイ」を設定しても本機が表示されない。	ディスプレイ登録が完了していません。ディスプレイ登録を再度おこなってください。
	「グループ名表示」の横の  マークでグループ名を設定しても本機が表示されない。	グループ登録は正しく設定されていますか？「全てのディスプレイ」より本機を選択し、画面右側のディスプレイ情報で登録されているグループを確認してください。

●ディスプレイ設定画面で操作ができない。

症 状	状 態	原因と対応
ディスプレイ設定画面で操作ができない。	各種設定タブを選択できない。	本機のアイコン下の状態表示が灰色になっていませんか？ 本機がサーバーコンピューターに接続されていません。 本機の電源が入っていないか、ネットワークが正しく接続されていない可能性があります。
	設定タブ内の各項目が操作できない。	画面右下の「設定」をクリックした後、操作をおこないます。
	映像モードのオーバースキャン、黒白伸張が操作できない。	本機が D-SUB 入力の場合は操作できません。 情報タブで入力信号が HDMI または内部プレーヤーになっていることを確認してください。
	設定タブ内の各項目を変更後、「保存」をクリックすると設定値が元にもどる。	本機と設定の同期化待機中です。 設定タブ左下のメッセージを確認してください。同期化された後は設定値が反映されます。

●アップデートを実行しても何もおこらない。

症 状	状 態	原因と対応
ディスプレイ管理画面のメンテナンス設定でアップデートを実行しても何もおこらない。	アップデートの必要がない。	アップデートの実行開始までの処理時間が 30 分程度かかります。30 分以上経過してもアップデートが開始されない場合は、ファームウェアが最新ですので、そのままお使いください。

●ログファイルが見られない。

症 状	状 態	原因と対応
エラー／配信／再生ログが開けない。	保存されたログファイルを開こうとすると「このファイルを開けません」とメッセージが表示される。	ログファイルは CSV ファイルで保存されます。Excel などの表計算プログラムがインストールされているコンピューターであれば開くことができます。また、メモ帳や Internet Explorer でも開くことができます。ただし、この場合ログの項目と内容が整列して表示されません。

●クイック設定キットでディスプレイが登録できない。

症 状	状 態	原因と対応
クイック設定キット画面で設定値を保存したが、本機が登録されない。	本機側でのクイックウィザードが完了していない。	本機側でのクイックウィザードをおこなってください。
	本機の電源が入っていない。	本機の電源をオンした後、設定データが書き込まれたUSBメモリーを差し込んでください。
	USBメモリーが確実に差し込まれていない。	一旦USBメモリー抜き取り、再度しっかりと差し込んでください。
	設定データがUSBメモリーの直下（ルートディレクトリ）に保存されていない。	設定データをUSBメモリーの直下（ルートディレクトリ）に保存し直し、本機へ差し込んでください。
クイックウィザードが終了したが、本機が登録されない。	ネットワークのトラブル。	本機とサーバーコンピューターが正しくネットワークで接続されていますか？ LANケーブルやルーターなどのネットワークの接続を確認してください。
	登録済みの本機でクイックウィザードをおこなっていない。	新しく登録する本機でクイックウィザードをおこなってください。 または、管理者操作画面より登録をおこなう本機を削除し、本機をシステムリセットした後、クイックウィザードをおこなってください。
	「接続失敗」とメッセージが表示される。	本機をシステムリセットした後、クイックウィザードをおこなってください。
	本機側での設定をおこなう前に、クイック設定キット画面で本機を削除している。	管理者画面より登録をおこなう本機を削除した後、再度、クイック設定キット画面で新しい本機の設定からやり直してください。
	複数台の本機を保存した場合、本機側で重複して設定している。	管理者画面より登録をおこなう本機を削除した後、再度、クイック設定キット画面で新しい本機の設定からやり直してください。
	クイック設定キット画面で保存したユーザーとログインしているユーザーが異なる。	本機はクイック設定キット画面で保存したユーザーに登録されます。

●ライブラリーのプレビューが見られない。

症 状	状 態	原因と対応
静止画、テンプレート以外のプレビューが見られない。	ブラウザーのセキュリティレベルが高すぎる可能性があります。	ブラウザーのセキュリティレベルを中程度に設定してください。
音楽または動画のプレビュー時、音が出ない。	操作をおこなっているコンピューターにスピーカーが内蔵されていない。	使用しているコンピューターにスピーカーが内蔵されているか確認してください。 スピーカーが内蔵されていない場合は、別途外付けのスピーカーを準備してください。
	コンピューターまたは本ソフトの音量が最小になっている。	使用しているコンピューターの音量と画面右下のプレビュー時の音量を大きくしてください。
	音楽フォルダまたは動画フォルダ内のアイコンが表示されない。	Windows® XP においては一部ファイルを再生するためのデコーダーが搭載されていないため、プレビューすることができない場合があります。
コンテンツまたはプレイリストのプレビューが見られない。	プレビューを見るための操作方法は間違っている。	コンテンツ・プレイリストのプレビューを見るためには、画面左側のファイル一覧でファイルをダブルクリックします。
	使用しているブラウザーがInternet Explorerの場合、画面上に「ポップアップはブロックされました。」とメッセージが表示されている。	Internet Explorerのポップアップブロック機能の設定に誤りがあります。 正しく設定してください。

●コンテンツが作成できない。

症 状	状 態	原因と対応
静止画／動画素材を貼り付けられない。	あらかじめ動画／静止画エリアを設定する必要があります。	テンプレートなどを使用して動画／静止画エリアを設定した後、素材を貼り付けてください。
動画／静止画エリアを設定できない。	動画／静止画エリアの組合せなどにより設定できる数の上限を超えている。	設定できる上限数は、動画（1）＋静止画（6）となります。
動画エリアの表示順序を変更できない。	動画エリアの表示順序は変更できない。	表示順序は、前面よりテロップ／動画エリア／静止画エリア／背景となります。 表示順序は、複数設定された静止画エリアでのみ可能な操作です。
作成したコンテンツの保存ができません。	コンテンツ保存時、「テンプレート保存」にチェックを入れている。	「テンプレート保存」にチェックを入れると、作成したコンテンツの動画／静止画エリアの設定状態のみがテンプレートとして保存されます。 コンテンツを保存する場合はチェックを入れずに保存してください。

●スケジュールが設定できない。

症 状	状 態	原因と対応
“スケジュール設定”を表示したとき、「素材が見つかりません」と警告が表示される。	登録されていたプレイリストまたはコンテンツが削除されている。	新たにスケジュールを設定し配信登録をおこなってください。
ディスプレイが表示されていない。	グループ選択が間違っている。	本機が割り当てられたグループ名を選択してください。
“スケジュール設定”で「サーバーの日付」が間違っている。	サーバーコンピューターの日付が間違っている。	サーバーコンピューターを正しい日付に設定してください。
コンテンツ／プレイリストをスケジュール設定画面に設定できない。	スケジュール設定画面が灰色になっている。	過去の日付が選択されています。 右上のカレンダーより当日を含む週以降の日付を選択してください。
設定したスケジュールの時間設定を変更しても反映されない。	変更内容が他のスケジュール時間と重複している。	他のスケジュールと重複しないように時間設定を変更してください。
「配信登録」をクリックしても、スケジュール内容がディスプレイに表示されない。	本機の動作状態表示が灰色になっている。	本機がサーバーコンピューターに接続されていません。 本機の電源が入っていないか、ネットワークが正しく接続されていない可能性があります。
	本機の設定で、サーバー同期間隔が長めに設定されている。	配信登録完了後、本機がスケジュール内容をダウンロードするまでに、最长でサーバー同期間隔の設定時間分かかります。

●コンテンツが正しく再生されない。

症 状	状 態	原因と対応
動画再生中に音が途切れる。	動画対応フォーマットの最大スペックを超えている。	動画ファイルのビットレートが、最大スペック10Mbpsを超えています。 特に可変ビットレート（VBR）でエンコード※されている場合、動きの激しい場面などでビットレートが非常に高くなります。 固定ビットレート（CBR）またはビットレートを下げてエンコードしていただくことで症状が改善されます。 ※ エンコード：ある形式のデータを一定の規則に基づいて別の形式のデータに変換
動画の再生映像が、数秒周期のコマ飛ばし（静止画スライドショーのような）映像になる。	本ソフトでは対応していない圧縮フォーマットバージョンである。	Windows Media Video（以下WMV）の圧縮フォーマットバージョンが、WMV8となっていないですか？ 本ソフトはWMV9（FourCC：WMV3）に対応しています。 Windows®メディアエンコーダを使用することをおすすめします。
映像のみの動画（音声なし）ファイルが再生できません。	映像のみの動画にもかかわらず、音声コーデック情報がファイルに含まれている。	映像のみの動画を使用する場合は、音声情報を含まないように作成（変換）してください。 Windows®メディアエンコーダを使用してエンコードする場合は、入力ソースの設定でオーディオのチェックを外した状態でエンコードしてください。
PNG画像を、素材登録すると画像がくずれてしまう。	8ビットカラー（256色）未満で作成されている。	PNG画像は8ビットカラー以上で作成（保存）してください。 使用されているコンピューターのOSがWindows®の場合、ペイントで対象のPNG画像を開いた後、別名または上書き保存することで8ビットカラー以上のファイルに変更することができます。 また、PNG画像の透過処理には対応していませんので使用しないでください。

# 【管理者向け】各種設定方法について

## “管理者”によるユーザー認証

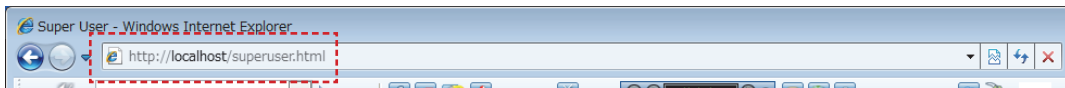
本ソフトではシステムを管理する管理者権限によって、以下の機能を実行可能です。  
ここでは、本ソフトの新規ユーザーのアカウントを認証するために必要なユーザー認証の方法を中心に説明します。

### 1 管理者操作画面を表示する

ブラウザ画面上部にあるアドレスバーに、「http://（サーバーコンピュータの IP アドレス）/superuser.html」を入力して Enter キーを押し、管理者操作画面のログイン画面を表示させます。

#### お知らせ

- スタンドアローン機能のみを使用する場合は、ブラウザ画面上部にあるアドレスバーに、「http://localhost/superuser.html」を入力して Enter キーを押し、管理者操作画面のログイン画面を表示させます。（Windows® 7/XP の場合のみ）



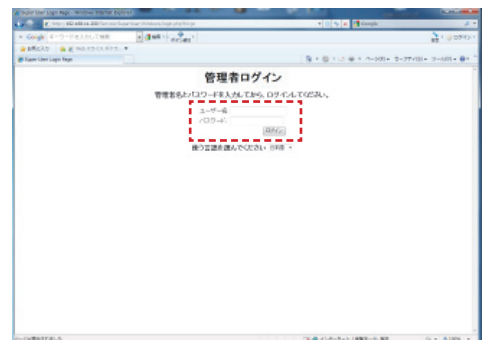
- 2 ① 言語選択（日本語／English／簡体中文）を選択する  
② 以下のユーザー名とパスワードを入力し、「ログイン」をクリックする

ユーザー名：admin  
パスワード：password

#### お知らせ

- 上記のユーザー名、パスワードは工場出荷時の設定値です。管理者操作画面のトップ画面の「10. 管理者パスワードの変更」にてパスワードを変更して使用されることをおすすめします。

- 3 管理者操作画面のトップ画面の「1. ユーザー認証」をクリックし、  
[準備 3] の 3 → P25 で設定したユーザー ID を表示する



- 4 認証したいユーザー ID にチェックを入れ、「完了」をクリックする  
(ここでは「xxx@xxx.com」というユーザー ID を認証する場合)

- 右のようなメッセージが表示されると、ユーザー認証は終了です。

その他の機能は“【管理者向け】その他の機能について” → P71 を参照してください。



## ■ ログアウトの方法

管理者操作画面からのログアウトの方法は以下のとおりです

- ① 画面左下の「戻る」をクリックし、管理者操作画面のトップ画面に戻る
- ② 画面中央下の「ログアウト」をクリックする
  - 管理者操作画面のログイン画面に戻ります。

## 【管理者向け】 その他の機能について

ユーザー削除	登録されたユーザーを削除する機能です。 左上の「ユーザー削除」をクリックし、削除したいユーザー ID にチェックを入れ、「削除」をクリックすると、ユーザーの削除が完了します。
ディスプレイ登録	現在登録されている本機を使用できるユーザーを選択します。 管理者は、この画面を用いて各ユーザーが使える本機を指定することができます。 ユーザー ID と登録済みの本機固有の登録コードが表示されますので、各ユーザー ID に対して登録したい本機の登録コードをチェックし、「登録」をクリックします。
ディスプレイ登録解除	ユーザー別に現在登録されている本機を使用する権利を解除します。
ディスプレイ削除	現在登録されている本機の情報削除する機能です。 削除したい登録コードをチェックし、「削除」をクリックすると、ディスプレイ情報は削除されます。
不要ファイルの削除	サーバーコンピューター運用の中で生成された、不要なごみファイル等を削除する機能です。 「削除」をクリックすると、自動で不要ファイルを削除します。
ログ削除	過去の再生ログ、エラーログ、配信ログを削除する機能です。 登録コードのチェック、および削除するログの期間を指定し、「削除」をクリックすると、ログが削除されます。
リモートファームウェアアップデート	本ソフトから本機の最新ファームウェアをアップデートする機能です。 最新ファームウェアのアップデートファイルを選択し、「アップロード」をクリックすると、サーバーコンピューターに登録されている本機全てが最新のファームウェアによりアップデートを開始します。
証明書の保存	本機とサーバーコンピューターとの通信は、HTTPS プロトコルを使用することができます。 HTTPS プロトコルでは、あらかじめ証明書ファイル (.crt) と秘密鍵ファイル (.key) が必要です。 なお、本ソフトにおける SSL サーバーの構成は Apache + OpenSSL です。このシステムにあった証明書ファイルと秘密鍵ファイルを準備してください。
管理者パスワードの変更	変更したいパスワードを入力し、「保存」をクリックすると、パスワードの変更が可能です。 ※ セキュリティの観点から、工場出荷時のパスワードはなるべく早く変更することをおすすめします。 管理者のログイン名は変更できません。
システム状態 全てのユーザー / 全てのディスプレイ	<ul style="list-style-type: none"> <li>全てのユーザー 現在登録されているユーザーの詳細情報が表示されます。</li> <li>全てのディスプレイ 現在登録されている本機の登録情報が表示されます。</li> </ul>

## ■ リモートファームウェアアップデートについて

リモートファームウェアアップデートは、あらかじめサーバーコンピューターに登録してある本機全てに対して、ファームウェアのアップデートをおこなう機能です。最新のファームウェアが当社より提供された場合は以下の手順にて、本機のファームウェアのアップデートが可能です。

なお、最新のファームウェアはあらかじめ当社ホームページ [www.MitsubishiElectric.co.jp/display](http://www.MitsubishiElectric.co.jp/display) よりダウンロードしてください。

1 管理者操作画面にログイン後、管理者操作画面のトップ画面の「8. リモートファームウェアアップデート」をクリックし、「ファームウェアのアップロード」画面が表示される



2 「参照」をクリックし、既にダウンロードしたリモートファームウェアアップデート用の本体ソフトファイル (zip のまま) の書き込み先フォルダを選択し、「アップロード」をクリックする



### お知らせ

ファームウェアのアップデートの情報は、当社ホームページに掲載予定です。

困ったとき  
その他

### 3 「アップロード」をクリックする

- 右図のような画面が表示されれば、サーバーコンピューターに最新のファームウェアがアップロード完了です。この表示の後、約30分すると、サーバーコンピューターに登録している本機全てで、ファームウェアのアップデート処理が開始されます。
- 本機のファームウェアのアップデートが終了すると「初期ウィザード」が実行されます。

- システム構成
- 1 ユーザー認証
  - 2 ユーザー削除
  - 3 ディスプレイ登録
  - 4 ディスプレイ登録解除
  - 5 ディスプレイ削除
  - 6 不要ファイルの削除
  - 7 ログ削除
  - 8 リモートファームウェアアップデート

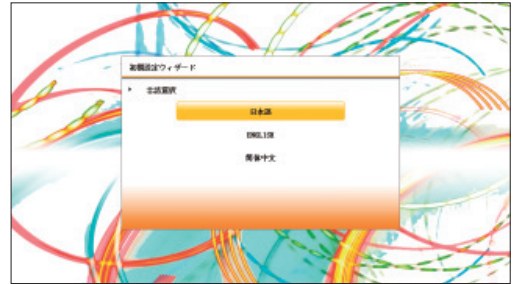
**Congratulations!**  
ファームウェアのアップロードに成功しました。

### 4 本機の初期ウィザード設定をおこなう

本機のファームウェアのアップデートが終了し、本機に「初期設定ウィザード」画面が表示されたら、画面表示にしたがって、初期ウィザード設定をおこないます。

#### お知らせ

- 本機の取扱説明書の「[準備8] 初期ウィザード設定をおこなう」→ P30 にしたがって設定してください。

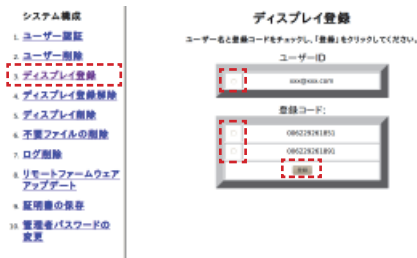


## 操作画面の説明

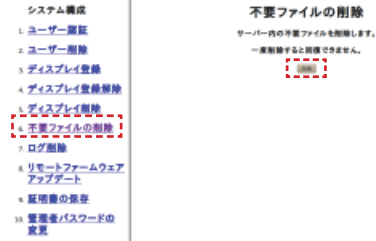
### ■システム構成 (画面左側)

#### ●ディスプレイ登録

登録されているユーザー ID の登録

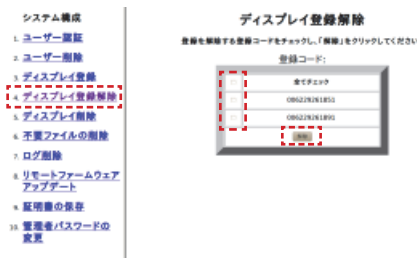


#### ●不要ファイルの削除

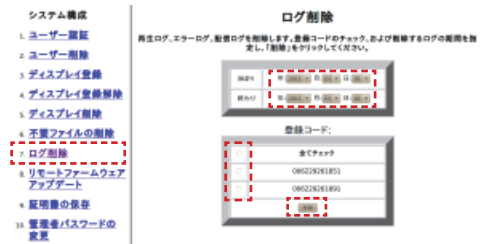


#### ●ディスプレイ登録解除

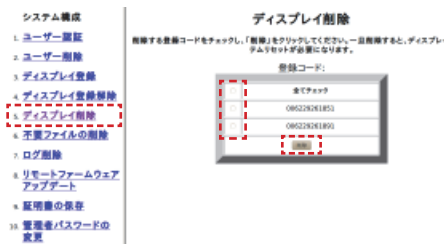
ユーザー別に現在登録されている本機を使用する権利を解除します。



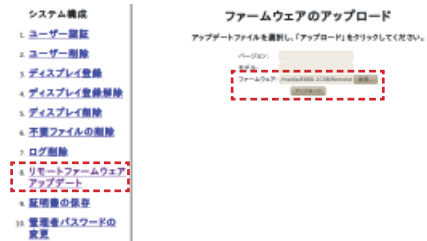
#### ●ログ削除



#### ●ディスプレイ削除



#### ●リモートファームウェアアップデート





## ● 証明書のアップロード

システム構成

- 1 ユーザー認証
- 2 ユーザー削除
- 3 デ스플레이登録
- 4 デ스플레이登録解除
- 5 デ스플레이削除
- 6 不要ファイルの削除
- 7 ログ削除
- 8 リモートファームウェアアップデート
- 9 証明書 の 保存
- 10 管理者パスワードの変更

### 証明書のアップロード

証明書ファイル(.cer)と私鍵ファイル(.key)をアップロードしてください。

証明書ファイル(.cer)を選択してください。

私鍵ファイル(.key)を選択してください。

アップロード

## ● 管理者パスワードの変更

システム構成

- 1 ユーザー認証
- 2 ユーザー削除
- 3 デ스플레이登録
- 4 デ스플레이登録解除
- 5 デ스플레이削除
- 6 不要ファイルの削除
- 7 ログ削除
- 8 リモートファームウェアアップデート
- 9 証明書 の 保存
- 10 管理者パスワードの変更

### 管理者パスワードの変更

管理者の新しいパスワードを入力し、「保存」をクリックしてください。

新しいパスワード

新しいパスワードの確認

保存

## ■ システム状態 (画面右側)

### ● 全てのユーザー

現在登録されているユーザーの詳細情報が表示されます。

システム構成

- 1 ユーザー認証
- 2 ユーザー削除
- 3 デ스플레이登録
- 4 デ스플레이登録解除
- 5 デ스플레이削除
- 6 不要ファイルの削除
- 7 ログ削除
- 8 リモートファームウェアアップデート
- 9 証明書 の 保存
- 10 管理者パスワードの変更

### WISEO SignageManagerサービス v1.70

左のリストからサービスを選んでください

右のリストからデータベース状況を確認してください

ログアウト

### ● 全てのディスプレイ

現在登録されている本機の登録情報が表示されます。

システム構成

- 1 ユーザー認証
- 2 ユーザー削除
- 3 デ스플레이登録
- 4 デ스플레이登録解除
- 5 デ스플레이削除
- 6 不要ファイルの削除
- 7 ログ削除
- 8 リモートファームウェアアップデート
- 9 証明書 の 保存
- 10 管理者パスワードの変更

### WISEO SignageManagerサービス v1.70

左のリストからサービスを選んでください

右のリストからデータベース状況を確認してください

ログアウト

## アンインストールする場合

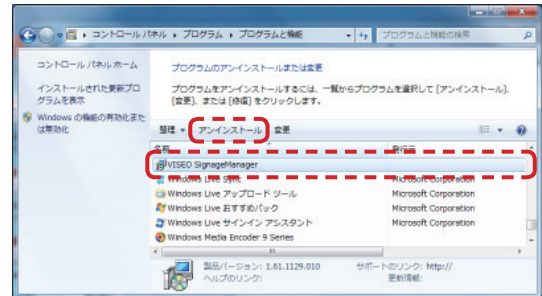
### ■ Windows® 7/XP 共通

- 1 Windows® 画面の左下にある「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」\*1 の順で選択する

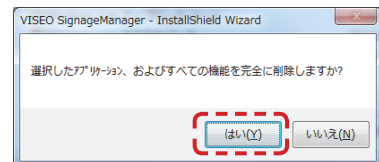
\*1 Windows® XP の場合は、「プログラムの追加と削除」を選択します。

- 2 「プログラムのアンインストールまたは変更」画面が表示されたら、プログラムの一覧から本ソフトを選択し「アンインストール」\*2 をクリックする

\*2 Windows® XP の場合は、「削除」をクリックします。

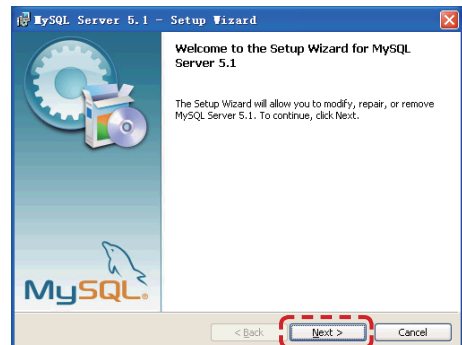


- 3 「はい」をクリックする

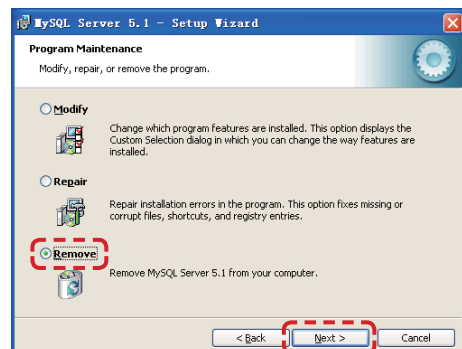


### 【MySQL のアンインストール】

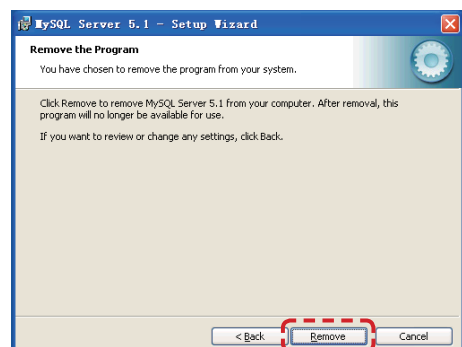
- 4 「Next」をクリックする



- 5 「Remove」を選択し、「Next」をクリックする

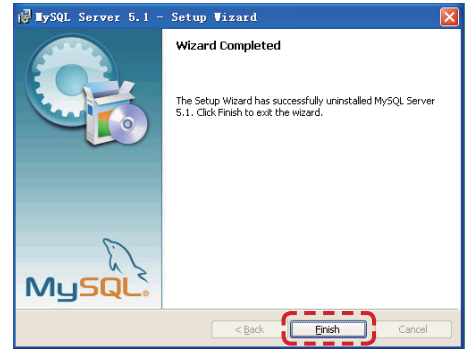


- 6 「Remove」をクリックする



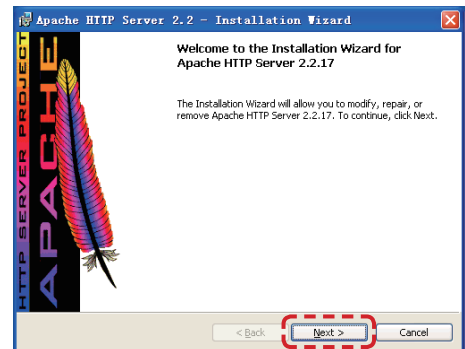
## 7 「Finish」をクリックする

- MySQL がアンインストールされます。

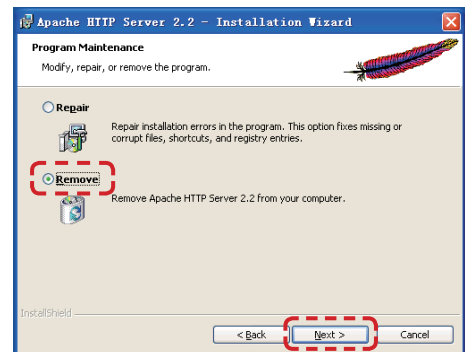


## 【Apache のアンインストール】

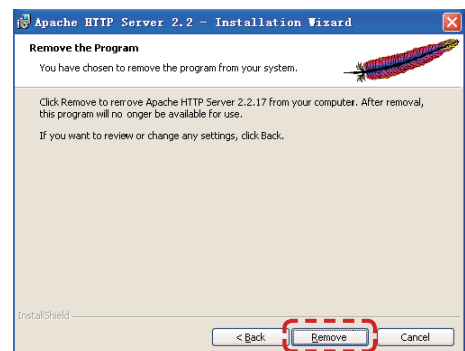
## 8 「Next」をクリックする



## 9 「Remove」を選択し、「Next」をクリックする

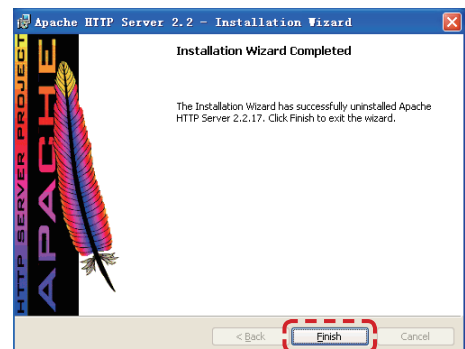


## 10 「Remove」をクリックする



## 11 「Finish」をクリックする

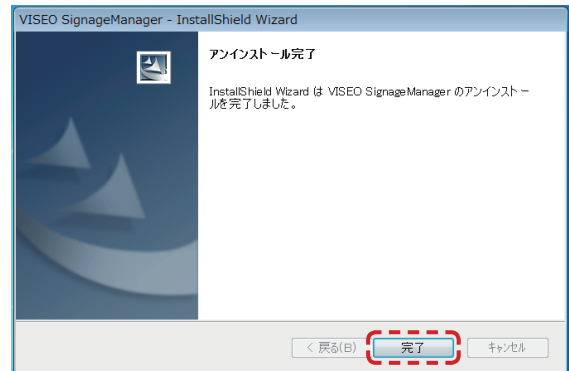
- MySQL がアンインストールされます。



## 【アンインストールの完了】

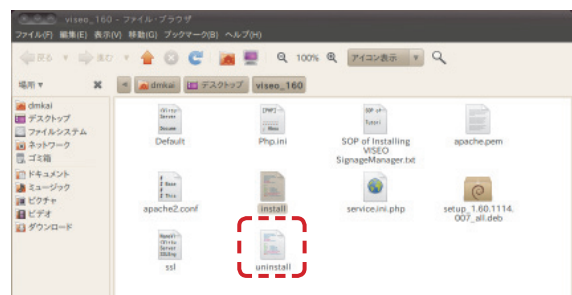
### 12 「完了」をクリックする

- 本ソフトのアンインストールを完了します。

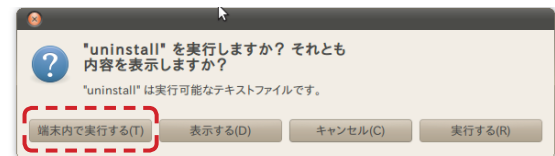


## ■ Linux (Ubuntu 10.04 LTS Desktop) の場合

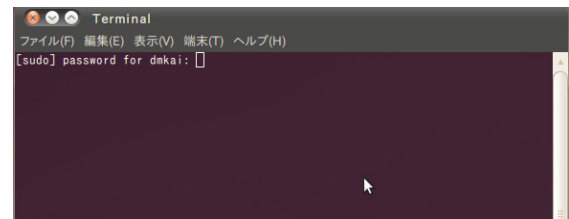
### 1 インストール時に作成した本ソフトのインストール時のフォルダ内にある「Uninstall」ファイルをダブルクリックする



### 2 「“Uninstall” を実行しますか？ それとも内容を表示しますか？」と表示されるので、「端末内で実行する」をクリックする



### 3 端末ウィンドウの中でパスワードを入力する画面が表示された場合は、管理者パスワードを入力し、Enter キーを押す



### 4 システムを再起動する

## 用語解説

ここでは、本書で使用している専門的な用語の簡単な解説をまとめてあります。また、その用語が主に使用されているページを掲載しておりますので、用語から操作に関する説明をお探しいただけます。

### CSV ファイル (Comma Separated Values) → P28

データをカンマ(",") で区切って並べたファイル形式です。実態はテキストファイルですので、テキストエディターにて表示が可能です。また、表計算ソフト等で閲覧すると、行表示が可能です。

### DNS サーバー (Domain Name System) → P17

インターネット上でのコンピューター名にあたるドメイン名を、IP アドレスに変換するコンピューターです。例えば www.\*\*\*.co.jp はインターネット上のコンピューターを特定するドメイン名ですが、あるコンピューターのウェブブラウザにこのドメイン名が入力されると、インターネット経由で DNS サーバーからこのドメイン名の IP アドレスの値が返信されますので、ウェブブラウザではこの IP アドレスを使ってインターネット上の特定のコンピューターにアクセスできます。

### DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) → P17

インターネットなどのネットワークに接続する機器に IP アドレスなど必要な情報を自動的に割り当てる機能です。

### HTTPS (HyperText Transfer Protocol Security) → P71

ウェブサーバーとユーザー間で、HTTP による通信がおこなわれている場合における暗号化通信手段です。一般に SSL (Secure Socket Layer) というインターネット上での暗号化技術を用います。

### IP (Internet Protocol) → P77

ネットワーク上で、コンピューター同士が情報をやりとりするために定められた通信規約です。

### IP アドレス (Internet Protocol アドレス) → P16 ~ 22, 38

IP においてネットワークに接続する機器を判別するための 4 つの番号をドットで区切って表示される番号です。

### LAMP パッケージ ((Linux, Apache, MySQL, PHP) パッケージ) → P9

LAMP(Linux, Apache, MySQL, PHP) を一度にインストールできるパッケージです。本ソフトを Ubuntu 10.04 LTS Desktop 上にて動作させるために必要なソフトウェアです。

### OS (Operating System) → P2, 3

コンピューターにおけるマウスやキーボード、画面出力といった入出力機能や HDD、メモリの管理など、アプリケーションソフトで共通して利用される基本的な機能について、コンピューターシステム全体を管理するソフトウェアです。

### OSD (On Screen Display) 本機の取扱説明書 → P38, 54

本機の各種設定機能を、画面に表示して操作する機能です。

### PHP (Hypertext Preprocessor) → P9

動的に HTML データを生成することによって、動的なウェブページを実現することを主な目的としたプログラミング言語です。

### ZIP、ZIP 形式 → P57, 60

ファイル圧縮形式の 1 つで、Windows<sup>®</sup>XP 以上では標準で ZIP 形式でのファイル圧縮 / 解凍が可能です。

### アカウント → P23, 24

コンピューターやネットワーク上のソフトウェアなどを利用する際に、ユーザー個人を特定するために必要となる情報です。例えば、アカウントとしてユーザーが保有しているメールアドレスや特定の英数字などで構成された文字列を使う場合が多くあります。

### アスペクト比 → P40, 48, 50, 54

画面の縦横長の比率です。従来のアナログ放送の TV では 4 : 3、HD 対応 TV では 16 : 9 といったように縦横のサイズ比にて表されます。

### アップデート → P31, 71

本機の性能を改善したり、新たな機能を追加したりするために、ファームウェアを本機外部から書き換える機能です。本機ではサーバーコンピューターからネットワーク経由にてファームウェアのアップデートが可能です。

### サブネットマスク → P17 ~ 19, 21, 22, 38

インターネット上に接続されている機器が保有する IP アドレスに対して、小規模なネットワークシステムでは使用できる IP アドレスの範囲を制限することによって、効率よくネットワークを運用します。サブネットマスクはこの IP アドレスの使用範囲を制限するための設定値です。

### サーバー → P2, 3, 16

ユーザーからの要求に対してデータや自身が持っている機能を提供するシステムです。本ソフトをインストールしたコンピューターは、オペレーションコンピューターからのアクセスにより、コンテンツの配信をおこなうサービスを提供することから、サーバーコンピューターと呼びます。

## サムネイル → P41

多数の画像を表示するため、縮小イメージで表現された画像（動画、コンテンツ、プレイリストは先頭の画像）のことです。

## テンプレート → P40

あらかじめよく使われると思われる静止画／動画の配置を作成したものです。本ソフトでは 10 種類のテンプレートを標準で準備していますので、これらを使用して簡単に動画／静止画を配置したコンテンツが作成できます。

## デフォルトゲートウェイ → P17～19, 21, 22, 38

小規模なネットワーク環境などから、ルーターを介してインターネット回線を通じて他のコンピューターとの通信を行うための出入り口の役目を果たします。一般にルーター機器には必ずゲートウェイ機能がありますので、各ルーター機器に設定されているゲートウェイ用の IP アドレスをネットワーク内のコンピューターに設定することによって、インターネットへの接続が可能となります。

## ドラッグアンドドロップ → P48, 53, 54, 56, 58

マウスを使って、画面内のアイコンをマウスの右ボタンで指定したまま（ドラッグ）、移動したい箇所にカーソルを移動して右クリックを解除（ドロップ）する動作です。本ソフトでは、例えばコンテンツ作成時に各素材フォルダから動画エリア／静止画エリアへ素材を貼り付ける際に使用します。

## ハブ → P2

LAN における複数のネットワークケーブルを集約して接続する機器です。

## ハングアップ → P31

何らかの原因でコンピューター機器の動作が停止してしまい、外部機器からの制御ができない状態になることです。

## ファイアウォール → P12

あるコンピューターネットワークとその外部との通信を制御し、外部からの意図的な侵入を防ぎ、内部のコンピューターネットワークに対するセキュリティ的な防御をおこなうシステムです。一般的な OS では標準機能として搭載されています。

## ファームウェア → P31, 71

主にハードウェアを制御するためのソフトウェアです。本機においてはファームウェアにて、入出力デバイス（HDMI/D-SUB 端子、有線／無線 LAN、USB メモリー、SD カードなど）の制御や、コンテンツデータの受信、表示などの制御に用います。

## フォーマット → P40

あらかじめ定められた規格に準拠した形式において、具体的な性能を数値で表したものです。例えば“静止画のフォーマット”と言う場合は、圧縮形式（jpeg/bitmap/png）や画素サイズなどがフォーマットに値します。

## ルーター → P2, 18, 38

主に複数の LAN 機器によるネットワークシステムにおいて、各機器相互のデータ通信処理を仲介する役割を果たす機器です。LAN 機器においては各機器に IP アドレスを設定する必要がありますが、通常ルーターにはこの IP アドレスを自動設定する DHCP 機能を搭載しています。

## 使用許諾について

- 本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数のソフトウェアコンポーネントで構成されています。それぞれ当社または第三者の著作権が存在します。

本製品には、以下のオープンソースのソフトウェアが搭載されています。

- ・ 第三者の著作権が存在し、フリーソフトウェアとして配布されるソフトウェア
- ・ GNU General Public License (以下、GPL) に基づき利用許諾されるソフトウェア
- ・ GNU Lesser General Public License (以下LGPL) に基づき利用許諾されるソフトウェア
- ・ Berkley Software Distribution License (以下BSD) に基づき利用許諾されるソフトウェア

本製品に組み込まれたGPLおよびLGPLおよびBSDのオープンソースのソフトウェアは、以下の[ソフトウェア情報]に記載のGPLおよびLGPLの条件によりソースコードの入手、再配布の権利があります。

組み込まれたGPLおよびLGPLおよびBSDのオープンソースのソフトウェアのソフトウェア・リストおよびソースコードに関するお問い合わせは下記メールアドレスからお願いいたします。

[dmopen.ai@mj.MitsubishiElectric.co.jp](mailto:dmopen.ai@mj.MitsubishiElectric.co.jp)

このお問い合わせ先は、オープンソースに関するお問い合わせ専用の窓口です。

なお、オープンソースのソースコードの内容に関するお問い合わせはご遠慮ください。

当社または第三者が著作権を持つソフトウェアについては、ソースコードの配布対象ではありません。

上記メールアドレス以外の窓口(VISEO SMART相談窓口、技術相談窓口等)ではオープンソースに関するお問い合わせには対応いたしません。

本ソフトに関するお問い合わせは以下の相談窓口にご連絡願います。

WISEO SMART 相談窓口 (携帯電話・PHS通話可/ IP電話不可)	修理相談窓口 (携帯電話・PHS通話可/ IP電話不可)
フリーダイヤル ☎ 0120-08-0856	フリーダイヤル ☎ 0120-08-1460
受付時間 土・日・祝日を除く 午前9:00～12:00 午後1:00～5:00 また、これ以外の所定の休日につきましても休ませていただきますので、ご容赦願います。	

アフターサービスを依頼される場合は、次の内容をご連絡ください。

- お名前
- ご住所 (付近の目標など)
- 電話番号
- 品名:三菱液晶ディスプレイ
- 形名: LDT231SSD
- 製造番号 (本機背面のラベルに記載)
- 故障の症状、状況など (できるだけ詳しく)
- 使用状況  
(PCおよびグラフィックボード (メーカー、形名)、  
解像度、入力信号 (アナログ、デジタル) など)
- 購入年月日または使用年数

- 無料出張サービス規定

この製品をお買い上げから1年間は「修理相談窓口」にてディスプレイに起因する障害で修理が必要と判断された場合、無料出張サービスを適用します。その際、同梱の保証書の提示をお願いします。提示がない場合は、保証期間中でも有料となります。出張サービスは、日本国内のみ対応します。代替セット (現品とは異なる場合があります。) を無料でお貸しし、現品の持ち帰り修理になります。一部の地域で宅配業者の引き取りサービスになる場合があります。

- お問い合わせ窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報、下記のとおり、お取り扱いします。

1. お問い合わせ (ご依頼) いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的並びに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために、お問い合わせ (ご依頼) 内容の記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客様からご了承をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
  - ① 上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
  - ② 法令等の定める規定に基づく場合。
4. 個人情報に関するご相談は、お問い合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

VISEO は三菱電機株式会社の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vista は米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

Adobe および Flash は、合衆国および/またはその他の国における Adobe Systems Incorporated の商標または登録商標です。

Intel、Core は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。

McAfee およびその他のマークは、米国法人 McAfee, Inc. またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標または商標です。

その他、この取扱説明書に記載された社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

# GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.  
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301, USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

## Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software - to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Lesser General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

## TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above,

provided that you also meet all of these conditions:

- a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
- c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

- a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your



acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

## NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR

INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

## END OF TERMS AND CONDITIONS

### How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

one line to give the program's name and an idea of what it does.  
Copyright (C) yyyy name of author

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301, USA.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author nomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type 'show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type 'show c' for details.

The hypothetical commands 'show w' and 'show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than 'show w' and 'show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program 'Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

signature of Ty Coon, 1 April 1989  
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License.

# GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 3, 29 June 2007

Copyright © 2007 Free Software Foundation, Inc.  
<<http://fsf.org/>>

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

## Preamble

The GNU General Public License is a free, copyleft license for software and other kinds of works.

The licenses for most software and other practical works are designed to take away your freedom to share and change the works. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change all versions of a program--to make sure it remains free software for all its users. We, the Free Software Foundation, use the GNU General Public License for most of our software; it applies also to any other work released this way by its authors. You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for them if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs, and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to prevent others from denying you these rights or asking you to surrender the rights. Therefore, you have certain responsibilities if you distribute copies of the software, or if you modify it: responsibilities to respect the freedom of others.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must pass on to the recipients the same freedoms that you received. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

Developers that use the GNU GPL protect your rights with two steps: (1) assert copyright on the software, and (2) offer you this License giving you legal permission to copy, distribute and/or modify it.

For the developers' and authors' protection, the GPL clearly explains that there is no warranty for this free software. For both users' and authors' sake, the GPL requires that modified versions be marked as changed, so that their problems will not be attributed erroneously to authors of previous versions.

Some devices are designed to deny users access to install or run modified versions of the software inside them, although the manufacturer can do so. This is fundamentally incompatible with the aim of protecting users' freedom to change the software. The systematic pattern of such abuse occurs in the area of products for individuals to use, which is precisely where it is most unacceptable. Therefore, we have designed this version of the GPL to prohibit the practice for those products. If such problems arise substantially in other domains, we stand ready to extend this provision to those domains in future versions of the GPL, as needed to protect the freedom of users.

Finally, every program is threatened constantly by software patents. States should not allow patents to restrict development and use of software on general-purpose computers, but in those that do, we wish to avoid the special danger that patents applied to a free program could make it effectively proprietary. To prevent this, the GPL assures that patents cannot be used to render the program non-free.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

## TERMS AND CONDITIONS

### 0. Definitions.

"This License" refers to version 3 of the GNU General Public License.

"Copyright" also means copyright-like laws that apply to other kinds of works, such as semiconductor masks.

"The Program" refers to any copyrightable work licensed under this License. Each licensee is addressed as "you". "Licensees" and "recipients" may be individuals or organizations.

To "modify" a work means to copy from or adapt all or part of the work in a fashion requiring copyright permission, other than the making of an exact copy. The resulting work is called a "modified version" of the earlier work or a work "based on" the earlier work.

A "covered work" means either the unmodified Program or a work based on the Program.

To "propagate" a work means to do anything with it that, without permission, would make you directly or secondarily liable for infringement under applicable copyright law, except executing it on a computer or modifying a private copy. Propagation includes copying, distribution (with or without modification), making available to the public, and in some countries other activities as well.

To "convey" a work means any kind of propagation that enables other parties to make or receive copies. Mere interaction with a user through a computer network, with no transfer of a copy, is not conveying.

An interactive user interface displays "Appropriate Legal Notices" to the extent that it includes a convenient and prominently visible feature that (1) displays an appropriate copyright notice, and (2) tells the user that there is no warranty for the work (except to the extent that warranties are provided), that licensees may convey the work under this License, and how to view a copy of this License. If the interface presents a list of user commands or options, such as a menu, a prominent item in the list meets this criterion.

### 1. Source Code.

The "source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. "Object code" means any non-source form of a work.

A "Standard Interface" means an interface that either is an official standard defined by a recognized standards body, or, in the case of interfaces specified for a particular programming language, one that is widely used among developers working in that language.

The "System Libraries" of an executable work include anything, other than the work as a whole, that (a) is included in the normal form of packaging a Major Component, but which is not part of that Major Component, and (b) serves only to enable use of the work with that Major Component, or to implement a Standard Interface for which an implementation is available to the public in source code form. A "Major Component", in this context, means a major essential component (kernel, window system, and so on) of the specific operating system (if any) on which the executable work runs, or a compiler used to produce the work, or an object code interpreter used to run it.

The "Corresponding Source" for a work in object code form means all the source code needed to generate, install, and (for an executable work) run the object code and to modify the work, including scripts to control those activities. However, it does not include the work's System Libraries, or general-purpose tools or generally available free programs which are used unmodified in performing those activities but which are not part of the work. For example, Corresponding Source includes interface definition files associated with source files for the work, and the source code for shared libraries and dynamically linked subprograms that the work is specifically designed to require, such as by intimate data communication or control flow between those subprograms and other parts of the work.

The Corresponding Source need not include anything that users can regenerate automatically from other parts of the Corresponding Source.

The Corresponding Source for a work in source code form is that same work.

### 2. Basic Permissions.

All rights granted under this License are granted for the term of copyright on the Program, and are irrevocable provided the stated conditions are met. This License explicitly affirms your unlimited permission to run the unmodified Program. The output from running a covered work is covered by this License only if the output, given its content, constitutes a covered work. This License acknowledges your rights of fair use or other equivalent, as provided by copyright law.

You may make, run and propagate covered works that you do not convey, without conditions so long as your license otherwise remains in force. You may convey covered works to others for the sole purpose of having them make modifications exclusively for you, or provide you with facilities for running those works, provided that you comply with the terms of this License in conveying all material for which you do not control copyright. Those thus making or running the covered works for you must do so exclusively on your behalf, under your direction and control, on terms that prohibit them from making any copies of your copyrighted material outside their relationship with you.

Conveying under any other circumstances is permitted solely under the conditions stated below. Sublicensing is not allowed; section 10 makes it unnecessary.

### 3. Protecting Users' Legal Rights From Anti-Circumvention Law.

No covered work shall be deemed part of an effective technological measure under any applicable law fulfilling obligations under article 11 of the WIPO copyright treaty adopted on 20 December 1996, or similar laws prohibiting or restricting circumvention of such measures.

When you convey a covered work, you waive any legal power to forbid circumvention of technological measures to the extent such circumvention is effected by exercising rights under this License with respect to the covered work, and you disclaim any intention to limit operation or modification of the work as a means of enforcing, against the work's users, your or third parties' legal rights to forbid circumvention of technological measures.

#### 4. Conveying Verbatim Copies.

You may convey verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice; keep intact all notices stating that this License and any non-permissive terms added in accord with section 7 apply to the code; keep intact all notices of the absence of any warranty; and give all recipients a copy of this License along with the Program.

You may charge any price or no price for each copy that you convey, and you may offer support or warranty protection for a fee.

#### 5. Conveying Modified Source Versions.

You may convey a work based on the Program, or the modifications to produce it from the Program, in the form of source code under the terms of section 4, provided that you also meet all of these conditions:

- a) The work must carry prominent notices stating that you modified it, and giving a relevant date.
- b) The work must carry prominent notices stating that it is released under this License and any conditions added under section 7. This requirement modifies the requirement in section 4 to "keep intact all notices".
- c) You must license the entire work, as a whole, under this License to anyone who comes into possession of a copy. This License will therefore apply, along with any applicable section 7 additional terms, to the whole of the work, and all its parts, regardless of how they are packaged. This License gives no permission to license the work in any other way, but it does not invalidate such permission if you have separately received it.
- d) If the work has interactive user interfaces, each must display Appropriate Legal Notices; however, if the Program has interactive interfaces that do not display Appropriate Legal Notices, your work need not make them do so.

A compilation of a covered work with other separate and independent works, which are not by their nature extensions of the covered work, and which are not combined with it such as to form a larger program, in or on a volume of a storage or distribution medium, is called an "aggregate" if the compilation and its resulting copyright are not used to limit the access or legal rights of the compilation's users beyond what the individual works permit. Inclusion of a covered work in an aggregate does not cause this License to apply to the other parts of the aggregate.

#### 6. Conveying Non-Source Forms.

You may convey a covered work in object code form under the terms of sections 4 and 5, provided that you also convey the machine-readable Corresponding Source under the terms of this License, in one of these ways:

- a) Convey the object code in, or embodied in, a physical product (including a physical distribution medium), accompanied by the Corresponding Source fixed on a durable physical medium customarily used for software interchange.
- b) Convey the object code in, or embodied in, a physical product (including a physical distribution medium), accompanied by a written offer, valid for at least three years and valid for as long as you offer spare parts or customer support for that product model, to give anyone who possesses the object code either (1) a copy of the Corresponding Source for all the software in the product that is covered by this License, on a durable physical medium customarily used for software interchange, for a price no more than your reasonable cost of physically performing this conveying of source, or (2) access to copy the Corresponding Source from a network server at no charge.
- c) Convey individual copies of the object code with a copy of the written offer to provide the Corresponding Source. This alternative is allowed only occasionally and noncommercially, and only if you received the object code with such an offer, in accord with subsection 6b.
- d) Convey the object code by offering access from a designated place (gratis or for a charge), and offer equivalent access to the Corresponding Source in the same way through the same place at no further charge. You need not require recipients to copy the Corresponding Source along with the object code. If the place to copy the object code is a network server, the Corresponding Source may be on a different server (operated by you or a third party) that supports equivalent copying facilities, provided you maintain clear directions next to the object code saying where to

find the Corresponding Source. Regardless of what server hosts the Corresponding Source, you remain obligated to ensure that it is available for as long as needed to satisfy these requirements.

- e) Convey the object code using peer-to-peer transmission, provided you inform other peers where the object code and Corresponding Source of the work are being offered to the general public at no charge under subsection 6d.

A separable portion of the object code, whose source code is excluded from the Corresponding Source as a System Library, need not be included in conveying the object code work.

A "User Product" is either (1) a "consumer product", which means any tangible personal property which is normally used for personal, family, or household purposes, or (2) anything designed or sold for incorporation into a dwelling. In determining whether a product is a consumer product, doubtful cases shall be resolved in favor of coverage. For a particular product received by a particular user, "normally used" refers to a typical or common use of that class of product, regardless of the status of the particular user or of the way in which the particular user actually uses, or expects or is expected to use, the product. A product is a consumer product regardless of whether the product has substantial commercial, industrial or non-consumer uses, unless such uses represent the only significant mode of use of the product.

"Installation Information" for a User Product means any methods, procedures, authorization keys, or other information required to install and execute modified versions of a covered work in that User Product from a modified version of its Corresponding Source. The information must suffice to ensure that the continued functioning of the modified object code is in no case prevented or interfered with solely because modification has been made.

If you convey an object code work under this section in, or with, or specifically for use in, a User Product, and the conveying occurs as part of a transaction in which the right of possession and use of the User Product is transferred to the recipient in perpetuity or for a fixed term (regardless of how the transaction is characterized), the Corresponding Source conveyed under this section must be accompanied by the Installation Information. But this requirement does not apply if neither you nor any third party retains the ability to install modified object code on the User Product (for example, the work has been installed in ROM).

The requirement to provide Installation Information does not include a requirement to continue to provide support service, warranty, or updates for a work that has been modified or installed by the recipient, or for the User Product in which it has been modified or installed. Access to a network may be denied when the modification itself materially and adversely affects the operation of the network or violates the rules and protocols for communication across the network.

Corresponding Source conveyed, and Installation Information provided, in accord with this section must be in a format that is publicly documented (and with an implementation available to the public in source code form), and must require no special password or key for unpacking, reading or copying.

#### 7. Additional Terms.

"Additional permissions" are terms that supplement the terms of this License by making exceptions from one or more of its conditions. Additional permissions that are applicable to the entire Program shall be treated as though they were included in this License, to the extent that they are valid under applicable law. If additional permissions apply only to part of the Program, that part may be used separately under those permissions, but the entire Program remains governed by this License without regard to the additional permissions.

When you convey a copy of a covered work, you may at your option remove any additional permissions from that copy, or from any part of it. (Additional permissions may be written to require their own removal in certain cases when you modify the work.) You may place additional permissions on material, added by you to a covered work, for which you have or can give appropriate copyright permission.

Notwithstanding any other provision of this License, for material you add to a covered work, you may (if authorized by the copyright holders of that material) supplement the terms of this License with terms:

- a) Disclaiming warranty or limiting liability differently from the terms of sections 15 and 16 of this License; or
- b) Requiring preservation of specified reasonable legal notices or author attributions in that material or in the Appropriate Legal Notices displayed by works containing it; or
- c) Prohibiting misrepresentation of the origin of that material, or requiring that modified versions of such material be marked in reasonable ways as different from the original version; or
- d) Limiting the use for publicity purposes of names of licensors or authors of the material; or

- e) Declining to grant rights under trademark law for use of some trade names, trademarks, or service marks; or
- f) Requiring indemnification of licensors and authors of that material by anyone who conveys the material (or modified versions of it) with contractual assumptions of liability to the recipient, for any liability that these contractual assumptions directly impose on those licensors and authors.

All other non-permissive additional terms are considered “further restrictions” within the meaning of section 10. If the Program as you received it, or any part of it, contains a notice stating that it is governed by this License along with a term that is a further restriction, you may remove that term. If a license document contains a further restriction but permits relicensing or conveying under this License, you may add to a covered work material governed by the terms of that license document, provided that the further restriction does not survive such relicensing or conveying.

If you add terms to a covered work in accord with this section, you must place, in the relevant source files, a statement of the additional terms that apply to those files, or a notice indicating where to find the applicable terms.

Additional terms, permissive or non-permissive, may be stated in the form of a separately written license, or stated as exceptions; the above requirements apply either way.

### 8. Termination.

You may not propagate or modify a covered work except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to propagate or modify it is void, and will automatically terminate your rights under this License (including any patent licenses granted under the third paragraph of section 11).

However, if you cease all violation of this License, then your license from a particular copyright holder is reinstated (a) provisionally, unless and until the copyright holder explicitly and finally terminates your license, and (b) permanently, if the copyright holder fails to notify you of the violation by some reasonable means prior to 60 days after the cessation.

Moreover, your license from a particular copyright holder is reinstated permanently if the copyright holder notifies you of the violation by some reasonable means, this is the first time you have received notice of violation of this License (for any work) from that copyright holder, and you cure the violation prior to 30 days after your receipt of the notice.

Termination of your rights under this section does not terminate the licenses of parties who have received copies or rights from you under this License. If your rights have been terminated and not permanently reinstated, you do not qualify to receive new licenses for the same material under section 10.

### 9. Acceptance Not Required for Having Copies.

You are not required to accept this License in order to receive or run a copy of the Program. Ancillary propagation of a covered work occurring solely as a consequence of using peer-to-peer transmission to receive a copy likewise does not require acceptance. However, nothing other than this License grants you permission to propagate or modify any covered work. These actions infringe copyright if you do not accept this License. Therefore, by modifying or propagating a covered work, you indicate your acceptance of this License to do so.

### 10. Automatic Licensing of Downstream Recipients.

Each time you convey a covered work, the recipient automatically receives a license from the original licensors, to run, modify and propagate that work, subject to this License. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

An “entity transaction” is a transaction transferring control of an organization, or substantially all assets of one, or subdividing an organization, or merging organizations. If propagation of a covered work results from an entity transaction, each party to that transaction who receives a copy of the work also receives whatever licenses to the work the party's predecessor in interest had or could give under the previous paragraph, plus a right to possession of the Corresponding Source of the work from the predecessor in interest, if the predecessor has it or can get it with reasonable efforts.

You may not impose any further restrictions on the exercise of the rights granted or affirmed under this License. For example, you may not impose a license fee, royalty, or other charge for exercise of rights granted under this License, and you may not initiate litigation (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that any patent claim is infringed by making, using, selling, offering for sale, or importing the Program or any portion of it.

### 11. Patents.

A “contributor” is a copyright holder who authorizes use under this

License of the Program or a work on which the Program is based. The work thus licensed is called the contributor's “contributor version”.

A contributor's “essential patent claims” are all patent claims owned or controlled by the contributor, whether already acquired or hereafter acquired, that would be infringed by some manner, permitted by this License, of making, using, or selling its contributor version, but do not include claims that would be infringed only as a consequence of further modification of the contributor version. For purposes of this definition, “control” includes the right to grant patent sublicenses in a manner consistent with the requirements of this License.

Each contributor grants you a non-exclusive, worldwide, royalty-free patent license under the contributor's essential patent claims, to make, use, sell, offer for sale, import and otherwise run, modify and propagate the contents of its contributor version.

In the following three paragraphs, a “patent license” is any express agreement or commitment, however denominated, not to enforce a patent (such as an express permission to practice a patent or covenant not to sue for patent infringement). To “grant” such a patent license to a party means to make such an agreement or commitment not to enforce a patent against the party.

If you convey a covered work, knowingly relying on a patent license, and the Corresponding Source of the work is not available for anyone to copy, free of charge and under the terms of this License, through a publicly available network server or other readily accessible means, then you must either (1) cause the Corresponding Source to be so available, or (2) arrange to deprive yourself of the benefit of the patent license for this particular work, or (3) arrange, in a manner consistent with the requirements of this License, to extend the patent license to downstream recipients. “Knowingly relying” means you have actual knowledge that, but for the patent license, your conveying the covered work in a country, or your recipient's use of the covered work in a country, would infringe one or more identifiable patents in that country that you have reason to believe are valid.

If, pursuant to or in connection with a single transaction or arrangement, you convey, or propagate by procuring conveyance of, a covered work, and grant a patent license to some of the parties receiving the covered work authorizing them to use, propagate, modify or convey a specific copy of the covered work, then the patent license you grant is automatically extended to all recipients of the covered work and works based on it.

A patent license is “discriminatory” if it does not include within the scope of its coverage, prohibits the exercise of, or is conditioned on the non-exercise of one or more of the rights that are specifically granted under this License. You may not convey a covered work if you are a party to an arrangement with a third party that is in the business of distributing software, under which you make payment to the third party based on the extent of your activity of conveying the work, and under which the third party grants, to any of the parties who would receive the covered work from you, a discriminatory patent license (a) in connection with copies of the covered work conveyed by you (or copies made from those copies), or (b) primarily for and in connection with specific products or compilations that contain the covered work, unless you entered into that arrangement, or that patent license was granted, prior to 28 March 2007.

Nothing in this License shall be construed as excluding or limiting any implied license or other defenses to infringement that may otherwise be available to you under applicable patent law.

### 12. No Surrender of Others' Freedom.

If conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot convey a covered work so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not convey it at all. For example, if you agree to terms that obligate you to collect a royalty for further conveying from those to whom you convey the Program, the only way you could satisfy both those terms and this License would be to refrain entirely from conveying the Program.

### 13. Use with the GNU Affero General Public License.

Notwithstanding any other provision of this License, you have permission to link or combine any covered work with a work licensed under version 3 of the GNU Affero General Public License into a single combined work, and to convey the resulting work. The terms of this License will continue to apply to the part which is the covered work, but the special requirements of the GNU Affero General Public License, section 13, concerning interaction through a network will apply to the combination as such.

### 14. Revised Versions of this License.

The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions

of the GNU General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies that a certain numbered version of the GNU General Public License "or any later version" applies to it, you have the option of following the terms and conditions either of that numbered version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of the GNU General Public License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

If the Program specifies that a proxy can decide which future versions of the GNU General Public License can be used, that proxy's public statement of acceptance of a version permanently authorizes you to choose that version for the Program.

Later license versions may give you additional or different permissions. However, no additional obligations are imposed on any author or copyright holder as a result of your choosing to follow a later version.

#### 15. Disclaimer of Warranty.

THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

#### 16. Limitation of Liability.

IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MODIFIES AND/OR CONVEYS THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

#### 17. Interpretation of Sections 15 and 16.

If the disclaimer of warranty and limitation of liability provided above cannot be given local legal effect according to their terms, reviewing courts shall apply local law that most closely approximates an absolute waiver of all civil liability in connection with the Program, unless a warranty or assumption of liability accompanies a copy of the Program in return for a fee.

## END OF TERMS AND CONDITIONS

### How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively state the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

```
<one line to give the program's name and a brief idea of what it
does.>
Copyright (C) <year> <name of author>
```

This program is free software: you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation, either version 3 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program. If not, see <<http://www.gnu.org/licenses/>>.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program does terminal interaction, make it output a short notice

like this when it starts in an interactive mode:

```
<program> Copyright (C) <year> <name of author>
This program comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details
type `show w`.
This is free software, and you are welcome to redistribute it under
certain conditions; type `show c' for details.
```

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, your program's commands might be different; for a GUI interface, you would use an "about box".

You should also get your employer (if you work as a programmer) or school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. For more information on this, and how to apply and follow the GNU GPL, see <<http://www.gnu.org/licenses/>>.

The GNU General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License. But first, please read <<http://www.gnu.org/philosophy/why-not-lgpl.html>>.

# GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.  
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA  
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

## Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there

is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

## TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- **a)** The modified work must itself be a software library.
- **b)** You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- **c)** You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
- **d)** If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

**3.** You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

**4.** You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

**5.** A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

**6.** As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright

notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

- **a)** Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
- **b)** Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
- **c)** Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
- **d)** If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
- **e)** Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

**7.** You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

- **a)** Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
- **b)** Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

**8.** You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

**9.** You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

**10.** Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

**11.** If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may

not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

## NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

## END OF TERMS AND CONDITIONS

### How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

*one line to give the library's name and an idea of what it does.*  
Copyright (C) year name of author

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library 'Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

*signature of Ty Coon*, 1 April 1990  
Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

## Apache License

Version 2.0, January 2004

<http://www.apache.org/licenses/>

### TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

#### 1. Definitions.

"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

"You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

"Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

"Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted



to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.
3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.
4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:
  - (a) You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and
  - (b) You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and
  - (c) You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and
  - (d) If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.
5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.
6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor,

except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.

7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.
8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.
9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

## END OF TERMS AND CONDITIONS

### APPENDIX: How to apply the Apache License to your work.

To apply the Apache License to your work, attach the following boilerplate notice, with the fields enclosed by brackets "[]" replaced with your own identifying information. (Don't include the brackets!) The text should be enclosed in the appropriate comment syntax for the file format. We also recommend that a file or class name and description of purpose be included on the same "printed page" as the copyright notice for easier identification within third-party archives.

Copyright [yyyy] [name of copyright owner]

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.

See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

# The Apache Software License

Version 1.1

Copyright (c) 2000 The Apache Software Foundation. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The end-user documentation included with the redistribution, if any, must include the following acknowledgment:  
"This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>)."  
Alternately, this acknowledgment may appear in the software itself, if and wherever such third-party acknowledgments normally appear.
4. The names "Apache" and "Apache Software Foundation" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact [apache@apache.org](mailto:apache@apache.org).
5. Products derived from this software may not be called "Apache", nor may "Apache" appear in their name, without prior written permission of the Apache Software Foundation.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE APACHE SOFTWARE FOUNDATION OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

=====

This software consists of voluntary contributions made by many individuals on behalf of the Apache Software Foundation. For more information on the Apache Software Foundation, please see

[<http://www.apache.org/>](http://www.apache.org/).

Portions of this software are based upon public domain software originally written at the National Center for Supercomputing Applications, University of Illinois, Urbana-Champaign.

/

## The PHP License

version 3.0

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, is permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name "PHP" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact [group@php.net](mailto:group@php.net).
4. Products derived from this software may not be called "PHP", nor may "PHP" appear in their name, without prior written permission from [group@php.net](mailto:group@php.net). You may indicate that your software works in conjunction with PHP by saying "Foo for PHP" instead of calling it "PHP Foo" or "phpfoo".
5. The PHP Group may publish revised and/or new versions of the license from time to time. Each version will be given a distinguishing version number. Once covered code has been published under a particular version of the license, you may always continue to use it

under the terms of that version. You may also choose to use such covered code under the terms of any subsequent version of the license published by the PHP Group. No one other than the PHP Group has the right to modify the terms applicable to covered code created under this License.

6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:  
"This product includes PHP, freely available from [<http://www.php.net/>](http://www.php.net/)".

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE PHP DEVELOPMENT TEAM "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE PHP DEVELOPMENT TEAM OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

-----

This software consists of voluntary contributions made by many individuals on behalf of the PHP Group.

The PHP Group can be contacted via Email at [group@php.net](mailto:group@php.net).

For more information on the PHP Group and the PHP project, please see [<http://www.php.net>](http://www.php.net/).

This product includes the Zend Engine, freely available at [<http://www.zend.com>](http://www.zend.com/).

## Commercial License for OEMs, ISVs and VARs

Updated July, 2010

MySQL Commercial License for OEMs, ISVs and VARs  
Oracle provides its MySQL database server and MySQL Client Libraries under a dual license model designed to meet the development and distribution needs of both commercial distributors (such as OEMs, ISVs and VARs) and open source projects.

For OEMs, ISVs, VARs and Other Distributors of Commercial Applications:

OEMs (Original Equipment Manufacturers), ISVs (Independent Software Vendors), VARs (Value Added Resellers) and other distributors that combine and distribute commercially licensed software with MySQL software and do not wish to distribute the source code for the commercially licensed software under version 2 of the GNU General Public License (the "GPL") must enter into a commercial license agreement with Oracle.

For Open Source Projects and Other Developers of Open Source Applications:

For developers of Free Open Source Software ("FOSS") applications under the GPL that want to combine and distribute those FOSS applications with MySQL software, Oracle's MySQL open source software licensed under the GPL is the best option.

For developers and distributors of open source software under a FOSS license other than the GPL, Oracle makes its GPL-licensed MySQL Client Libraries available under a FOSS Exception that enables use of the those MySQL Client Libraries under certain conditions without causing the entire derivative work to be subject to the GPL.

# さくいん

## A～Z

Apache ..... 6、75、88、90  
Adobe® Flash® Player のインストール方法  
..... 11

## B

BGM ..... 41、46、51、53  
BGM リスト ..... 46  
bmp ..... 40

## D

DV MODE ..... 34

## I

IP アドレス ..... 16～22、38

## J

jpg、jpeg ..... 40

## L

LED ブライトネス ..... 34

## M

mp3 ..... 40  
mpg、mpeg ..... 40  
MySQL ..... 6、74、90

## N

New Display ..... 28、35、37

## O

OS ..... 2、3

## P

png ..... 40

## V

WISEO Signage Manager ..... 2

## W

wav ..... 40  
wma ..... 40  
wmv ..... 40

## 数字

16:9 ..... 40、49、50

## あ

青色 ..... 34  
赤色 ..... 34  
アカウント ..... 23～25、70  
アダプター ..... 16  
アップデート設定 ..... 31  
新しいディスプレイ ..... 37  
アンインストール ..... 74  
色温度 ..... 34  
インストーラー ..... 5  
インストール ..... 5  
ウェブブラウザ ..... 2、3、23  
エラーログ ..... 28、31  
オペレーションコンピューター ..... 2、3  
オーバースキャン ..... 34  
オールリセット ..... 34  
音楽 (または、音声) ファイル ..... 46  
音楽ライブラリー ..... 41  
音量 ..... 34

## か

カレンダー ..... 57  
管理者 ..... 3、70  
管理者によるユーザー認証 ..... 25、70

管理者パスワードの変更 ..... 70、71  
管理者向け各種設定方法 ..... 70  
クイック設定キット ..... 36  
グループ削除 ..... 27、36  
グループ追加 ..... 27、35  
グループ登録 ..... 27、35  
グループ登録解除 ..... 27、36  
グループ編集 ..... 27  
グループ未登録ディスプレイ ..... 27  
グループリスト ..... 27、35  
黒白伸張 ..... 34  
検索バー ..... 41、44  
故障かなと思ったら ..... 63  
固定 IP アドレス ..... 16  
コンテンツ作成 ..... 2、23、40、46  
コンテンツ作成用素材 ..... 40  
コンテンツ作成用のテンプレート ..... 40  
コンテンツ配信 ..... 2、60  
コントラスト ..... 34

## さ

サーバーコンピューター ..... 2、3、16  
再起動設定 ..... 31  
再生ログ ..... 28、31、33  
サインアップ機能 ..... 23  
サブネットマスク ..... 17～19、21、22、38  
サムネイル/詳細切替 ..... 41、44  
システム構成 ..... 72、73  
システム状態 ..... 71、73  
システムリセット ..... 22、29  
シャープネス ..... 34  
消音 ..... 34  
使用許諾について ..... 79  
証明書 の保存 ..... 71  
新規作成 ..... 52、56  
スクリーンセーバー ..... 34  
スケジュール設定 ..... 23、57  
スタンドアロン機能 ..... 2、60  
全てのディスプレイ ..... 27、71、73  
全てのユーザー ..... 71、73  
スライドショー ..... 54  
静止画 ..... 41、47、48、53  
静止画エリア ..... 46、47、48、53、54  
静止画ファイル ..... 40  
静止画ライブラリー ..... 41  
設置場所 ..... 37  
設置方法 ..... 37  
操作ロック ..... 34  
素材 ..... 2、40、43、47、52  
素材登録 ..... 41、42  
素材ライブラリー ..... 47、48、52、53

## た

超解像設定 ..... 34  
データの読み出し ..... 37、38  
ディスプレイアイコン ..... 37  
ディスプレイ管理 ..... 27、31、35、39  
ディスプレイ削除 ..... 36、37、71、72  
ディスプレイ状態確認 ..... 29  
ディスプレイ情報 ..... 28、34、37  
ディスプレイの設定内容 ..... 33  
ディスプレイ登録 ..... 27、28、71、72  
ディスプレイ登録解除 ..... 71、72  
ディスプレイ名 ..... 37  
デフォルトゲートウェイ ..... 17、18、38  
テロップ ..... 46、51、53  
テンプレート ..... 40、52、53  
テンプレートの種類 ..... 40  
動画 ..... 41、47、48、53  
動画エリア ..... 46、47、53  
動画ファイル ..... 40  
動画ライブラリー ..... 41  
動作環境 ..... 3  
登録ディスプレイアイコン ..... 27

## な

認証 ..... 23、25、70  
入力切替 ..... 34  
ネットワーク情報 ..... 38

## は

背景画像挿入 ..... 46  
配信ログ ..... 28、31、33  
パスワード ..... 9、23、25、38、70、71  
表示言語 ..... 23  
表示サイズ ..... 47、48、54  
表示時間 ..... 53、54  
表示順序 ..... 46  
フォーマット ..... 40  
ファイアウォールの設定変更 ..... 12  
フォルダの作成 ..... 41、43  
不要ファイルの削除 ..... 71、72  
ブライトネス ..... 34  
ブラックレベル ..... 34  
プレイリスト ..... 56  
プレビュー ..... 45  
本機の登録 ..... 27、28

## ま

マイプロフィール ..... 23  
緑色 ..... 34  
メールアドレス ..... 25  
メディアアップロード ..... 42  
メンテナンス設定 ..... 28、30

## や

ユーザー ID ..... 23、25、26、70～72  
ユーザー認証 ..... 25、70  
ユーザー削除 ..... 71  
ユーザー名 ..... 9、10、70  
ユーティリティディスク ..... 2、3、5、64  
用語解説 ..... 77、78  
読み出し ..... 52、56

## ら

ライブラリー ..... 23、41～43  
リモートファームウェアアップデート  
..... 71、72  
ルーター ..... 2、16、38  
ログアウト ..... 62、70  
ログイン ..... 23、26、70

- 本書に使用されている画像には一部、日本情報流通株式会社の「売れるお店のシーズンナビ 52」「売れるお店のシーズンナビ 52 ドラッグ」のキャプチャーを使用しています。本コンテンツの著作権は日本情報流通株式会社、株式会社マイザに所属します。
- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
- 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気付きの点がありましたらお問い合わせ窓口へご連絡ください。

